

## はじめに

本年度の全国学力・学習状況調査は7回目の調査となり、全ての児童生徒や学校を対象として教科に関する調査と質問紙調査が行われました。

本県の児童生徒の学力の状況については、調査が始まった平成19年度からの経年変化を見ると改善傾向にあります。小学校は、国語・算数ともにA問題においては、全国平均を上回る結果となっています。中学校の国語・数学についても、改善傾向にはありますが、まだ、全国平均を下回る状況です。

質問紙調査結果においては、「学校の授業時間以外に勉強している時間」で小学生では、「2時間以上」の学習する割合が全国を9.0ポイント上回り、中学生では、「30分未満」の学習の割合が、初めて全国を下回りました。また、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と肯定的に回答した小中学生は、増加傾向にあり、児童生徒に学習習慣の定着が図られてきていることがうかがわれます。

このことは、単元テストや学習シートなどの取り組みの充実、組織的に学力向上に取り組んでいこうとする教職員の意識の高まりによるものと考えています。

しかしながら、学力の改善状況が、ここにきて足踏み状態にあり、特に、小中学生ともに、依然として身に付いた基礎的・基本的な知識・技能を活用して思考・判断・表現する力には課題が残されており、授業の質をさらに高めていく必要があります。

本報告書には、調査結果の分析から見られる課題を改善するために、今後の指導に当たって重視していただきたい点を示しています。また、授業改善を図っていくために「高知県の子どもたちの思考力・判断力・表現力等を育む授業づくり」や「全校体制で取り組む10のポイント」などを示しています。

県教育委員会では、子どもたちが夢を抱き、その夢や志をかなえる力を育成するために「高知県教育振興基本計画重点プラン」に基づき、取り組みを進め、さらなる学力向上を目指しております。各学校や市町村（学校組合）教育委員会におかれましては、本報告書を中期的な視点で進めている「学校経営計画」に基づく取り組みの検証や次年度の計画に生かしていただき、学力向上のPDCAサイクルをより充実させ、取り組みの質を高めてくださるようお願いいたします。

平成26年12月 高知県教育委員会

# 平成26年度全国学力・学習状況調査 調査の結果について

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

### (2) 実施日 平成26年4月22日（火）

### (3) 調査内容

- ◇ 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒を対象
- ◇ 教科に関する調査は、国語、算数・数学を出題
- ◇ 主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を出題
- ◇ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査を実施

### (4) 県内（公立学校）の参加状況

#### ◇ 参加学校数

公立小学校194校

※特別支援学校（小学部）2校を含む

公立中学校109校

※特別支援学校（中学部）3校を含む

公立小・中学校合計学校数302校

#### ◇ 小学校解答（回答）児童数

国語A	5,847名	国語B	5,844名
算数A	5,847名	算数B	5,844名
児童質問紙	5,844名		

#### ◇ 中学校解答（回答）生徒数

国語A	4,971名	国語B	4,963名
数学A	4,965名	数学B	4,965名
生徒質問紙	4,974名		

## 2 教科に関する調査結果の比較

### 小学校(国語・算数)

	国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	算数平均正答率(%)		高知県と 全国の差	
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)		
A	<b>平成26年度</b>	<b>74.4</b>	<b>72.9</b>	<b>1.5</b>	<b>79.2</b>	<b>78.1</b>	<b>1.1</b>
	平成25年度	65.3	62.7	2.6	78.8	77.2	1.6
	平成24年度	82.1 (81.5~82.7)	81.6 (81.4~81.7)	0.5	74.7 (73.9~75.6)	73.3 (73.1~73.5)	1.4
	平成23年度	81.0			82.3		
	平成22年度	82.8 (82.2~83.5)	83.3 (83.2~83.5)	-0.5	75.3 (74.3~76.3)	74.2 (74.0~74.4)	1.1
	平成21年度	68.5	69.9	-1.4	76.4	78.7	-2.3
	平成20年度	65.0	65.4	-0.4	72.6	72.2	0.4
	平成19年度	81.7	81.7	0.0	81.6	82.1	-0.5
B	<b>平成26年度</b>	<b>55.0</b>	<b>55.5</b>	<b>-0.5</b>	<b>57.9</b>	<b>58.2</b>	<b>-0.3</b>
	平成25年度	49.8	49.4	0.4	57.9	58.4	-0.5
	平成24年度	53.4 (52.4~54.3)	55.6 (55.4~55.8)	-2.2	58.1 (57.1~59.1)	58.9 (58.7~59.1)	-0.8
	平成23年度	44.3			46.2		
	平成22年度	78.1 (77.2~79.0)	77.8 (77.7~78.0)	0.3	48.2 (47.2~49.2)	49.3 (49.1~49.5)	-1.1
	平成21年度	49.5	50.5	-1.0	52.1	54.8	-2.7
	平成20年度	47.7	50.5	-2.8	49.3	51.6	-2.3
	平成19年度	60.0	62.0	-2.0	60.7	63.6	-2.9

### 中学校(国語・数学)

	国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	数学平均正答率(%)		高知県と 全国の差	
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)		
A	<b>平成26年度</b>	<b>77.2</b>	<b>79.4</b>	<b>-2.2</b>	<b>62.7</b>	<b>67.4</b>	<b>-4.7</b>
	平成25年度	74.3	76.4	-2.1	59.3	63.7	-4.4
	平成24年度	72.5 (71.8~73.1)	75.1 (75.0~75.2)	-2.6	58.3 (57.4~59.2)	62.1 (62.0~62.3)	-3.8
	平成23年度	78.5			54.3		
	平成22年度	72.6 (72.0~73.3)	75.1 (75.0~75.2)	-2.5	59.5 (58.3~60.7)	64.6 (64.4~64.8)	-5.1
	平成21年度	74.2	77.0	-2.8	56.5	62.7	-6.2
	平成20年度	70.0	73.6	-3.6	54.5	63.1	-8.6
	平成19年度	78.1	81.6	-3.5	62.8	71.9	-9.1
B	<b>平成26年度</b>	<b>47.7</b>	<b>51.0</b>	<b>-3.3</b>	<b>53.6</b>	<b>59.8</b>	<b>-6.2</b>
	平成25年度	64.8	67.4	-2.6	35.4	41.5	-6.1
	平成24年度	61.6 (60.9~62.3)	63.3 (63.2~63.4)	-1.7	45.4 (44.3~46.6)	49.3 (49.2~49.5)	-3.9
	平成23年度	61.0			45.2		
	平成22年度	61.0 (60.0~62.1)	65.3 (65.1~65.5)	-4.3	36.6 (35.4~37.9)	43.3 (43.1~43.5)	-6.7
	平成21年度	69.8	74.5	-4.7	49.7	56.9	-7.2
	平成20年度	54.7	60.8	-6.1	41.5	49.2	-7.7
	平成19年度	64.0	72.0	-8.0	50.6	60.6	-10.0

### 小学校・中学校(理科)

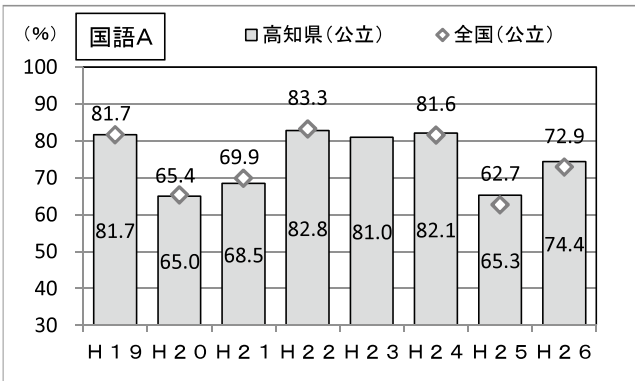
	小学校平均正答率(%)		高知県と 全国の差	中学校平均正答率(%)		高知県と 全国の差
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)	
平成24年度	59.6 (58.8~60.4)	60.9 (60.8~61.1)	-1.3	47.3 (46.5~48.0)	51.0 (50.9~51.1)	-3.7

※平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。

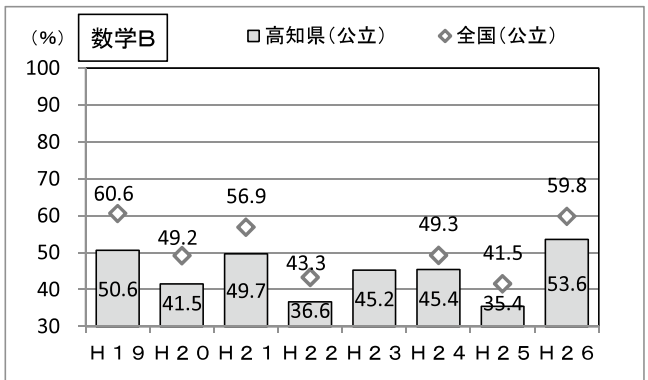
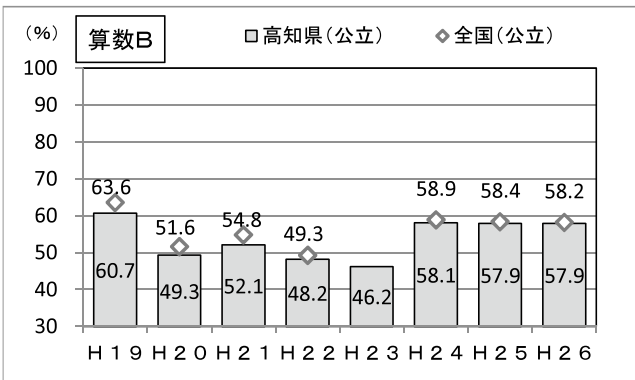
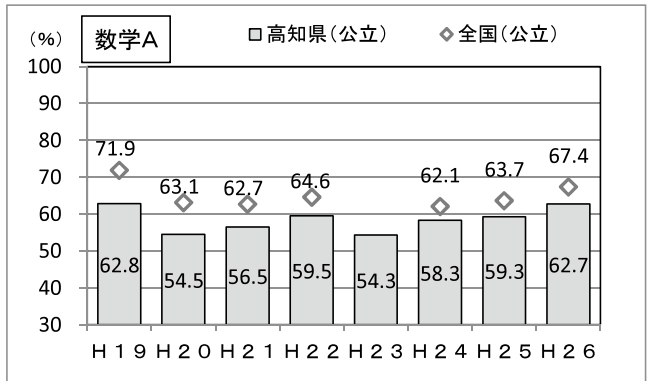
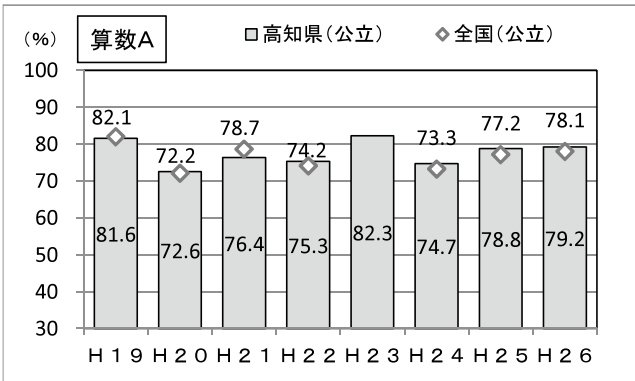
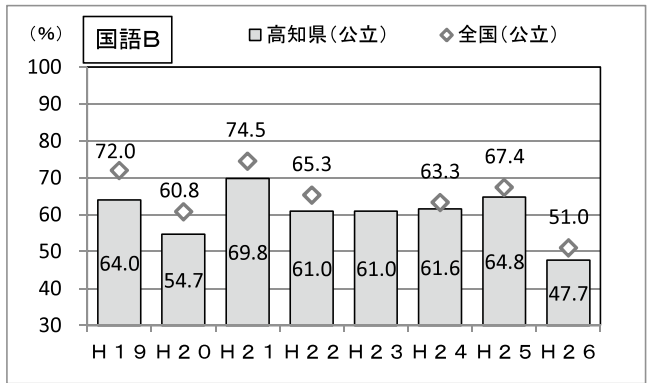
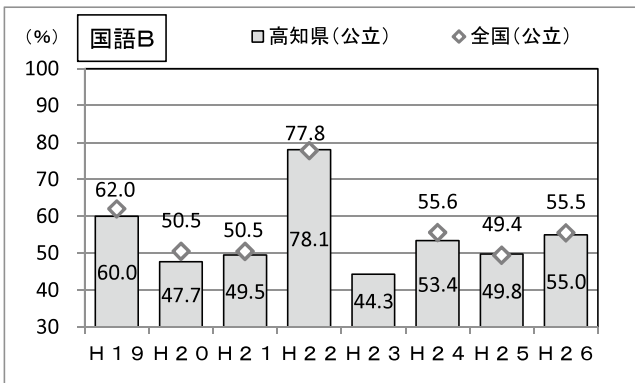
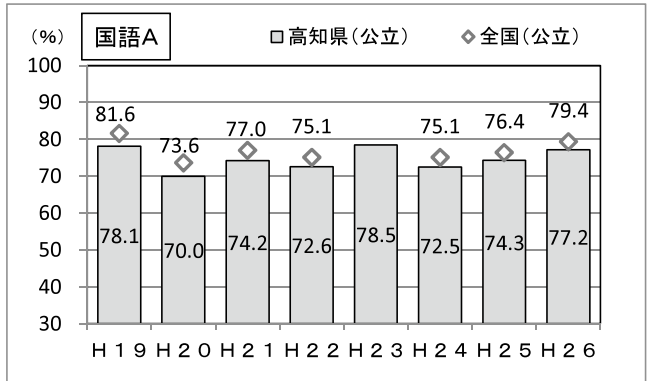
( )の数値は平均正答率の95%信頼区間を示している。

※平成23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査の結果を示している。

小学校(平均正答率)



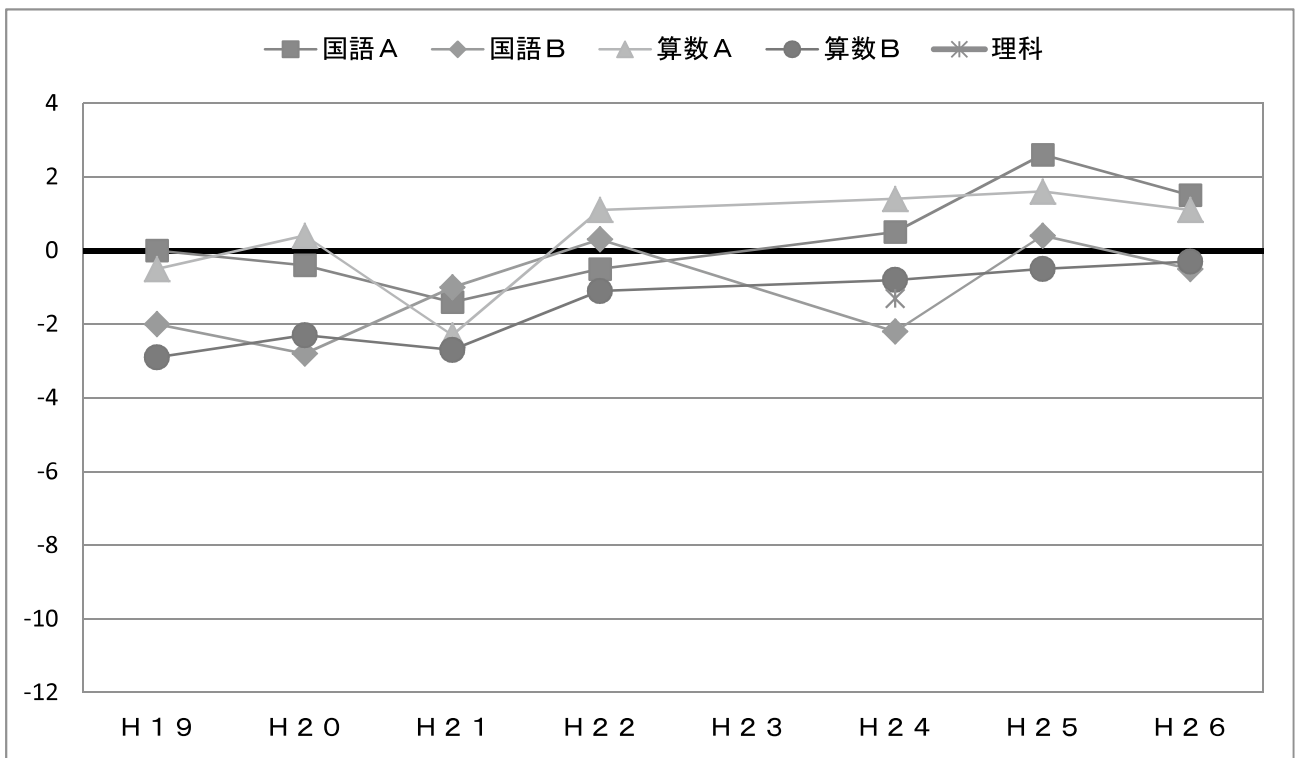
中学校(平均正答率)



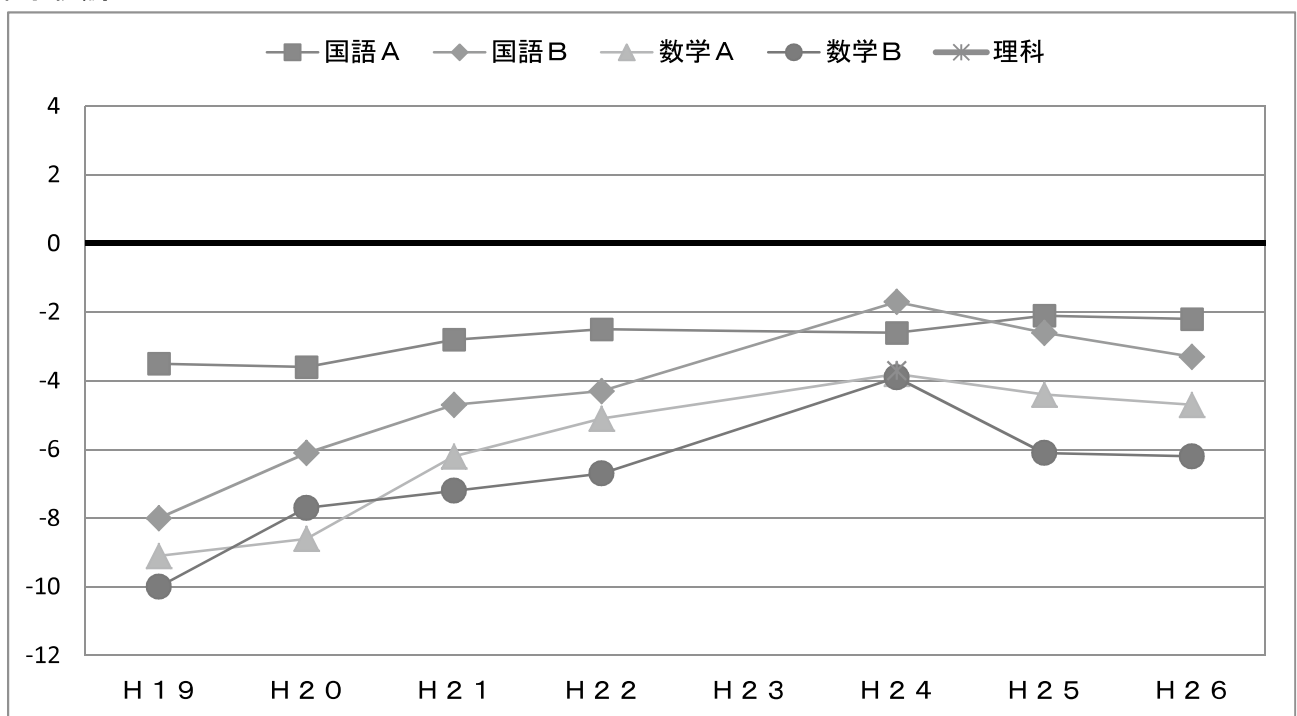


[教科に関する全国平均正答率との差]

小学校調査



中学校調査



※縦軸は全国の平均正答率との差をポイントで示している。(平成23年度の全国値はない。)

### 3 教科に関する調査の結果

#### 【小学校国語】

- 国語A（知識）の平均正答率は74.4%で、例えば、次のような課題が見られた。
  - ・物語を創作する際、情景描写の効果を捉えること [3 55.6%]
  - ・物語の登場人物の相互関係を捉えること [5 65.8%]
- 国語B（活用）の平均正答率は55.0%で、例えば、次のような課題が見られた。
  - ・立場を明確にして、質問や意見を述べること [1 3 28.5%]
  - ・分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらに関係付けながらまとめて書くこと [2 2 29.0%]

平成26年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 [国語A 主として知識]  
高知県一児童(公立)

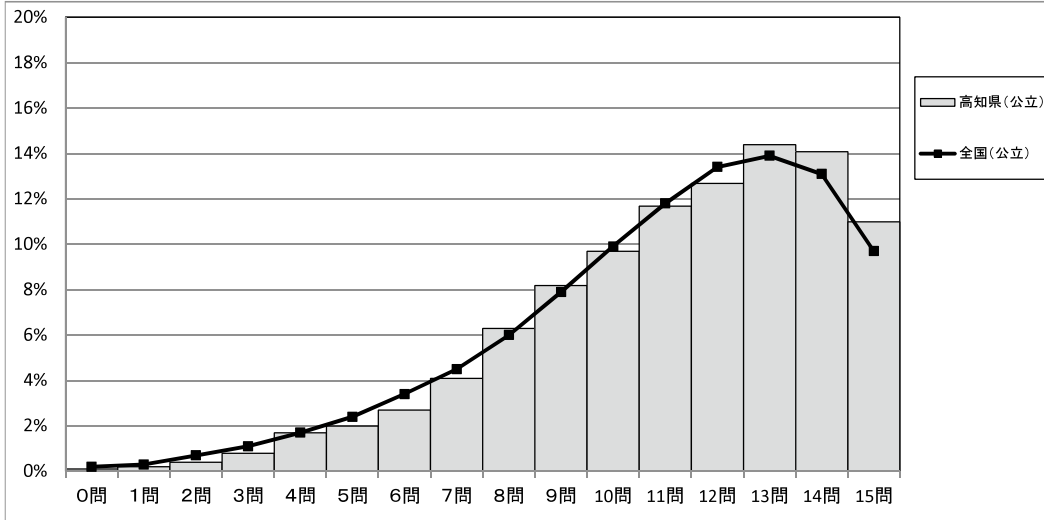
小学校調査

以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	5,847	11.2/15	74.4	12.0	2.9
全国(公立)	1,080,663	10.9/15	72.9	12.0	3.1

正答数 (割合 (%))	
0問	0.1
1問	0.2
2問	0.4
3問	0.8
4問	1.7
5問	2.0
6問	2.7
7問	4.1
8問	6.3
9問	8.2
10問	9.7
11問	11.7
12問	12.7
13問	14.4
14問	14.1
15問	11.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



平成26年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 [国語B 主として活用]  
高知県一児童(公立)

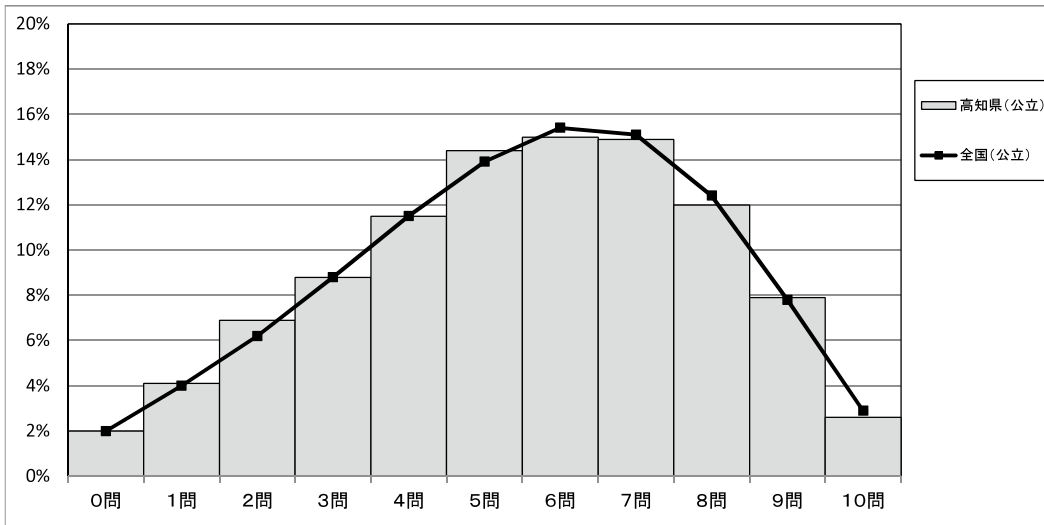
小学校調査

以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	5,844	5.5/10	55.0	6.0	2.4
全国(公立)	1,080,444	5.5/10	55.5	6.0	2.4

正答数 (割合 (%))	
0問	2.0
1問	4.1
2問	6.9
3問	8.8
4問	11.5
5問	14.4
6問	15.0
7問	14.9
8問	12.0
9問	7.9
10問	2.6

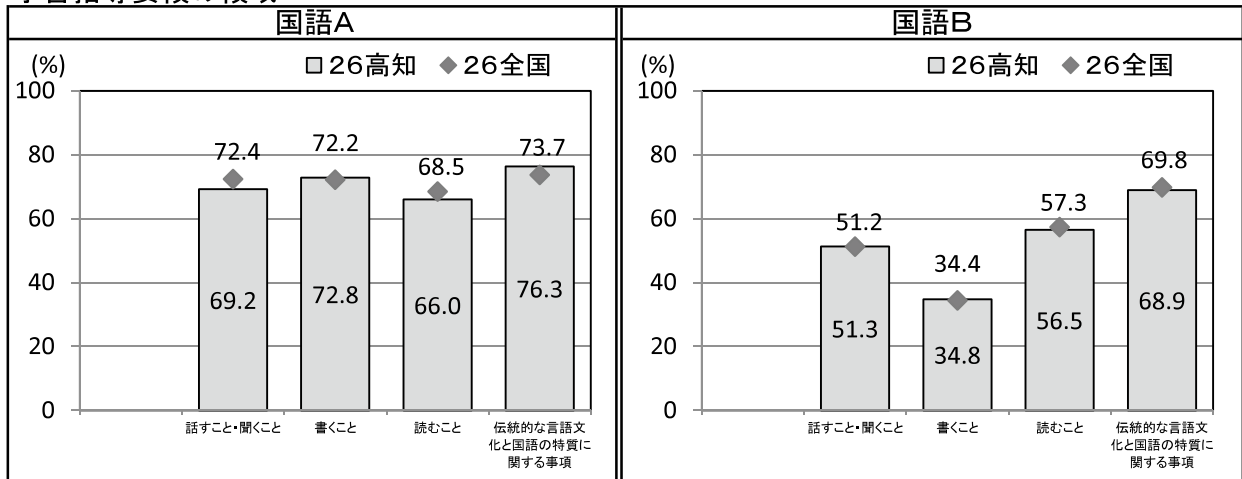
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



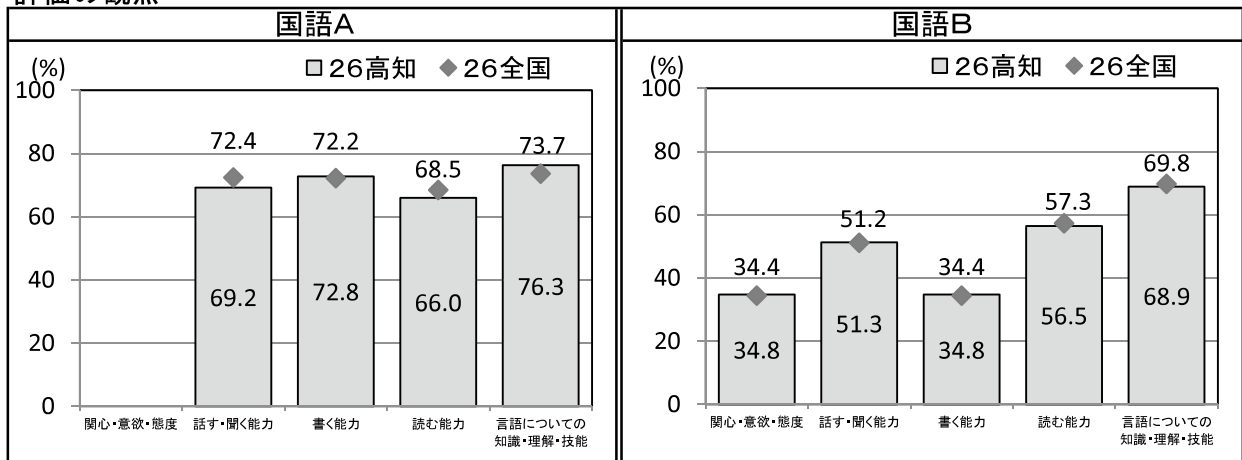
### 【分類・区分別の状況】

- 領域別では、国語A（知識）の「話すこと・聞くこと」で平均正答率が全国平均より3.2ポイント低い。
- 観点別では、国語B（活用）の「国語への関心・意欲・態度」に関する設問の平均正答率が全国平均とほぼ同じである。
- 問題形式別では、国語A（知識）の「短答式」の平均正答率が全国平均より2.4ポイント高い。

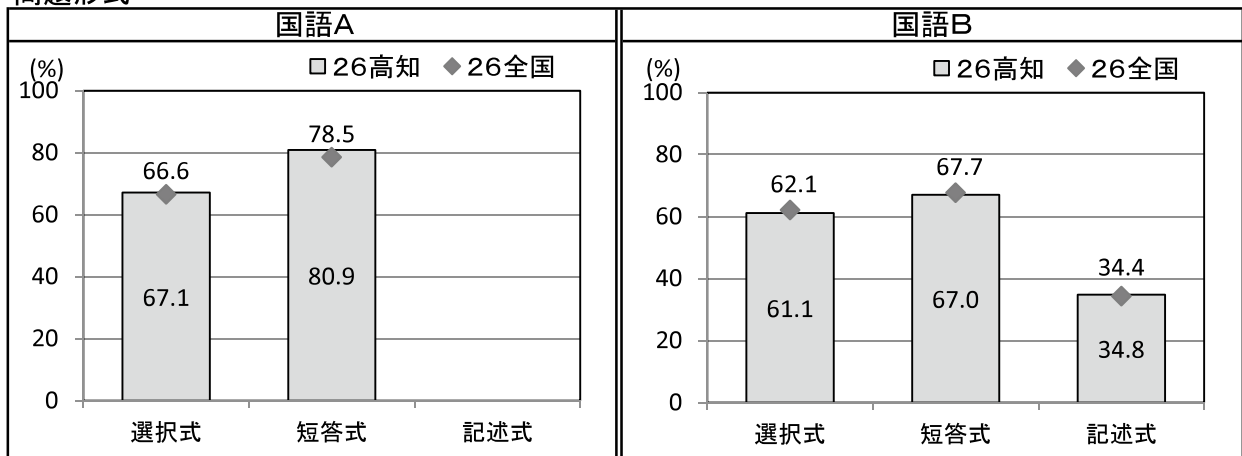
### 学習指導要領の領域



### 評価の観点



### 問題形式



【設問別集計結果 小学校（国語）】

■国語A

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率－ 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1－(1)	漢字を読む (道路の標識を見る)	伝	言	短答式	0.9	92.6	91.7	1.2	1.7
1－(2)	漢字を読む (街灯がつく)	伝	言	短答式	<b>5.2</b>	92.2	87.0	0.9	2.5
1－(3)	漢字を読む (塾いよく走り出す)	伝	言	短答式	2.5	76.9	74.4	0.9	1.5
1二(1)	漢字を書く (料理をのせたさらを運ぶ)	伝	言	短答式	0.7	98.5	97.8	0.3	0.6
1二(2)	漢字を書く (勝利をいわう)	伝	言	短答式	4.4	63.7	59.3	3.9	6.8
1二(3)	漢字を書く (かぜをよぼうする)	伝	言	短答式	2.1	79.5	77.4	4.9	7.2
2一	故事成語の使い方として適切なものを選択する (五十歩百歩)	伝	言	選択式	4.6	60.4	55.8	0.2	0.3
2二	故事成語の使い方として適切なものを選択する (百聞は一見にしかず)	伝	言	選択式	<b>10.4</b>	60.3	49.9	0.2	0.5
3	情景描写を正しく理解し、適切なものを選択する	書/伝	書/言	選択式	-3.1	55.6	58.7	0.1	0.2
4	新聞の投書を読み、表現の仕方として適切なものを選択する	読	読	選択式	<b>-5.5</b>	66.2	71.7	0.2	0.3
5	物語の一部に入る適切な人物の名前を書く	読	読	短答式	0.5	65.8	65.3	0.4	0.5
6一	「～たり、…たり」という表現に直して書く	書/伝	書/言	短答式	3.1	78.0	74.9	4.2	5.7
6二	文の意味のつながりを捉え、適切なものを選択する	書/伝	書/言	選択式	1.7	84.8	83.1	1.4	2.0
7	話合いの記録の仕方として適切なものを選択する	話	話	選択式	-3.2	69.2	72.4	1.5	2.1
8	言葉の意味と使い方を捉え、適切なものを選択する (はかる)	伝	言	選択式	-1.3	73.0	74.3	2.0	2.7

■国語B

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率－ 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1一	司会㉔の発言の内容をまとめて書く	話	話	短答式	1.0	66.2	65.2	6.7	7.9
1二	林さん㉕の質問の狙いとして適切なものを選択する	話	話	選択式	-0.9	59.3	60.2	3.0	3.5
1三	大野さん㉖の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く	話/書	聞/話/書	記述式	0.2	28.5	28.3	6.0	5.0
2一	付箋の内容を関係付けて、原田さんの疑問を書く	読	読	短答式	-1.6	70.3	71.9	7.7	8.2
2二	付箋の内容を関係付けて、野口さんのまとめを書く	書/読	聞/書/読	記述式	2.1	29.0	26.9	8.3	7.4
2三	疑問を解決するために、目次や索引の中から必要となるページの番号を書く	読	読	短答式	-1.6	64.4	66.0	3.6	4.3
3一(1)	【詩1】の表現の特徴として適切なものを選択する	読/伝	読/言	選択式	-1.3	79.1	80.4	3.7	4.4
3一(2)	【詩2】の表現の特徴として適切なものを選択する	読/伝	読/言	選択式	-0.4	58.8	59.2	4.8	5.5
3二	【詩2】に対する山田さんの解釈として適切なものを選択する	読	読	選択式	-1.4	47.1	48.5	<b>17.8</b>	19.8
3三	【詩1】と【詩2】を比べて読んで考えたことを書く	書/読	聞/書/読	記述式	-1.2	46.9	48.1	<b>26.5</b>	26.0

「太字」は、全国正答率より10ポイントをこえて高い正答率

「太字」は、全国正答率より5ポイントをこえて高い正答率

「白抜き」は、全国正答率より5ポイントをこえて低い正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

**【経年で見た成果と課題】**

- ◇ 複数の内容を含む文を分析的・統合的に理解することに改善が見られる。[A6一、二]  
→「複数の内容を含む文について、主語と述語との関係や接続語の役割を押さえながら分析的に捉えることに課題がある。」
- ◆ 目的や意図に応じて、記述することに対する抵抗はある程度減少しているが、相手の発言を引用して質問や意見を述べたり、必要となる情報を取り出し、それらを関係付けながらまとめたりする点に、依然として課題がある。[B1三、2二]  
→「目的や意図に応じ、必要な内容を引用したり、複数の内容を関係付けたりしながら、自分の考えを書くことについて、依然として課題があり、指導の充実が求められる。」  
(『平成25年度全国学力・学習状況調査結果の概要』P8による)

**【学習指導要領の領域別状況】** <◇相当数の児童が理解できている内容 ◆課題がある内容 [ ] 設問番号>

話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 話合いの観点に基づいて情報を関係付けることに課題がある。 [A7]</li> <li>◆ 司会の役割として話合いの観点を整理したり、質問の意図を捉えたりすることに課題がある。 [B1一、二]</li> <li>◆ 立場や根拠を明確にして話し合うことについて、発言をする際に一定の立場に立ってはいるが、根拠を明確にした上で発言をする点に、依然として課題がある。 [B1三]</li> </ul>
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 複数の内容を含む文を分析的・統合的に理解することについて、複数の事柄を「～たり、…たり」という表現を用いて適切な文に書き直すことは良好である。また、仮定の表現を用いて適切な文に書き直すことも、相当数の児童ができている。 [A6一、二]</li> <li>◆ 物語を創作する際、情景描写の効果を捉えることに課題があり、指導の充実が求められる。 [A3]</li> <li>◆ 分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関係付けながらまとめて書くことに課題がある。 [B2二]</li> </ul>
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 新聞の投書を読み、表現の仕方を捉えることに課題がある。 [A4]</li> <li>◆ 物語の登場人物の相互関係を捉えることに、依然として課題がある。 [A5]</li> <li>◆ 詩の解釈における着眼点の違いを捉えたり、二つの詩を比べて読み、自分の考えを書いたりすることに課題があり、指導の充実が求められる。 [B3二、三]</li> </ul>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 今回出題された漢字の読みや書きは、相当数の児童ができているものがある。 [A1一、二]</li> <li>◆ 今回出題された故事成語の意味や使い方を理解することに課題があり、指導の充実が求められる。 [A2]</li> </ul>

**【正答率が高い問題】**

A1二(1) 漢字の書き (さら)	[98.5%]
A1一(1) 漢字の読み (標識)	[92.6%]
A1一(2) 漢字の読み (街灯)	[92.2%]

**【正答率が低い問題】**

B1三 立場や根拠を明確にして、質問や意見を述べる	[28.5%]
B2二 複数の情報を関係付けて、条件にあわせてまとめて書く	[29.0%]
B3三 二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く	[46.9%]

## 【小学校算数】

- 算数A（知識）の平均正答率は、79.2%で、例えば、次のような課題が見られた。
- ・作図に用いられる図形の約束や性質を理解すること [6 4 6. 5 %]
  - ・図を観察して数量の関係を理解したり、数量の関係を表現している図を解釈したりすること [2 (2) 5 8. 0 %]
- 算数B（活用）の平均正答率は、57.9%で、例えば、次のような課題が見られた。
- ・示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を言葉と数を用いて記述すること [3 (3) 3 1. 8 %]
  - ・示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を言葉や式を用いて記述すること [5 (3) 3 5. 0 %]

平成26年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 [算数A 主として知識]  
高知県一児童(公立)

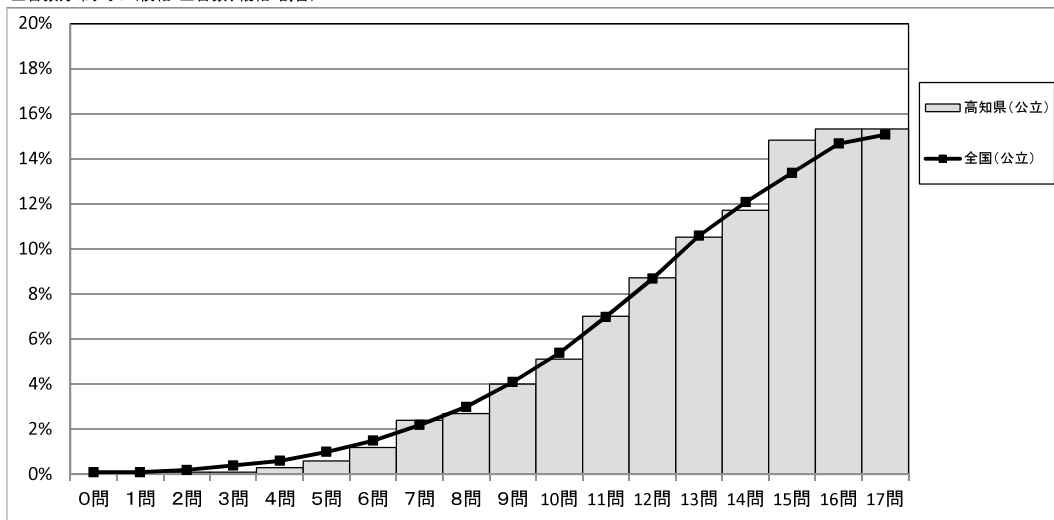
小学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	5,847	13.5/17	79.2	14.0	3.0
全国(公立)	1,080,657	13.3/17	78.1	14.0	3.2

正答数 (割合 (%))	
0問	0.0
1問	0.0
2問	0.1
3問	0.1
4問	0.3
5問	0.6
6問	1.2
7問	2.4
8問	2.7
9問	4.0
10問	5.1
11問	7.0
12問	8.7
13問	10.5
14問	11.7
15問	14.8
16問	15.3
17問	15.3

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



平成26年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 [算数B 主として活用]  
高知県一児童(公立)

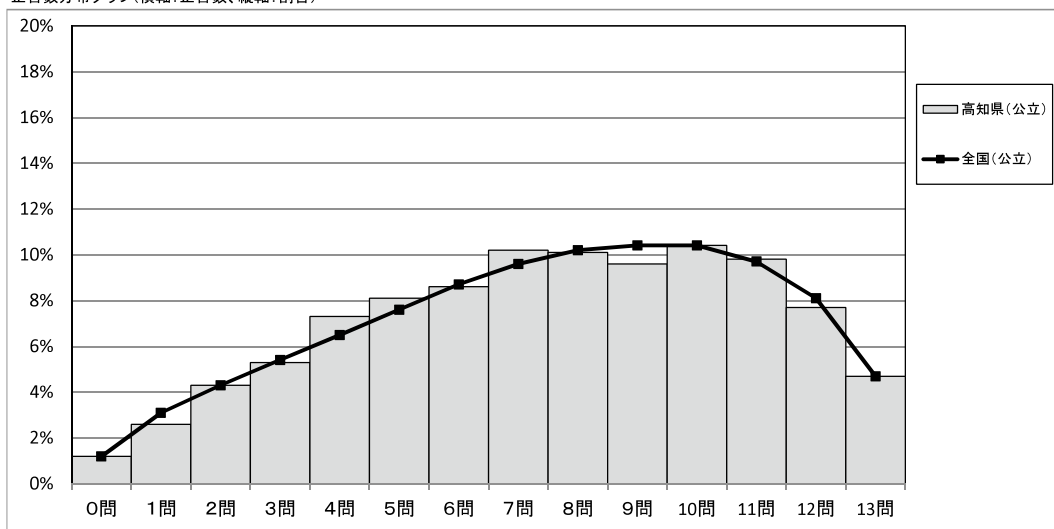
小学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	5,844	7.5/13	57.9	8.0	3.3
全国(公立)	1,080,442	7.6/13	58.2	8.0	3.3

正答数 (割合 (%))	
0問	1.2
1問	2.6
2問	4.3
3問	5.3
4問	7.3
5問	8.1
6問	8.6
7問	10.2
8問	10.1
9問	9.6
10問	10.4
11問	9.8
12問	7.7
13問	4.7

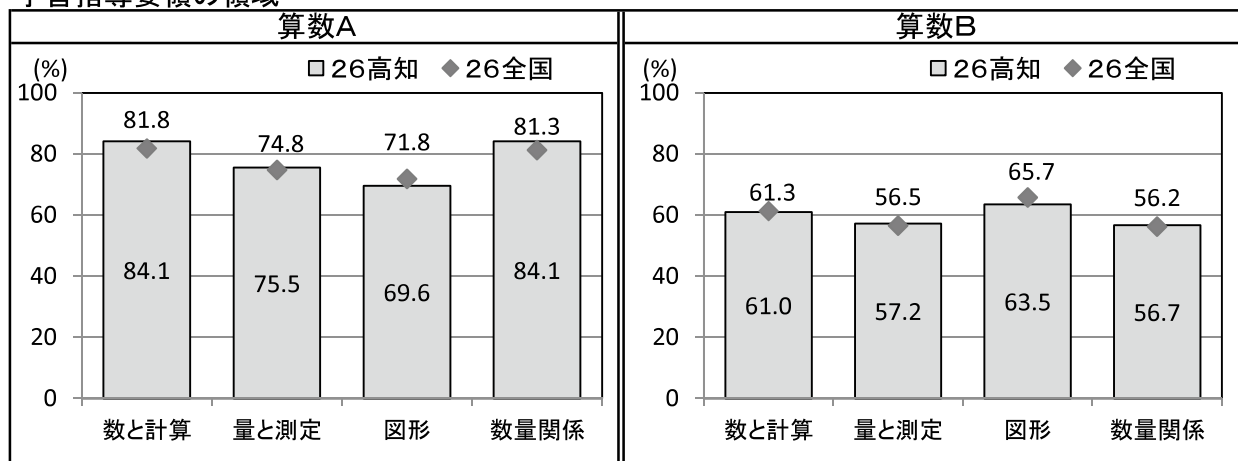
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



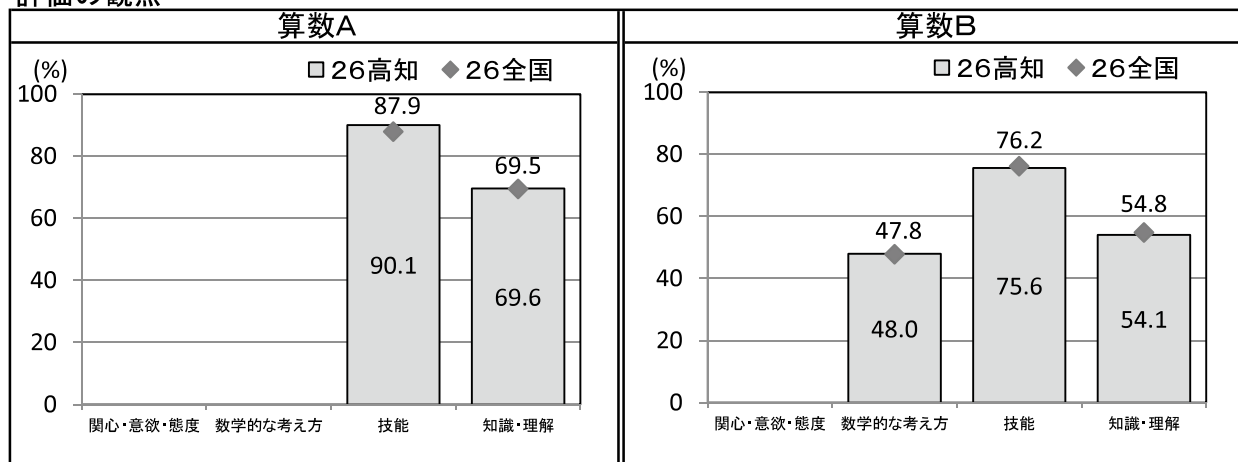
【分類・区分別の状況】

- 領域別では、算数A（知識）の「数量関係」で平均正答率が全国平均より2.8ポイント高い。
- 観点別では、算数A（知識）の「数量や図形についての技能」で平均正答率が全国平均より2.2ポイント高い。
- 問題形式別では、算数A（知識）の「短答式」で平均正答率が全国平均より2.2ポイント高い。

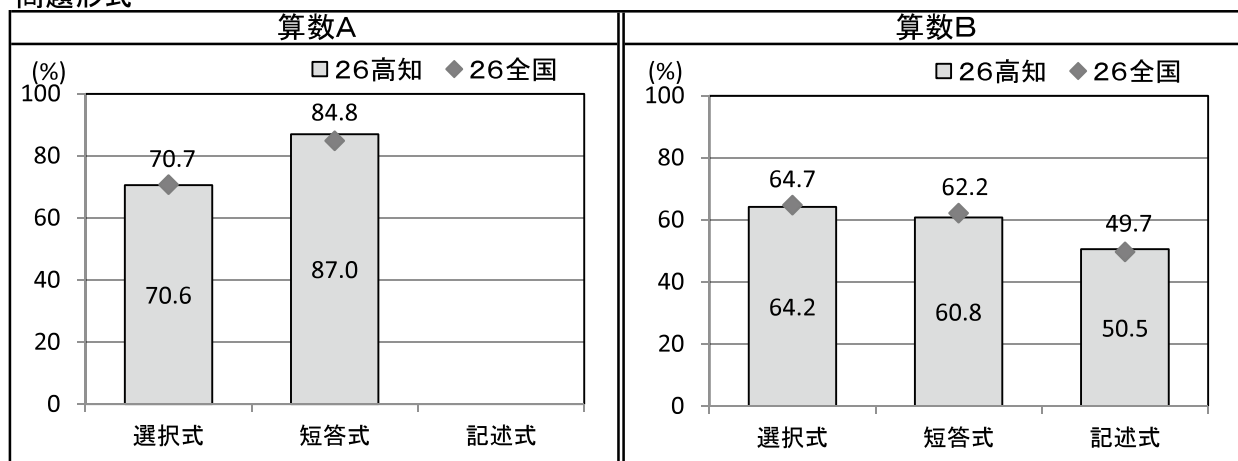
学習指導要領の領域



評価の観点



問題形式



【設問別集計結果 小学校（算数）】

■算数A

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率— 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1 (1)	46 + 57 を計算する	数と計算	技	短答式	0.6	97.5	96.9	0.0	0.1
1 (2)	903 × 6 を計算する	数と計算	技	短答式	1.4	94.2	92.8	0.0	0.2
1 (3)	9 - 0.8 を計算する	数と計算	技	短答式	6.9	90.7	83.8	0.3	0.8
1 (4)	2 ÷ 5 を計算する	数と計算	技	短答式	2.5	94.3	91.8	0.3	0.9
1 (5)	100 - 20 × 4 を計算する	数量関係	技	短答式	5.5	86.4	80.9	0.1	0.5
1 (6)	$\frac{1}{3} + \frac{2}{5}$ を計算する	数と計算	技	短答式	2.1	92.7	90.6	0.4	1.1
2 (1)	示された図を基に、赤いテープの長さが白いテープの長さ(80cm)の1.2倍に当たるときの赤いテープの長さを求める式を選ぶ	数と計算	知	選択式	2.4	74.3	71.9	0.2	0.3
2 (2)	示された図を基に、青いテープの長さが白いテープの長さ(80cm)の0.4倍に当たるときの青いテープの長さを求める式を選ぶ	数と計算	知	選択式	3.9	58.0	54.1	0.2	0.4
3	示された分数の中から、 $\frac{1}{2}$ より大きいものを選ぶ	数と計算	知	選択式	-1.6	70.9	72.5	0.4	0.6
4 (1)	8m <sup>2</sup> に16人いるAの部屋の様子を表している図を選ぶ	量と測定	知	選択式	-0.3	82.0	82.3	0.3	0.7
4 (2)	8m <sup>2</sup> に16人いるAの部屋について、1m <sup>2</sup> 当たりの人数を求める式を書く	量と測定	知	短答式	2.7	63.5	60.8	1.7	3.4
5 (1)	直径6cmの円の円周を求める式と答えを書く	図形	技	短答式	-1.8	82.1	83.9	0.6	1.5
5 (2)	1cm <sup>3</sup> の立方体を基に、示された直方体の体積を求める	量と測定	知	短答式	0.0	81.1	81.1	1.1	1.8
6	コンパスを使った平行四辺形のかき方について、用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ	図形	知	選択式	-5.5	46.5	52.0	0.4	0.6
7	縦5cm、横11cm、高さ4cmの直方体の面㊦になる四角形を選ぶ	図形	知	選択式	-2.3	67.1	69.4	0.4	0.7
8	答えが100 - 20 × 4の式で求められる問題を選ぶ	数量関係	知	選択式	2.1	83.1	81.0	0.5	0.9
9	正五角形の1辺の長さを□cm、まわりの長さを△cmとしたときの、□と△の関係を正しく表している式を選ぶ	図形 数量関係	技	選択式	0.7	82.7	82.0	0.6	1.2

■算数B

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率— 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1 (1)	示されたかけ算の中で積に同じ数字が並ぶものを選ぶ	数と計算	技	選択式	-0.2	94.4	94.6	0.1	0.3
1 (2)	二人の説明を基に、37 × 24の積が888になることを書く	数と計算 数量関係	考	記述式	0.2	55.4	55.2	4.8	6.0
2 (1)	6・7月の水の使用量1500m <sup>3</sup> は、プールに入る水の量250m <sup>3</sup> の何倍かを求める式と答えを書く	数と計算 量と測定	技	短答式	2.6	85.1	82.5	2.5	3.0
2 (2)	1日盛りを50m <sup>3</sup> として学校の水の使用量の表を棒グラフに表すとき、棒が縦20マスの枠の中に入らない月を選び、そのわけを書く	量と測定 数量関係	考	記述式	1.3	70.4	69.1	2.1	2.6
2 (3)	6・7月の水の使用量が、1年間の水の使用量の $\frac{1}{4}$ より多いことを説明するために用いる適当なグラフを選ぶ	量と測定 数量関係	知	選択式	1.9	63.4	61.5	0.8	1.2
3 (1)	昨年の昼食時間を見直したときに、今年は準備の時間を何分間にすればよいかを書く	量と測定	考	短答式	-3.3	35.3	38.6	2.7	3.4
3 (2)	40人分のご飯を分けるとき、10人分の目安を正しく表している図を全て選ぶ	数と計算	知	選択式	-2.3	54.4	56.7	1.0	1.8
3 (3)	示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く	量と測定	考	記述式	1.2	31.8	30.6	1.4	1.9
4 (1)	㊦のリズムを3回目に演奏するのは何小節目かを書く	数と計算 数量関係	技	短答式	-2.8	59.4	62.2	1.4	1.7
4 (2)	二人の㊦のリズムが重なる12小節目の12はどのような数であるかを書く	数と計算	考	記述式	-0.5	60.0	60.5	10.6	12.1
5 (1)	畳の敷き方の約束を基に、残り4枚の長方形の板を置いた図をかく	図形	技	短答式	-2.2	63.5	65.7	4.5	5.2
5 (2)	使いやすい箸の長さの目安を基に、一あたまの長さを表している図を選ぶ	数と計算	知	選択式	-1.6	44.5	46.1	3.0	3.5
5 (3)	妹の身長を基に、妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く	数と計算 数量関係	考	記述式	2.0	35.0	33.0	11.9	13.1

「太字」は、全国正答率より5ポイントをこえて高い正答率

「白抜き」は、全国正答率より5ポイントをこえて低い正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率



**【経年で見た成果と課題】**

- ◇ 計算の順序のきまりを理解して計算したり、計算のきまりを具体的な場面に置き換えて式の意味を理解したりすることに改善が見られる。[A1] (5)、A8]
  - 「加法と乗法の混合した整数の計算をすることに課題がある。」  
(『平成24年度高知県学力定着状況調査結果の概要』P. 8による))
- ◆ 数量の大小を比較する際に、根拠となる事柄を過不足なく示し、判断の理由を説明することについて、改善の状況が見られる設問があるものの、依然として課題がある。[B3] (3) ]
  - 「方法や理由を言葉や数を用いて記述する際、場面の状況や問題の条件に基づいて、必要な事柄を過不足なく記述すること。」に課題がある。  
(『平成24年度全国学力・学習状況調査結果の概要』 P. 17による)

**【学習指導要領の領域別状況】**

＜◇相当数の児童ができています点 ◆課題のある内容 [ ] 設問番号＞

数と計算	◇整数、小数、分数の四則計算をすることは、相当数の児童ができています。 [A1] (1)～(6)] ◆示された場面から計算の結果の見通しをもち、(2位数) × (1位数) の筆算をすることに課題がある。 [B1] (1)] ◆割合が1より小さい場合でも、比較量が(基準量) × (割合) で求められることの理解に課題がある。 [A2] (2)]
量と測定	◇示された直方体の体積を求めることは、相当数の児童ができています。 [A5] (2)] ◆示された情報を基に、条件に合う時間を求めることに課題がある。 [B3] (1)] ◆示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を言葉と数を用いて記述することに課題がある。 [B3] (3)]
図形	◇円周の長さを、直径の長さを用いて求めることについては、相当数の児童ができています。 [A5] (1)] ◆作図に用いられる図形の約束や性質を理解することに課題がある。 [A6] ◆示された条件を基に、残った平面に4つの長方形を敷き詰めることに課題がある。 [B5] (1)]
数量関係	◇計算の順序についてのきまりを理解して計算したり、計算のきまりを具体的な場面に置き換えて捉えたりすることについては、相当数の児童ができており、指導の改善状況が見られる。 [A1] (5)、A8] ◆全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することに課題がある。 [B2] (3)] ◆示された情報を整理し、筋道を立てて考え、小数倍の長さの求め方を言葉や式を用いて記述することに課題がある。 [B5] (3)]

**【正答率が高い問題】**

A1] (1) 46 + 57を計算する	[97.5%]
B1] (1) 示されたかけ算の中で積に 同じ数字が並ぶものを選ぶ	[94.4%]
A1] (4) 2 ÷ 5を計算する	[94.3%]

**【正答率が低い問題】**

B3] (3) 示された分け方でスープを分けたとき、残りの30人にスープを分けることができるかどうかを選び、そのわけを書く。	[31.8%]
B5] (3) 妹の身長を基に妹の使いやすい箸の長さの求め方と答えを書く	[35.0%]
B3] (1) 昨年の昼食時間を見学したときに今年の準備の時間を何分間にすればよいかを書く	[35.3%]

## 【中学校国語】

○ 国語A（知識）の平均正答率は、77.2%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・目的に沿って話し合い、互いの発言を検討すること [6ー 50.3%]

○ 国語B（活用）の平均正答率は、47.7%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・複数の資料を比較して読み、要旨を捉えること [2ー 28.9%]
- ・資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くこと [2三 25.7%]
- ・落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書くこと [3三 42.4%]

平成26年度全国学力・学習状況調査

調査結果概況 [国語A 主として知識]

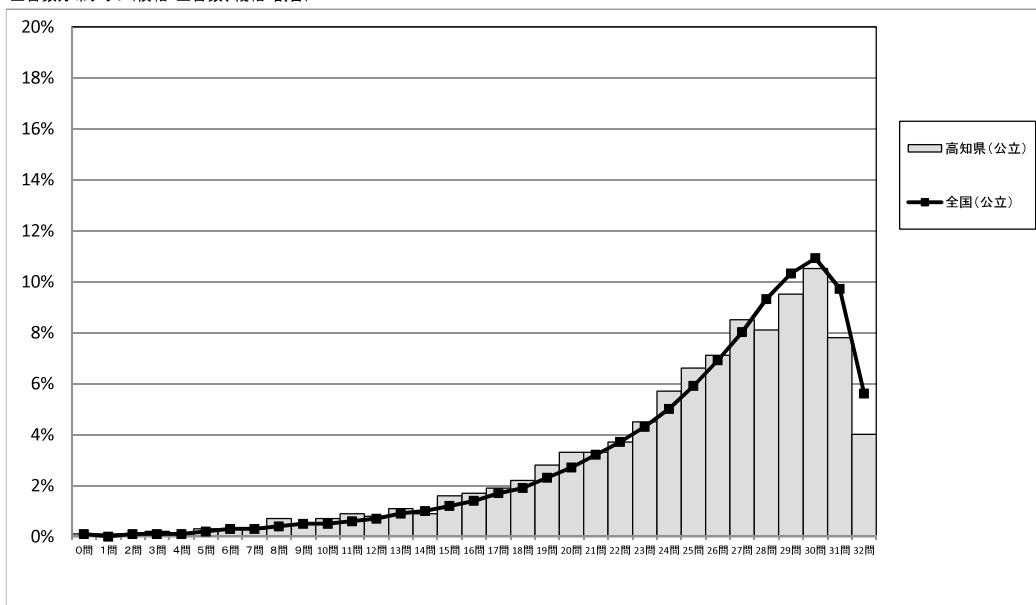
高知県一生徒(公立)

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	4,971	24.7/32	77.2	26.0	6.0
全国(公立)	1,017,965	25.4/32	79.4	27.0	5.7

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



正答数 (割合 (%))	
0問	0.1
1問	0.1
2問	0.1
3問	0.2
4問	0.1
5問	0.3
6問	0.3
7問	0.3
8問	0.7
9問	0.5
10問	0.7
11問	0.9
12問	0.8
13問	1.1
14問	0.9
15問	1.6
16問	1.7
17問	1.9
18問	2.2
19問	2.8
20問	3.3
21問	3.3
22問	3.7
23問	4.5
24問	5.7
25問	6.6
26問	7.1
27問	8.5
28問	8.1
29問	9.5
30問	10.5
31問	7.8
32問	4.0

平成26年度全国学力・学習状況調査

調査結果概況 [国語B 主として活用]

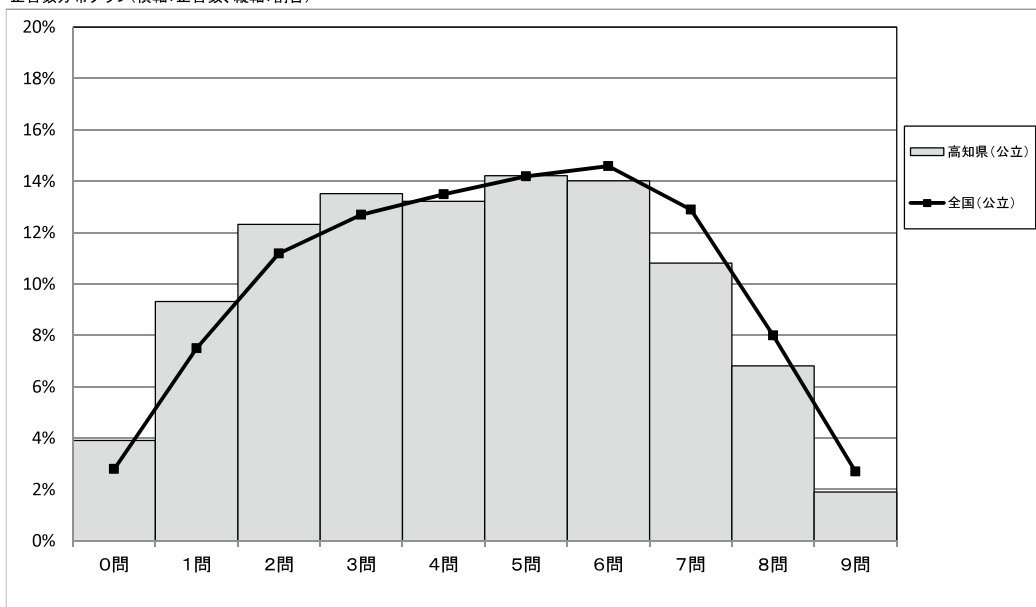
高知県一生徒(公立)

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	4,963	4.3/9	47.7	4.0	2.3
全国(公立)	1,018,157	4.6/9	51.0	5.0	2.3

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)

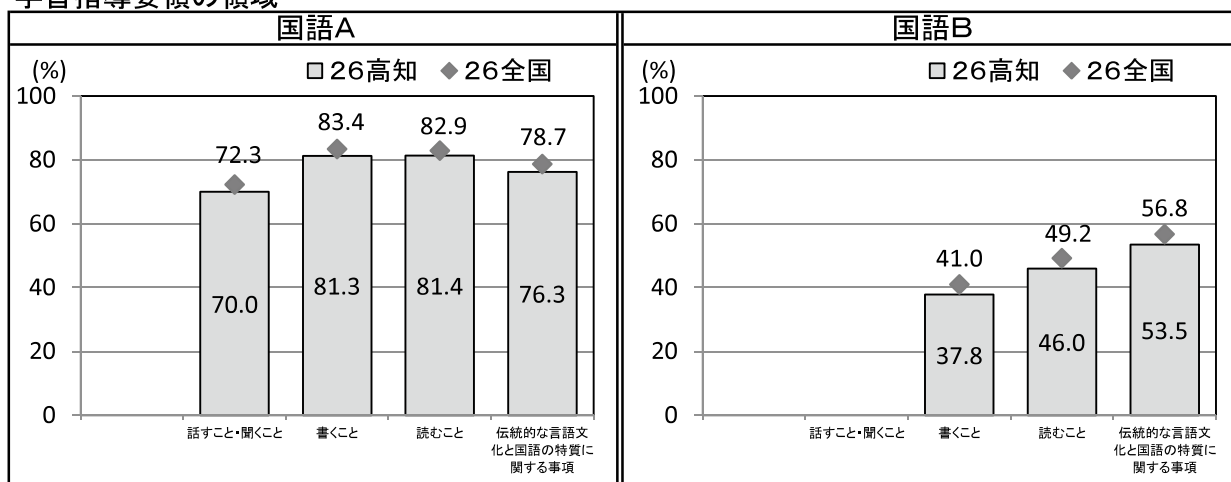


正答数 (割合 (%))	
0問	3.9
1問	9.3
2問	12.3
3問	13.5
4問	13.2
5問	14.2
6問	14.0
7問	10.8
8問	6.8
9問	1.9

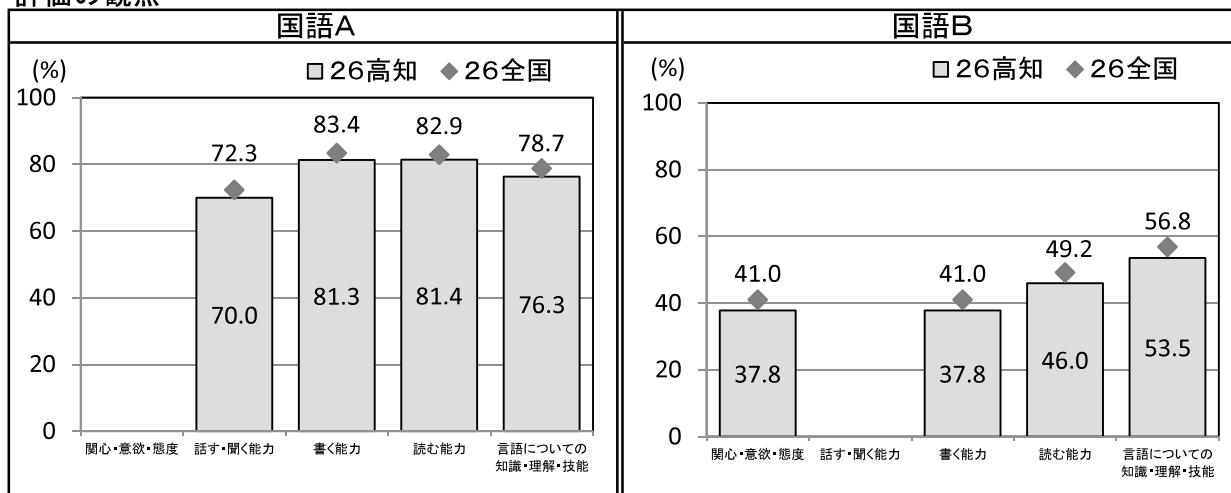
### 【分類・区分別の状況】

- 領域別では、国語B（活用）の全ての領域で平均正答率が全国平均より3ポイント以上低い。
- 観点別では、国語B（活用）の「国語への関心・意欲・態度」に関する設問の平均正答率が全国平均より3.2ポイント低い。
- 問題形式別では、国語B（活用）の「選択式」、「記述式」の平均正答率が全国平均より3ポイント以上低い。

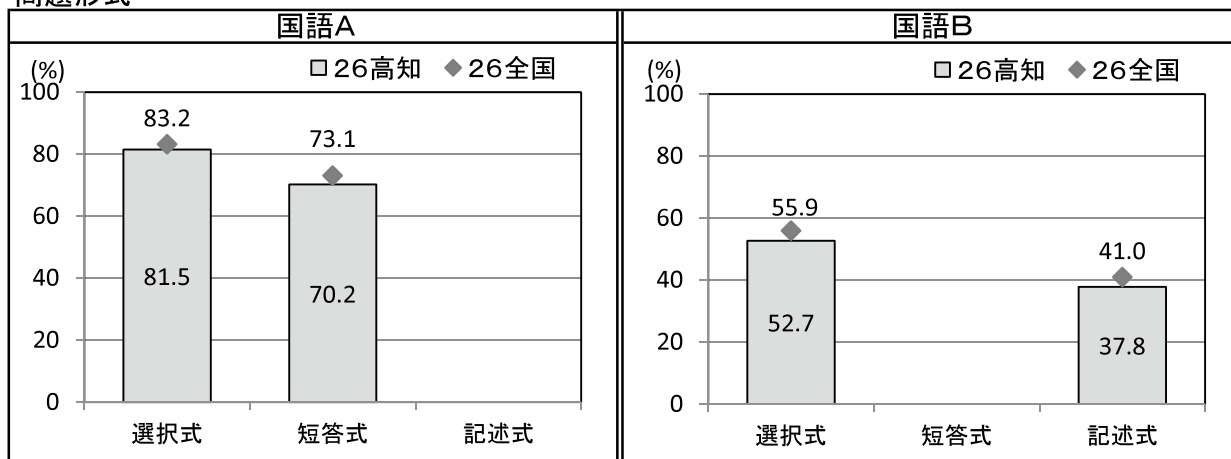
### 学習指導要領の領域



### 評価の観点



### 問題形式



【設問別集計結果 中学校（国語）】

■国語A

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率－ 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1一	フリップの効果を説明したものと適切なものを選択する	話	話	選択式	-0.2	78.4	78.6	0.1	0.2
1二	報告の内容を踏まえた質問として適切なものを選択する	話	話	選択式	-0.7	79.6	80.3	0.3	0.2
2一	主人公の気持ちの変化にふさわしい空の描写として適切なものを選択する	書	書	選択式	-1.7	89.2	90.9	0.2	0.2
2二	仲直りができてうれしい主人公の気持ちを印象深く伝えるために書き換える	書	書	短答式	-3.9	75.9	79.8	10.9	9.2
3一	主人公が「素通りが出来なくなる」と思った理由として適切なものを選択する	読	読	選択式	-0.3	91.6	91.9	0.3	0.2
3二	「ひとしくおれの方を見た」の意味として適切なものを選択する	読	読	選択式	-1.4	78.4	79.8	0.3	0.2
3三	生徒の落書きを見たときの主人公の心情を説明したものと適切なものを選択する	読	読	選択式	-0.4	78.7	79.1	0.5	0.4
4一	ウェブページの項目として適切なものを選択する	書	書	選択式	-1.4	91.2	92.6	0.5	0.4
4二	主語を置き換えて行事の記録を書き直す	書	書	短答式	-2.3	78.2	80.5	4.0	3.1
5一	「動物」と「外界のもの」との組合せとして適切なものを選択する	読	読	選択式	-3.4	74.8	78.2	0.7	0.4
5二	「次々に簡略化していった」理由を説明したものと適切なものを選択する	読	読	選択式	-1.9	83.7	85.6	0.8	0.5
6一	二人の発言を聞いて、意見の相違点を整理する	話	話	短答式	-4.0	50.3	54.3	8.5	5.9
6二	話し合いの方向を捉えた司会の役割として適切なものを選択する	話	話	選択式	-4.2	71.8	76.0	1.8	1.2
7一	文章を書くために使った付箋として適切なものを選択する	書	書	選択式	-2.5	82.1	84.6	0.8	0.6
7二	文章の構成を変える理由として適切なものを選択する	書	書	選択式	-1.1	71.0	72.1	1.3	1.0
8一1	漢字を書く（地域の人をショウタイする）	伝	言	短答式	-5.3	52.3	57.6	15.0	12.3
8一2	漢字を書く（円のハンケイを求める）	伝	言	短答式	-2.1	57.4	59.5	3.9	3.3
8一3	漢字を書く（計画を行動にウツす）	伝	言	短答式	-6.1	67.5	73.6	12.9	10.9
8二1	漢字を読む（アユの稚魚を放流する）	伝	言	短答式	-1.2	75.8	77.0	7.8	7.7
8二2	漢字を読む（このホールは音響効果が良い）	伝	言	短答式	-3.0	85.6	88.6	5.4	4.1
8二3	漢字を読む（新記録に挑む）	伝	言	短答式	-0.5	94.7	95.2	1.6	1.3
8三ア	適切な語句を選択する（よい結果を早く出したいときは、急がば回れといわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ）	伝	言	選択式	-3.4	55.8	59.2	1.3	1.0
8三イ	適切な語句を選択する（先のことは分からないが、とりあえず準備だけはしておこう）	伝	言	選択式	-0.7	95.5	96.2	0.8	0.6
8三ウ	適切な語句を選択する（地域の伝統的な文化を継承する）	伝	言	選択式	-2.4	78.4	80.8	0.9	0.8
8三エ	適切な語句を選択する（笑い声が満ちている家には幸運が訪れることを、「笑う門には福来たる」という）	伝	言	選択式	0.0	89.5	89.5	1.0	0.7
8三オ	適切な敬語を選択する（お客様、私が校内をご案内します）	伝	言	選択式	-1.3	91.7	93.0	1.1	0.8
8三カ	適切な語句を選択する（あの人は、単刀直入にものを言う）	伝	言	選択式	-2.1	84.2	86.3	1.4	1.1
8三キ	適切な語句を選択する（忙しい兄は、休日にのびのびと羽を伸ばす）	伝	言	選択式	-0.8	91.3	92.1	1.2	1.0
8四	国語辞典で調べたことを基に、語句の意味を書く（英気を養う）	伝	言	短答式	-2.7	57.2	59.9	15.1	12.3
8五1	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（まうけて）	伝	言	短答式	-3.7	76.6	80.3	9.1	7.0
8五2	古文に当てはまる言葉を昔話の中から抜き出す	伝	言	短答式	-0.3	70.7	71.0	10.8	9.0
8六	文字を書く際に生かしたアドバイスとして適切なものを選択する	伝	言	選択式	-5.1	72.5	77.6	2.2	1.6

■国語B

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率－ 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1一	標語に使用されている表現の技法として適切なものを選択する	伝	言	選択式	-3.5	61.8	65.3	0.3	0.3
1二	標語から伝わってくるメッセージを書く際に気を付けたこととして適切なものを選択する	読	読	選択式	-0.6	58.3	58.9	0.4	0.4
1三	ノートを基に、標語から伝わってくる（メッセージ）と（表現の工夫とその効果）を書く	書/読/伝	聞/書/読/言	記述式	-2.9	45.3	48.2	4.9	3.4
2一	本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する	読	読	選択式	-2.5	28.9	31.4	0.6	0.6
2二	本やインターネットの内容から答えが得られるものとして適切なものを選択する	読	読	選択式	-6.3	54.6	60.9	0.9	0.7
2三	水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く	書/読	聞/書/読	記述式	-2.7	25.7	28.4	20.5	16.0
3一	演者が顔を向ける方向として適切なものを選択する	読	読	選択式	-3.7	48.3	52.0	1.0	0.7
3二	殿さまの言葉が表す殿さまの姿として適切なものを選択する	読/伝	読/言	選択式	-2.7	64.5	67.2	1.1	0.8
3三	落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く	書/読/伝	聞/書/読/言	記述式	-4.1	42.4	46.5	10.6	8.6

「白抜き」は、全国正答率より5ポイントをこえて低い正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

## 【経年で見た成果と課題】

- ◇ 話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たすことに改善が見られる。[A6二]  
→「話し合いの方向を捉えて司会の役割を果たすことについて、個々の発言の内容を整理しながら話し合いの方向を捉えて話すことに課題がある。」
- ◆ 自分の考えを表す際に、根拠を示すことは意識されているが、根拠として取り上げる内容を正しく理解した上で活用する点に課題がある。 [B1三、2三]
- ◆ 文章や資料から必要な情報を取り出し、伝えたい事柄や根拠を明確にして自分の考えを書くことについて、説明する際に、文章や資料から必要な情報を取り出してはいるが、それらを用いて伝えたい内容を適切に説明する点に、依然として課題がある。[B2三]  
→「根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに依然として課題がある。」  
(『平成25年度全国学力・学習状況調査結果の概要』P.12による)

## 【学習指導要領の領域別状況】 <◇相当数の生徒が理解できている内容 ◆課題がある内容 [ ] 設問番号>

話すこと・聞くこと	<p>◇必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出すことは、相当数の生徒ができています。[A1二]</p> <p>◆目的に沿って話し合い、互いの発言を検討することに課題があり、指導の充実が求められる。 [A6一]</p>
書くこと	<p>◇心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書き加えることは、相当数の生徒ができています。 [A2一]</p> <p>◇集めた材料を分類するなどして整理することは、相当数の生徒ができています。 [A4一]</p> <p>◆資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことに、依然として課題がある。 [B2三]</p> <p>◆根拠を明確にして自分の考えを具体的に書くことに、依然として課題がある。 [B3三]</p>
読むこと	<p>◇登場人物の心情や行動に注意して読んだり、文章全体と部分との関係を考えたりして、内容を理解することは、相当数の生徒ができています。 [A3一、A5二]</p> <p>◆文章の構成や表現の仕方などについて自分の考えをもつことに課題がある。 [B1三]</p> <p>◆複数の資料を比較して読み、要旨を捉えることに課題がある。 [B2一]</p>
伝統的な書文化と 国語の特質に関する事項	<p>◇今回出題された漢字の読みについては、相当数の生徒ができています。 [A8二]</p> <p>◆文脈に即して漢字を正しく書くこと、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、一部に課題がある。 [A8一1、2、三ア]</p>

### 【正答率が高い問題】

A8三イ 適切な語句の選択 (とりあえず)	[95.5%]
A8二3 漢字の読み (挑む)	[94.7%]
A8三オ 適切な語句の選択 (ご案内します)	[91.7%]

### 【正答率が低い問題】

B2三 伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書く	[25.7%]
B2一 複数の資料を比較して読み、要旨を捉える	[28.9%]
B3三 根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く	[42.4%]

## 【中学校数学】

○ 数学A（知識）の平均正答率は、62.7%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解すること [5 (4) 31.0%]
- ・関数の意味を理解すること [9 30.9%]

○ 数学B（活用）の平均正答率は、53.6%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること [5 (2) 25.7%]
- ・グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を数学的に説明すること [6 (3) 24.5%]

平成26年度全国学力・学習状況調査

調査結果概況 [数学A 主として知識]

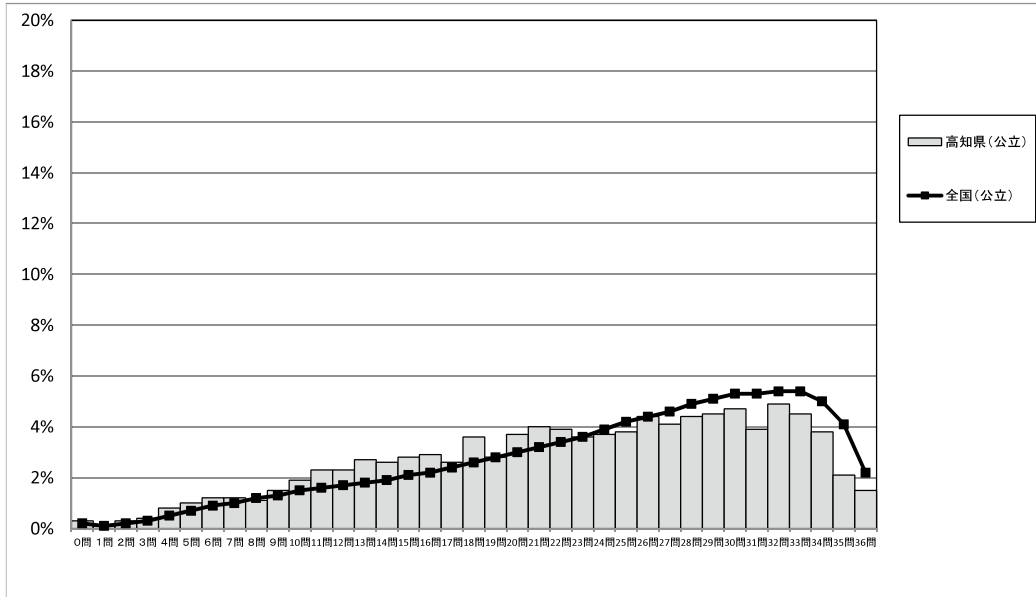
高知県一生徒(公立)

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	4,965	22.6/36	62.7	24.0	8.4
全国(公立)	1,018,328	24.3/36	67.4	26.0	8.2

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



平成26年度全国学力・学習状況調査

調査結果概況 [数学B 主として活用]

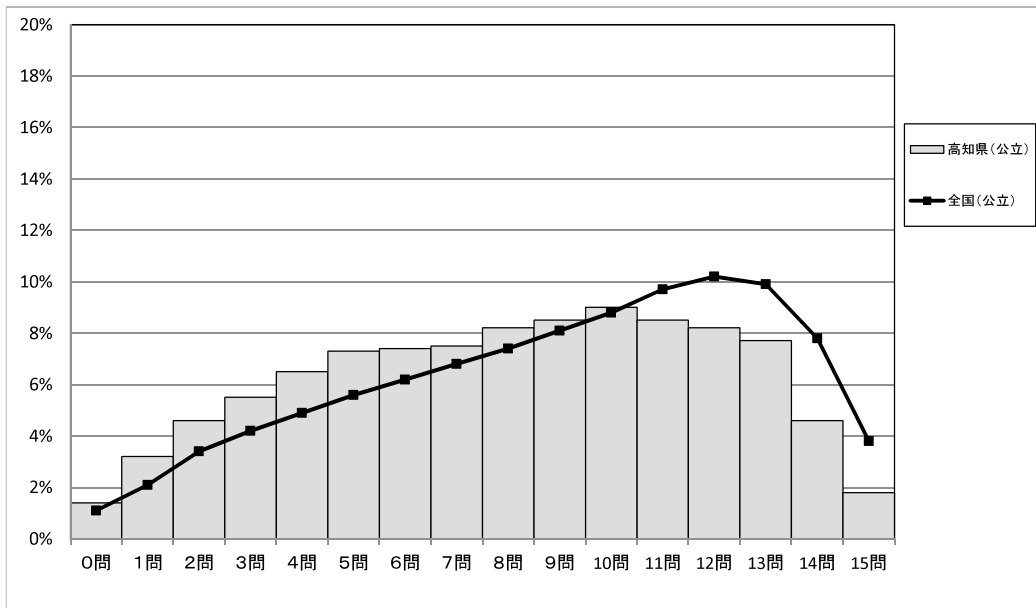
高知県一生徒(公立)

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月22日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	4,965	8.0/15	53.6	8.0	3.8
全国(公立)	1,018,365	9.0/15	59.8	10.0	3.9

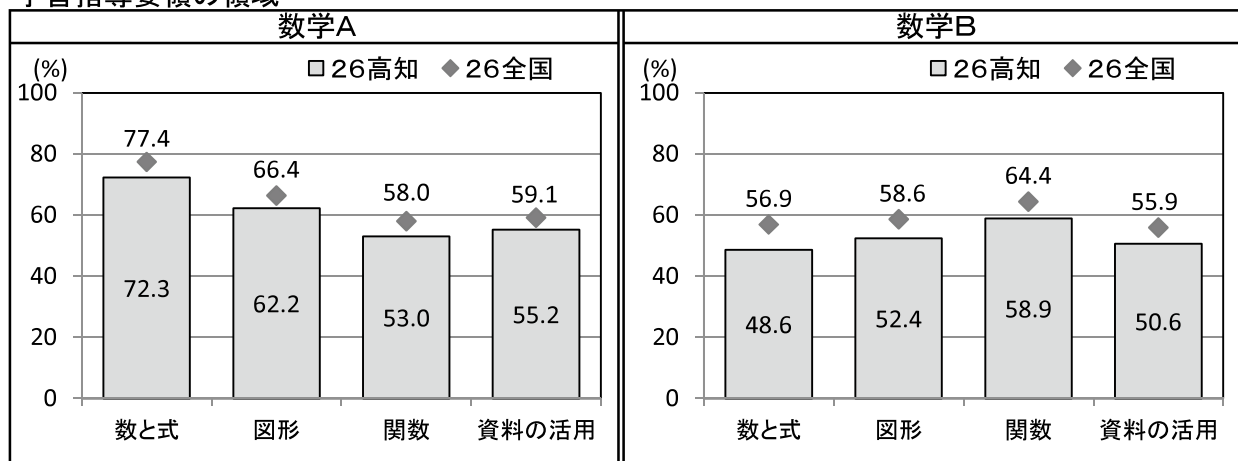
正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



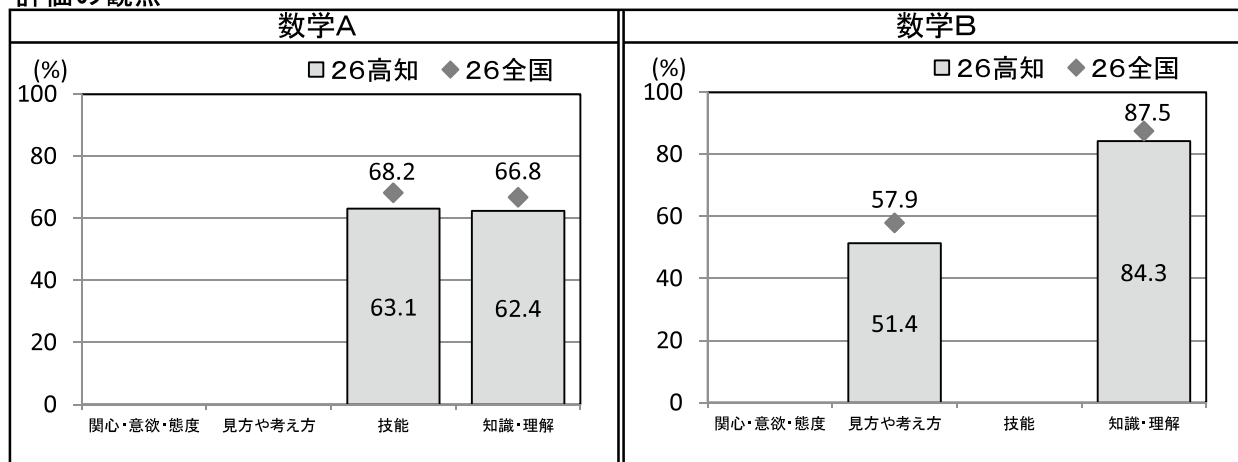
【分類・区分別の状況】

- 領域別では、数学A（知識）、数学B（活用）とも「数と式」「関数」で平均正答率が全国平均より5ポイント以上低い。
- 観点別では、数学B（活用）の「数学的な見方や考え方」で平均正答率が全国平均より6.5ポイント低い。
- 問題形式別では、数学A（知識）の「短答式」、数学B（活用）の「短答式」「記述式」で平均正答率が全国平均より5ポイント以上低い。

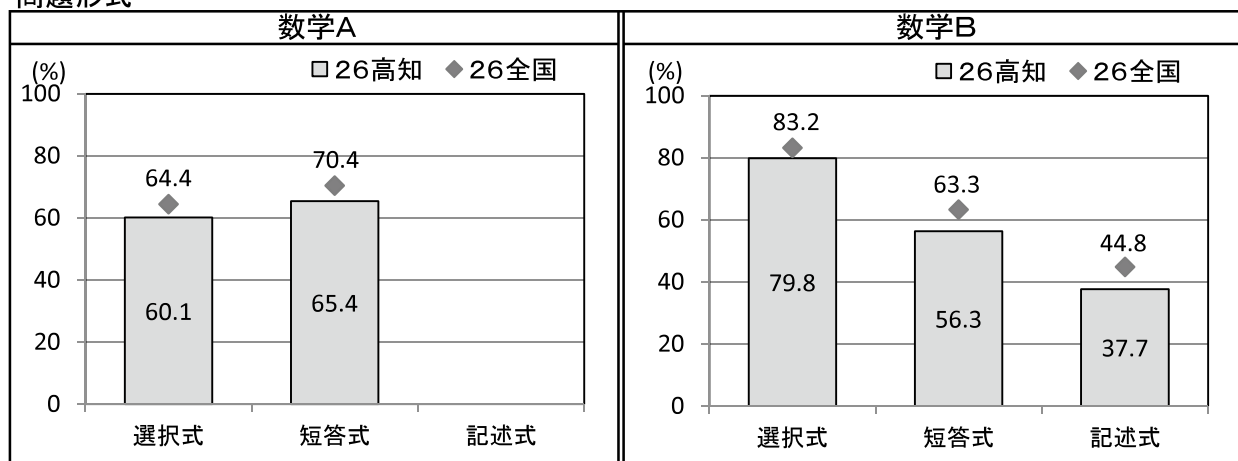
学習指導要領の領域



評価の観点



問題形式





【設問別集計結果 中学校（数学）】

■数学A

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率— 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1 (1)	$\frac{3}{4} \div \frac{5}{6}$ を計算する	小6数と計算	技	短答式	-2.0	83.8	85.8	3.7	2.8
1 (2)	$2 \times (-5^2)$ を計算する	数と式	技	短答式	-8.2	62.5	70.7	2.1	1.5
1 (3)	-7の絶対値を書く	数と式	知	短答式	-0.9	80.1	81.0	7.0	5.9
1 (4)	35を基準にして38を正の数で表す	数と式	知	短答式	-3.0	88.1	91.1	3.2	2.3
2 (1)	「プールの水の深さは120cm以下である」という数量の関係を表した不等式を書く	数と式	技	短答式	-4.8	40.4	45.2	12.8	11.1
2 (2)	$10xy \div 5x$ を計算する	数と式	技	短答式	-4.2	86.5	90.7	3.6	2.4
2 (3)	$a=2$ 、 $b=3$ のときの式 $ab^2$ の値を求める	数と式	技	短答式	-4.0	78.6	82.6	7.5	5.9
2 (4)	男子 $m$ 人と女子 $n$ 人が1人2個ずつ持った風船の合計数を、 $m$ と $n$ を用いて表した式を選ぶ	数と式	技	選択式	-2.6	88.6	91.2	0.6	0.4
3 (1)	一元一次方程式を解くとき、移項が行われている式変形として正しいものを選ぶ	数と式	知	選択式	-3.2	86.5	89.7	0.8	0.6
3 (2)	一元一次方程式 $\frac{x-1}{3} = 2$ を解く	数と式	技	短答式	-11.4	48.1	59.5	16.8	12.4
3 (3)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	数と式	知	短答式	-6.0	68.1	74.1	1.6	1.0
3 (4)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} y = 3x - 2 \\ y = 2x + 3 \end{cases}$ を解く	数と式	技	短答式	-11.3	55.9	67.2	15.4	10.0
4 (1)	線対称な図形を完成する	小6図形	技	短答式	-1.7	92.1	93.8	2.8	2.5
4 (2)	与えられた方法で作図される直線について、正しい記述を選ぶ	図形	知	選択式	-6.4	49.6	56.0	1.1	0.7
4 (3)	与えられた角が回転移動した後の角を選ぶ	図形	技	選択式	-0.6	41.9	42.5	0.8	0.6
5 (1)	直方体の1つの面の対角線を含む直線と平行な面を書く	図形	知	短答式	-2.0	79.0	81.0	5.0	4.2
5 (2)	三角形をそれと垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体の名称を選ぶ	図形	知	選択式	-3.1	81.7	84.8	0.6	0.5
5 (3)	円錐の展開図において、側面のおうぎ形の半径を読み取る	図形	技	短答式	-5.0	62.7	67.7	8.3	7.4
5 (4)	円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ	図形	知	選択式	-7.7	31.0	38.7	0.7	0.7
6 (1)	長方形ABCDにおいて、 $AC=BD$ が表す性質を選ぶ	図形	技	選択式	-6.3	55.4	61.7	0.7	0.6
6 (2)	三角形の外角について、正しい記述を選ぶ	図形	知	選択式	-4.1	69.3	73.4	1.1	1.0
6 (3)	$n$ 角形の内角の和を求める式について、六角形の内角の和を求める過程を読み、 $(n-2)$ が表すものを選ぶ	図形	知	選択式	-1.6	46.2	47.8	1.3	1.0
7	証明で用いられている三角形の合同条件を選ぶ	図形	知	選択式	-5.3	67.8	73.1	1.3	0.9
8	証明の方針を立てる際に着目すべき図形を指摘する	図形	知	短答式	-6.5	69.3	75.8	10.3	7.2
9	与えられた表を基に、宅配サービスの重量と料金の関係を、「…は…の関係である」という形で表現する	関数	知	短答式	-4.9	30.9	35.8	22.5	17.9
10 (1)	$x=2$ 、 $y=6$ の比例の式を求める	関数	技	短答式	-6.0	50.7	56.7	16.2	13.0
10 (2)	反比例の性質を表した記述を選ぶ	関数	知	選択式	-5.7	70.2	75.9	1.5	1.1
10 (3)	$s=vt$ を基に、速さ $v$ が一定のとき、時間 $t$ と道のり $s$ の関係について、正しい記述を選ぶ	関数	知	選択式	-5.4	55.0	60.4	2.0	1.5
10 (4)	反比例のグラフから表を選ぶ	関数	知	選択式	-3.7	42.0	45.7	2.1	1.7
11 (1)	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	関数	知	選択式	-4.8	42.5	47.3	2.3	1.8
11 (2)	一次関数 $y = 3x - 4$ のグラフを選ぶ	関数	知	選択式	-6.4	68.7	75.1	1.9	1.4
12	グラフから、連立二元一次方程式の解を座標とする点を選ぶ	関数	知	選択式	-2.7	64.0	66.7	3.0	2.5
13 (1)	生徒60人の通学時間の分布を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める	資料の活用	技	短答式	-4.2	38.5	42.7	18.0	16.7
13 (2)	ハンドボール投げの記録の分布を表したヒストグラムから、記録の中央値を含む階級を選ぶ	資料の活用	知	選択式	-3.8	48.2	52.0	2.3	1.8
14 (1)	画びょうを投げた実験結果から、上向きになる確率を選ぶ	資料の活用	知	選択式	-4.0	72.6	76.6	2.9	2.0
14 (2)	樹形図を利用して、3枚の硬貨を同時に投げるとき、表が2枚、裏が1枚出る確率を求める	資料の活用	技	短答式	-3.8	61.3	65.1	13.4	10.6

■数学B

設問番号	設問の概要	領域等	評価の観点	問題形式	高知県正答率— 全国正答率	正答率		無解答率	
						高知県	全国	高知県	全国
1 (1)	案内図を基に、経路を示すはし紙を選ぶ	図形	考	選択式	-4.6	72.4	77.0	0.3	0.3
1 (2)	外から校舎を見た図で、案内図に示された非常口の位置を選ぶ	図形	考	選択式	-1.5	91.3	92.8	0.4	0.4
1 (3)	図形の性質を用いて、横断幕が床にまったく隠れない最も低い位置を求める方法を言葉や図で説明する	図形	考	記述式	-7.4	53.2	60.6	15.9	12.7
2 (1)	2つの偶数の和は偶数になることの説明を完成するために、式 $2m + 2n$ を変形する	数と式	考	短答式	-12.9	48.3	61.2	14.1	9.3
2 (2)	2つの偶数の積は8の倍数になるとは限らないことの説明を完成するために、予想が成り立たない例をあげ、その積を求める	数と式	考	短答式	-6.8	58.6	65.4	12.8	9.0
2 (3)	2つの偶数の商についての正しい記述を選び、その理由を説明する	数と式	考	記述式	-5.3	38.9	44.2	7.9	6.3
3 (1)	与えられた表やグラフから、人数が24人のときに6.0秒かかったことを表す点を求める	関数	知	短答式	-3.2	84.3	87.5	8.0	5.8
3 (2)	大地さんの求め方を基に、ウェーブをすする人数と時間について、2つの数量の間の関係を説明する	関数	考	記述式	-7.8	54.5	62.3	36.0	30.1
4 (1)	2つの線分の長さが等しいことを証明する	図形	考	記述式	-10.2	29.2	39.4	29.2	22.5
4 (2)	$\angle BAC = 110^\circ$ 、 $BD=AD$ のとき、 $\angle DAE$ の大きさを求める	図形	考	短答式	-7.6	15.7	23.3	29.3	25.8
5 (1)	スティックゲームの遊び方を基に、1本表、3本裏のときの得点を求める	資料の活用	考	短答式	-4.3	75.4	79.7	7.1	4.8
5 (2)	1点と2点のとりやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する	資料の活用	考	記述式	-6.4	25.7	32.1	8.6	7.3
6 (1)	弟が駅に着いたときの、兄のいる地点から駅までの道のりを求める	関数	考	短答式	-7.3	55.4	62.7	11.1	9.0
6 (2)	兄の速さを変えないとき、弟と兄の進む様子を表したグラフを選ぶ	関数	考	選択式	-4.0	75.8	79.8	3.3	2.5
6 (3)	兄の出発時間を変えないとき、兄の進む様子を表すグラフの両端の2点を求め、そのグラフから兄の速さを求める方法を説明する	関数	考	記述式	-5.4	24.5	29.9	20.6	17.5

「白抜き」は、全国正答率より5ポイントをこえて低い正答率

「白抜き」は、全国正答率より10ポイントをこえて低い正答率

「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率



**【経年で見た成果と課題】**

- ◇ 昨年度と比較して、B問題における記述式問題の無解答率が減少（H26：19.7%←H25：34.0%）したことに成果が見られる。
- ◆ 平成20年改訂の学習指導要領で移行・追加された学習内容（不等式、回転移動、関数、相対度数、中央値、確率を用いて不確定な事象を捉え説明すること等）の定着に課題がある。  
[A2](1)、A4(3)、A9、A13(1)、A13(2)、B5(2)]
- ◆ 予想された事柄が成り立たないことを判断し、その理由を説明することに課題があり、指導の充実が求められる。[B2(3)]  
→「事柄が成り立たないことを示すために、反例をあげる活動を充実させることが大切である。」  
(『平成22年度全国学力・学習状況調査結果の概要』P.26による)

**【学習指導要領の領域別状況】** <◇…相当数の生徒ができています点 ◆…課題がある内容 [ ] 設問番号>

数と式	◇数量を文字式で表すことは、相当数の生徒ができています。 [A2](4) ◇正の数と負の数の意味を実生活の場面に結び付けて理解することは、相当数の生徒ができています。 [A1](4) ◆予想された事柄が成り立たないことを判断し、その理由を説明することに課題がある。 [B2](3)
図形	◇空間における位置に関する情報を適切に読み取ることは、相当数の生徒ができています。 [B1](2) ◆図形の性質を、構想を立てて証明したり、付加された条件の下で、証明を振り返って考え、事柄を用いて考えたりすることに課題がある。 [B4](1)(2)
関数	◇与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることは、相当数の生徒ができています。 [B3](1) ◆グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明することに課題がある。 [B6](3) ◆関数の意味を理解することに課題がある。 [A9]
資料の活用	◆不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 [B5](2) ◆相対度数を求めることに課題がある。 [A13](1)

**【正答率が高い問題】**

- A4(1) 線対称な図形を完成する [92.1%]
- B1(2) 外から校舎を見た図で、案内図に示された非常口の位置を選ぶ [91.3%]
- A2(4) 男子  $m$  人と女子  $n$  人が1人2個ずつ持った。風船の合計数を、 $m$  と  $n$  を用いて表した式を選ぶ [88.6%]

**【正答率が低い問題】**

- B4(2)  $\angle BAC = 110^\circ$ 、 $BD = AD$  のとき、 $\angle DAE$  の大きさを求める [15.7%]
- B6(3) 兄の出発時刻を変えないとき、兄の進む様子を表すグラフの両端の2点を求め、そのグラフから兄の速さを求める方法を説明する [24.5%]
- B5(2) 1点と2点のとりやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する [25.7%]

【課題が見られる設問の例】 B問題 1三 立場や意図をはっきりさせながら討論する〈卒業文集〉

1

第一小学校の六年生の学級では、「卒業文集はパソコンを使ってつくるか、手書きにするか」という議題で、それぞれの立場に分かれて討論会を行っています。次は、そのときの「討論会の様子」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【討論会の様子】

司会 これからは討論会を始めます。今日の議題は「卒業文集はパソコンでつくるか、手書きにするか」ということです。ではまず、パソコンを使う立場からの主張をお願いします。

丸山 はい。ぼくは、パソコンを使う方がよいと思います。手書きは、文字を書いたり消したりするのがめんどくさいからです。パソコンであれば、何回でも簡単に書き直したり消したりできるので、作業に取り組みやすいと思います。

大野 私はパソコンを使う方がよいと思います。記念に残る卒業文集なので、書き出すときはパソコンで考え、手書きで書いた卒業文集には読みにくいところがありました。パソコンであれば、文字が上手にどうにか関係なく、文字の形や大きさがどうであって読みやすくなります。

次に、手書きの立場からの主張をお願いします。

平川 はい。ぼくは、手書きの方がよいと思います。決めた方がよいと思います。六年生の子供は手書きの文字をそのまま残した方が、記念に残る卒業文集になります。

司会 一度整理をします。それと私の主張に共通する視点が二つあります。一つ目は、丸山さんと平川さんから出された「記念に残る卒業文集のあり方」についてです。二つ目は、大野さんと関口さんが出された「記念に残る卒業文集のあり方」についてです。では最初に、手書きの立場からパソコンを使う立場に対して、この視点をそれぞれについて質問や意見を申し上げます。まず、「二つ目の」から質問や意見を申し上げます。

丸山 丸山さんの発言に対して質問があります。私はパソコンの操作が得意ではありませんが、パソコンを使って文章を書くことに慣れている人は、学校に何人くらいいると考えていますか。

林 はい、学校の半分くらいは、使っていると思います。

谷 丸山さんの発言に対して意見があります。全員がパソコンを使っているわけではないので、本当に時間がかかるとして、定数がおこなわれます。パソコンを使ったり、手書きの字がスムーズに取り組めるので、手書きがよいと思います。

丸山 確かに、パソコンを上手に使えない人は時間がかかるとは思います。そうであれば、使い慣れている人が、そうでない人に教えながら取り組むことだと考えています。

司会 ほかにありませんか。意見がないことを確認します。さうすれば二つ目の【討論会】に探る卒業文集のあり方について、質問や意見を申し上げます。

あなた 大野さんの発言に対して、質問や意見を申し上げます。

三 あなたは、「討論会の様子」の中の「イ」のところで、大野さん②の発言に対して、手書きの立場から「質問」か「意見」かのどちらかを選んで、解答用紙の「イ」の中に「質問」か「意見」かのどちらかを選んで書き、その内容を次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

○ 大野さん②の発言の中の言葉を、「」を使って引用して書くこと。なお、「」の中に引用する言葉は二十五字以内とする。

○ 書き出しの文に続けて、八十字以上、百字以内にとめて書くこと。なお、書き出しの文は字数にふくむ。

《出題の趣旨》

立場を明確にして、質問や意見を述べるができるかどうかをみる。

《学習指導要領における領域・内容》

[第5学年及び第6学年] A 話すこと・聞くこと

エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

[第5学年及び第6学年] B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

解答類型	類型番号	高知県反応率 (%)	全国反応率 (%)
(正答の条件) 次の条件を満たして、解答している。 ① 手書きの立場に立って質問、意見のどちらかを選択した上で、その内容を書いている。 ② 大野さん②の発言の中の言葉を「」を使い、25字以内で引用して書いている。 ③ 書き出しの文に続けて、80字以上、100字以内で書いている。			
(正答例) ・(大野さんの発言に対して) 質問 (があります。) 「去年の卒業文集には読みにくいところがありました」と言いましたが、どの部分が読みにくかったですか。また、文字以外に読みにくいところはありましたか。(94字)			
条件①、②、③を満たしているもの	1◎	28.5	28.3
条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	2	2.3	2.4
条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの ※条件③を満たしているかどうかは不問とする。	3	54.9	55.7
条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの ※条件③を満たしているかどうかは不問とする。	4	0.7	0.7
上記以外の解答	9	7.6	8.0
無解答	0	6.0	5.0

○ 正答率は28.5%であり、相手の発言を引用して質問や意見を述べることに課題がある。

正答の条件①である「手書きの立場に立って質問、意見のどちらかを選択した上で、その内容を書いている」に関しては、85.7% (解答類型1・2・3) がその内容を満たした解答であり、一定の立場に立って話し合うことに対する理解については進んでいるものと考えられる。

○ 解答類型3の反応率が54.9%と高く、具体的な誤答例としては、左のようなものがある。

(解答類型3) 54.9%

これは、条件②を満たしていないものであり、引用についての理解に課題があると考えられる。誤答の状況から、一定の立場で話し合うことに対する理解は進んでいるが、根拠を明確にして話し合うことについての改善が必要であると考えられる。

○大野さんの発言に対して意見があります。読みやすさも大事だけど、手書きの字にその人の個性が表れ、もう一度見たときに、学級のみんなを思い出し、なつかしむことができると思います。

大野さん②の発言の中の言葉を、引用して書くことができていない。

○大野さんの発言に対して意見があります。「パソコンで見やすくすることがありました」が手書きでもありますが紙に書けば、読みやすく、きれいに書けるのではないかと考えましたかどうですか。

「」を使って書いているものの、その内容が大野さんの②の発言の言葉を引用して書くことができていない。

○大野さんの発言に対して意見があります。手書きだった去年の卒業文集には読みにくいところがありましたと言っていました、全員が読みにくいとは限らないと思うので手書きはいいと思います。

大野さん②の発言の中の言葉を書き抜いているものの、「」を使って引用して書くことができていない。

### 学習指導に当たって

#### 互いの立場や意見を踏まえた上で、質問や意見を述べる

討論会においては、課題解決のために互いの立場や意見を踏まえた上で、質問や意見を述べる事が重要である。そのためには、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えとの共通点や相違点を明確にして聞くことが大切である。

具体的な指導としては、話し手の内容の中から、中心となる考え、理由や根拠などを短い言葉で要約してメモなどに書き留めるような指導が有効である。

また、引用についての課題を改善するために、原文や話の内容を正確に引用することや、引用する部分と自分の考えとの関係などを明確にすること等が大切である。また、書く際には、引用する部分をかぎ（「」）で括ることや、引用した文章等の出典について明記すること、引用する部分が適切な量になること等について、具体的に指導することが大切である。

### 調査問題を活用した授業アイデア例

#### 立場や意図をはっきりさせながら、討論会をしよう

～立場や根拠を明確にして、話し合うことができる～

調査問題や「質問や意見を述べるときのポイント」を参考に、討論の仕方を理解させたり、実際に討論を行ったりするなどの工夫が大切だ。



#### ポイント!

相手の意見を引用するなどして、自分の質問や意見を述べる

◇調査問題を読んで、自分が手書きの立場として、パソコンの立場である話し手（大野さん）との共通点や相違点をメモにとる。

- ・話し手の発言内容の中から、中心となる考え、理由や根拠などを、短い言葉で要約して、メモに書き留めさせる。

◇メモを基に、手書きの立場としての質問や意見を考える。

- ・「質問や意見（賛成・反対）を述べるときのポイント」を基に、考えさせる。

#### 質問や意見を述べるときのポイント（例）

##### 質問するとき

相手の主張を引用して、分からない点や分かりにくい点を質問する。

##### 意見を述べるとき

##### 賛成

「〇〇さんが…と話したように、私も…です」などと、似たような内容であっても自分なりの言葉を使って発言する。

##### 反対

相手の立場を尊重した言葉遣いで話すことを大切にする。

- ・考えたことを交流し、引用の仕方や根拠の示し方を確認させる。

話し手の発言内容

【パソコンの立場】

- ・去年の卒業文集には読みにくいところがありました。
- ・文字の形や大きさがそろうので読みやすくなる。
- ・記念に残る卒業文集なので、読みやすく作るべき

聞き手のメモ

【手書きの立場】

- どの部分が読みにくかったのだろう。
- 手書きでも原こう用紙のまですに合せていねいに書けば、読みやすい文集になるのではないか。
- 自分が書いた文字を残した方が卒業記念に残ると思う。

【課題が見られる設問の例】 B問題 3 (3) 情報の整理・選択と判断の根拠の説明（配膳）

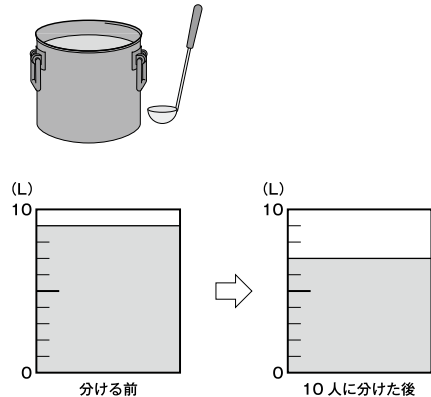
3 (3)

ともみさんは、右のような入れ物に入っているスープを分ける係になりました。

ともみさんは、玉じゃくし1ばいを1人分として、40人に分け始めました。すると、分ける前と10人に分けた後では、右の図のようになりました。

この分け方で、残りの30人にスープを分けることができますか。次の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、言葉と数を使って書きましょう。

- 1 足りなくなって、分けることができない。
- 2 残さず分けることができる。
- 3 分けることはできるが、残る。



《出題の趣旨》

示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。

《学習指導要領における領域・内容》

- [第2学年] B 量と測定 (2) 体積について単位と測定の意味を理解し、体積の測定ができるようにする。  
 ア 体積の単位（ミリリットル（m1）、デシリットル（d1）、リットル（1））について知ること。  
 [第5学年] B 量と測定 (4) 異種の二つの量の割合としてとらえられる数量について、その比べ方や表し方を理解できるようにする。  
 ア 単位量当りの大きさについて知ること。

解答類型		類型番号	高知県反応率 (%)	全国反応率 (%)
(正答の条件) 番号を3と解答し、次の①、②、③、④の全てまたは①、②、③を書いている。				
① 10人分のスープの量が2Lであることを示す数と言葉				
② 30人に必要なスープの量が6Lになること、または、40人に必要なスープの量が8Lになることを示す数と言葉				
③ 10人に分けた後のスープの量が7Lであること、または、分ける前のスープの量が9Lであることを示す数と言葉				
④ 1L残ることを示す数と言葉				
3と解答しているもの	・①、②、③、④の全て書いているもの。または、①、②、③を書いているもの	1◎	28.2	26.3
	・①、②、④を書いているもの	2○	2.3	2.9
	・②、③、④、または、②、③、または、②、④を書いているもの	3○	1.3	1.4
	・①、②、または、②を書いているもの	4	4.7	5.0
	・①、③、④、または、①、③、または、③、④、または、③を書いているもの	5	14.1	13.1
	・類型1から類型5以外の解答 または、無解答	6	28.6	30.9
・1と解答しているもの		7	12.5	12.1
・2と解答しているもの		8	6.6	5.8
・上記以外の解答		9	0.4	0.5
・無解答		0	1.4	1.9

○ 正答率は31.8%であり、示された情報を基に必要な量と残りの量の大小を判断し、その理由を言葉と数を用いて記述することに課題がある。

選択肢番号 3

10人分のスープの量が2L。40人に配ると1L残る。

解答類型6の反応率が28.6%である。基準となる10人分のスープの量や最後に残るスープの量を書いているが、その根拠となる必要なスープの量や今あるスープの量について説明ができていない。

選択肢番号 3

10人分のスープの量は、 $9 - 7 = 2$ で、2Lです。10人に分けた後では7L残る。

解答類型5の反応率が14.1%である。スープが余ることの理由として、残りのスープの量について説明できているが、学級全員に配るために必要なスープの量について説明することができていない。

選択肢番号 1

10人で3L減っているから、残り30人では9Lいるから足りない。

解答類型7の反応率が12.5%である。問題の「10人に分けたあとのスープの量」を表す図をみて、容器の容量が10Lであることから10人に分けて3L減ったものと誤ってとらえている。

### 学習指導に当たって

○問題の解決に必要な情報を選択し、根拠となる事実を関連付けることで、解決の方法や判断の理由を説明することができるようにする。

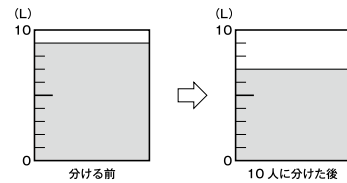
問題を解決した過程を説明する際には、問題（文章や図、表、グラフなど）から必要となる情報を選択するとともに、根拠となる事実を関連付けて、判断の理由を的確に示すことが大切である。指導に当たっては、不明確な説明を基に、説明の中に何が不足しているのかについて考え、課題に応じた説明へと洗練する活動を取り入れることが考えられる。

### 調査問題を活用した授業アイデア例

指導のねらい

比較する対象を明確にして説明することができるようにする

① 「分けることはできるが、残る」と判断した理由を説明しよう。



◇判断した理由を述べた内容に線を引かせる。



しんやさんの説明

10人分のスープの量が2L  
なので、1L残ります。



めぐみさんの説明

10人分のスープの量は2Lで、30人  
に必要なスープの量は6Lだから、分け  
ることはできるけれど、残ります。



②判断した根拠を説明するために必要な内容を整理しよう。

1. 10人分のスープの量が2Lになること
2. 30人に必要な量が6Lになること
3. 10人に分けた後のスープの量が7Lになること
4. 1L残ること

ポイント

スープを分けることができるかどうか判断するためには、どのような根拠が必要になるのか、解決の見通しを明確にすること

③説明で「分かりやすいところ」や「足りないところ」を話し合ってみましょう。

◇数量の大小を比較する際に、比較する対象が明確になっているかを1～4の観点と解答とを対応させながら確認する。



しんやさんの説明は、10人分のスープの量は分かるけど、30人分のスープの量が分かりません。



めぐみさんの説明は、10人分のスープの量をもとに30人に必要なスープの量を求めたことは分かるけど、それを比べた結果が分かりません。

◇いろいろな解答を検討することで、考えや表現の仕方を徐々に洗練していきましょう。



【課題が見られる設問の例】 B問題 2三 説明的な文章を読む（接着剤）

2 次は、接着剤について書かれた本の一部と、「インターネットの情報の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

本の題  
いろいろな物をくっつけることができる接着剤、物を組み立てる人や壊れた物を直す人などに、とても便利なものです。なぜ接着剤は物をくっつけることができるのでしょうか。物をくっつける仕組みはいろいろありますが、ここでは代表的な仕組みを説明してみます。



接着剤を塗ると、凹凸のすき間に接着剤が入ります。そして、すき間に入った接着剤が固まることで物がくっつきます。これを「アンカー効果」といいます。アンカーとは船の錨のことです。接着剤が物をくっつける仕組みを、海の底に錨を下ろし船を留めておくと例えて、そう呼んでいます。つまり、液体の状態の接着剤が、すき間に入り込んで固まることで、物を物とくっつけているのです。

次に、接着剤が液体から固体になる変化について考えてみます。

接着剤が液体から固体になる変化は、いくつかの種類があります。例えば、工作用のりや木工用接着剤は、接着剤の中に水分や糊粉を含んで、それが蒸発することで固まります。水を含んでいない切手ののりや接着剤は、接着剤の中の部分が、ぬらすことで液体の接着剤になり、やがて固まります。つまり、接着剤に含まれる水分や糊粉が蒸発することで、接着剤が液体から固体になるのを促進しています。また、アイロンでくっつけるタイプの接着剤の場合も、固まっていた接着剤がアイロンの熱によって溶けいった液体になり、それが冷えて固体になるとくっつきます。このように、熱を加えて接着剤を一度溶かし、その後、液体が冷えて固まることでくっつく接着剤を「ホットメルト接着剤」といいます。他に、液体が化学変化を起こして固体になるものがあります。例えば、瞬間接着剤は、瞬間接着剤には、乾いているように見えても中に水分が含まれています。空気中にも水分が含まれています。瞬間接着剤は、その水分に反応し、非常に強いヒートで固体に変化するのです。

最後に、接着剤がどのような場面で用いられているかを考えてみましょう。

接着剤の用途を調べると、思いもよらないものに接着剤が用いられていることがよく見られます。例えば、飛行機やスペースシャトルの機体の組み立てには接着剤が用いられています。電子部品を製作するときにも、金属の接合を助けた接着剤が用いられています。また、印刷機の中には、紙を支えているローラーを、コンクリートでできた手枠の中に接着剤で固定している機体もあります。このように、現代において接着剤は、様々な場面で用いられています。

三 封筒に貼ってある切手を水の中にしばらく浸しておくとき、きれいにはがすことができる理由を適切に書いてください。理由を次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

- 条件1 「切手」、「液体」、「アンカー効果」という言葉を全て使って書くこと。
- 条件2 二十字以上、五十字以内で書くこと。

《出題の趣旨》

資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことができるかどうかをみる。

《学習指導要領における領域・内容》

〔第1学年〕 B 書くこと

ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。《記述》

〔第2学年〕 C 読むこと

オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。《読書と情報活用》

解答類型	類型番号	高知果反応率(%)	全国反応率(%)
次の条件を満たして解答している。 (正答の条件) ① 切手を水の中にしばらく浸しておくとききれいにはがすことができる理由を適切に書いている。 ② 「切手」、「液体」、「アンカー効果」という言葉を全て使って書いている。 ③ 二十字以上、五十字以内で書いている。			
(正答例) ・切手を水に浸すことで、固体となっていたのりが液体となり、アンカー効果がなくなるから。(43字) ・切手ののりが液体になり、アンカー効果を失うから。(25字) ・水にしばらく浸すと切手ののりの部分が固体から液体になる。その結果、アンカー効果がなくなるから。(48字)			
条件①、②、③を満たして解答しているもの	1 〇	25.7	28.4
条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	2	0.0	0.0
条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	3	0.7	1.1
条件②、③を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	4	47.7	49.4
上記以外の解答	9	5.4	5.0
無解答	0	20.5	16.0

○ 正答率は25.7%であり、目的に応じて適切な情報を得て、伝えたい事柄が明確に伝わるように書くことに課題がある。また、無解答率は20.5%であり、本調査の設問の中で最も高い無解答率となっている。

正答は、切手を水の中に浸しておくとききれいにはがすことができる理由を、接着剤のアンカー効果が失われる、あるいは接着剤が液体になるという言い方で適切に述べているものである。

○ 解答類型4の反応率が47.7%と高く、具体的な誤答例としては、左のようなものがある。

これは、条件①を満たしていないものであり、文章や資料から必要な情報を取り出しはいるが、それらを用いて伝えたい内容を適切に説明する点に、依然として課題があると考える。

(解答類型4) 47.7%

○ 切手が液体に触れることでアンカー効果というものが働いて、きれいにはがすことができる。

○ 切手はだ液で貼ることができるので、液体に浸せばアンカー効果がきれいにはがれます。

アンカー効果について正しく読み取ることができていない。

○ アンカー効果でくっついていた切手が、水に浸すことで固体から液体になったから。

事実を明確に書くことができていない。

○ アンカー効果がなくなったから、切手ののりが固体から液体になった。

原因と結果を逆に捉えて書いている。

○ 切手の裏ののりは、ぬらすと液体の接着剤となり、これが物にくっつく仕組みをアンカー効果という。

切手をきれいにはがすことができる理由に  
対する解答ではなく、アンカー効果の説明  
をしようとしている。

### 学習指導に当たって

#### 内容が正確に伝わるように説明する

説明は調べたことを羅列するだけでは十分ではない。説明する際には、複数の情報を正確に理解し、相手や目的に応じて取捨選択したり関係付けしたりして説明する内容を適切に表現することが求められる。その際、「本や資料等から得た情報を正確に理解して整理しているか」「伝えたい内容を正確かつ分かりやすく述べているか」を意識するように指導することが大切である。

今回の調査から見えた課題の改善のために、国語科の学習の中で、このような点に留意した説明の機会を設けることが必要である。また、説明する等の言語活動に取り組ませる際には、評価規準を具体的に設定し、生徒が表現した内容が適切であるかどうかを判断し、必要に応じて指導を加えることが重要である。

### 調査問題を活用した授業アイデア例

#### 説明的な文章を読んで、質問に答えよう

～本や文章から適切な情報を得て、考えをまとめる～

疑問を解決するために、  
文章から適切な情報を得て、  
分かりやすい答えを書いてみましょう。



① 説明的な文章を読み、「封筒に貼ってある切手を水の中にしばらく浸しておくと、きれいにはがすことができるようになるのはなぜか」という質問に対する回答を考える。

- ・ 調査問題「接着剤について書かれた【本の一部】」を読んで、回答を得るために必要だと思われる部分に線を引かせる。
- ・ 線を引いたところを踏まえて、個人で回答を書かせる。

② 考えた回答を互いに読み合い、アドバイスをする。

- ・ 読み合う際の観点を基に、互いの意見を交流させる。

#### ポイント!

#### 読み合う際の観点の例

- 質問に対する回答になっているか。
- 必要な情報が正しく書かれているか。
- 結論に対する根拠が明確に書かれているか。
- 説明の順序が適切で分かりやすいか。

説明的な文章を読んで、  
質問に答えよう  
～本や文章から適切な情報を得て、  
考えをまとめる～

質問「封筒に貼ってある切手を水の中にしばらく浸しておくと、きれいにはがすことができるようになるのはなぜか」

◆観点を基に回答を読み比べよう

①切手を水に浸すと、アンカー効果が個体から液体になるから。

②切手の裏ののりは、ぬらすと液体の接着剤となり、これが物にくっつく仕組みをアンカー効果という。

③アンカー効果でくっついていた切手が、水に浸すことで固体から液体になったから。

①は、「アンカー効果」を正しく読み取る必要があるわね。

②は質問の回答になっていないよね。③は説明の仕方が不十分で、事実と違った形になっているよ。  
線を引いた部分をもう一度確認してみよう。



③ 交流でのアドバイスや自らの気づきを生かし、最初に考えた回答を推敲し、文章を完成させる。

- ・ 説明の仕方について学んだことをノート等に振り返らせる。
- ・ 個々の生徒が表現した内容が適切であるかどうかを判断し、必要に応じて指導を行う。

【課題が見られる設問の例】 B問題

2 一郎さんは、2つの偶数の性質について調べています。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

説明 1

$m, n$  を整数とすると、2つの偶数は、 $2m, 2n$  と表される。  
 このとき、その和は、  
 $2m + 2n =$    
 $m + n$  は整数だから、 は偶数である。  
 したがって、2つの偶数の和は、偶数である。

(3) 一郎さんは、和を商に変えたとき、2つの偶数の商は、いつでも偶数になると予想しました。この予想は成り立ちますか。下のア、イの中から正しいものを1つ選び、それが正しいことの理由を説明しなさい。

ア 2つの偶数の商は、偶数になる。

イ 2つの偶数の商は、偶数になるとは限らない。

《出題の趣旨》

予想された事柄が成り立たないことを判断し、その事柄が成り立たない理由を説明することができるかどうかをみる。

《学習指導要領における領域・内容》

〔第2学年〕A 数と式

(1) 具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができるようにする。

イ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。

ウ 目的に応じて、簡単な式を変形すること。

解答類型		類型番号	高知県反応率 (%)	全国反応率 (%)
(正答の条件) イを選択し、次のことについて記述しているもの。 <具体的な数を用いて説明している場合> 次の(a)、(b)について記述している。 (a) 2つの偶数をあげ、偶数でない商を明示していること。 (b) 上記(a)であげた商が偶数ではないこと。 <文字を用いて説明している場合> 次の(c)、(d)について記述している。 (c) 2つの偶数を文字を用いて表してその商を計算し、商が偶数にならない条件を示していること。 (d) 上記(c)であげた商が偶数ではないこと。				
イ を 選 択	(a)、(b)について記述しているもの	1◎	27.9	33.5
	(a)について、計算結果の記述がなく、(b)について記述しているもの または、(b)についての記述がなく、(a)について記述しているもの	2○	10.4	9.9
	(b)についての記述がなく、(a)について、計算結果の記述がないもの	3	0.3	0.2
	(c)、(d)について記述しているもの	4◎	0.2	0.3
	(c)について、計算結果の記述がなく、(d)について記述しているもの または、(d)についての記述がなく、(c)について記述しているもの	5○	0.4	0.5
	上記4、5以外で、2つの偶数の商は偶数になるとは限らないことについて文字を用いて記述しているもの	6	1.8	2.6
	上記以外の解答、または無解答	7	24.2	20.9
アを選択しているもの		8	26.4	25.2
上記以外の解答		9	0.4	0.5
無解答		0	7.9	6.3

○ 正答率は38.9%であり、予想された事柄が成り立たないことを判断し、その理由を説明することに課題がある。

○ 解答類型8の反応率は26.4%で、反例を見つけられずに、いくつかの成り立つ場合のみから成り立つと判断したのが見られた。

○ その他の誤答としては、商の意味が理解できていないものや、具体的な数字を示さずただ結論のみを述べているのが見られた。



〔解答類型 2 (○)〕

例：6 ÷ 2 をした場合、商は3だから、2つの偶数の商は偶数になるとは限らない。

正答の条件 (a)

正答の条件 (b) 「(a) であげた商が偶数でないこと」が述べられていない。

〔解答類型 7〕

例：2つの偶数が、例えば、6、4のとき、6 ÷ 4 を計算すると、商は1.5となり、奇数になる。したがって、2つの偶数の商は、偶数になるとは限らない。

※整数値以外の商に対する判断に課題

間違い

×「奇数になる」→○「整数ではないので偶数でも奇数でもない」

〔解答類型 8〕

例 1：偶数どうしだと答えは必ず偶数になる。

アを選択

※いくつかの成り立つ場合のみから判断したと考えられる

※商の理解に課題

例 2：2つの偶数をいくらかけても商は偶数になり、奇数にならない。

例 3：2つの偶数が、6、4のとき、6 ÷ 4 を計算すると商は2となり偶数になる。したがって、2つの偶数の商は偶数になる。

学習指導に当たって

事柄が成り立つかどうかの判断に応じて理由を説明できるようにする。

事柄が成り立つかどうかの判断に応じて理由を説明できるようにするために、事柄が成り立つと判断した場合には文字式を用いて根拠を明らかにして説明し、成り立たないと判断した場合には反例をあげて説明する活動を取り入れることが大切である。

問題 2つの偶数の和は、偶数になりますか。

$$\begin{array}{ll} 2+4=6 & 4+6=10 \\ -10+28=18 & -6+(-8)=-14 \end{array}$$

このようなときは成り立ちます。



いつでも成り立つことを説明するにはどうすればいいかな？



いつでも成り立つことを示すためには文字を使って説明すればいいと思います。



商の場合も、4 ÷ 2 = 2、8 ÷ 4 = 2 となるから成り立ちます。



でも、6 ÷ 2 を計算すると3になるけど、3は偶数ではありません。



$$4 \div 6 = \frac{2}{3} \text{ という場合もあります。}$$



数学では、例外なく成り立つことを「成り立つ」、成り立たない例が1つでもある場合は「成り立たない」といいます。

① ③

m、nを整数とすると、2つの偶数は、2m、2nと表される。このとき、その和は  $2m+2n=2(m+n)$   $m+n$ は整数だから、 $2(m+n)$ は偶数である。したがって、2つの偶数の和は、偶数である。

和以外の場合はどうなるかな？

差の場合も成り立ちそうです。



積の場合も成り立ちそうです。



事柄が成り立たないことを適切に示すには、成り立たない例「反例」を1つあげてそれを根拠として説明します。



2つの偶数が、例えば、6、2のとき、6 ÷ 2 を計算すると、商は3となり、偶数ではない。したがって、2つの偶数の商は、偶数になるとは限らない。

自分でも、実際に反例を1つ見つけて成り立たないことを説明してみよう。

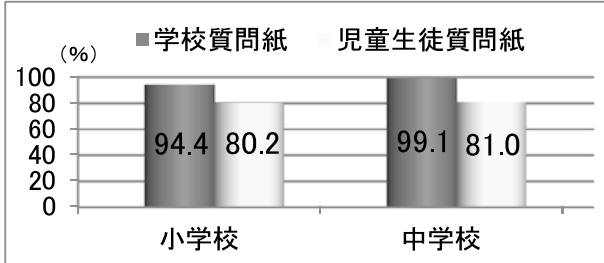


# 高知県の子どもたちの思考力・判断力・表現力等を育む授業づくり

※グラフの数値は、各質問に対する高知県の肯定的な回答の割合（％）

## めあて・学習課題の提示

学校質問紙【質問28】 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れたか。  
 児童生徒質問紙【質問44】 授業のはじめに、目標(めあて・ねらい)が示されていたか。



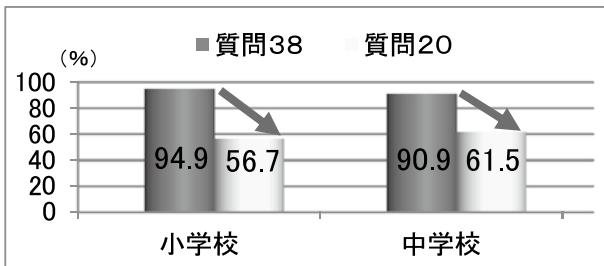
小・中学校とも、学校と児童生徒の肯定的な回答の割合には、10ポイント以上の差があり、意識のずれが見られます。

➡ 児童生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう、適切な本時の目標(めあて・ねらい)が設定できているか各学校で検討しましょう。

## 交流の場の設定

学校質問紙

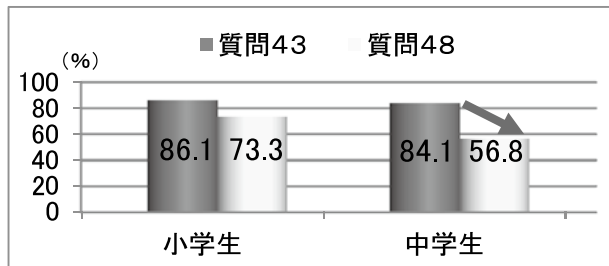
【質問38】 学級やグループで話し合う活動を授業などで行ったか。  
 【質問20】 児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うか。



## 交流による思考の高まり

児童生徒質問紙

【質問43】 学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたか。  
 【質問48】 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか。

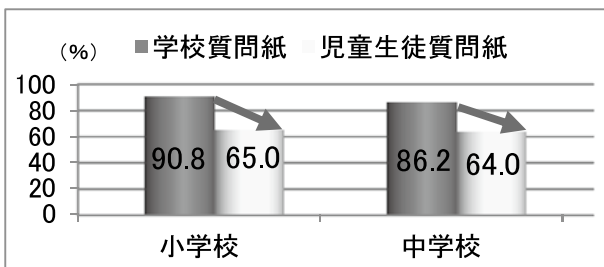


学校も児童生徒も、授業で話し合う活動を行っているとは肯定的に回答した割合と、話し合い活動を通じて、考えを深めたり、広げたりすることができていると肯定的に回答した割合に大きな差が見られます。

➡ 課題解決を図る授業展開を仕組み、児童生徒が自分の考えをもち、グループなどで考えを伝え合う活動を通して、思考を深めたり、考えを広げたりすることができる授業づくりを充実させていきましょう。

## 振り返りの活動の充実

学校質問紙【質問29】 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れたか。  
 児童生徒質問紙【質問45】 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたか。



小・中学校とも、学校と児童生徒の意識のずれが大きく、教師側が指導を行ったと考えていても、児童生徒はそのように受け取っていない状況があります。

➡ 授業の最後に、板書やノート等を活用したり、評価問題等で確認したりして、本時の学習内容を確実に定着させましょう。

課題の見られる設問についての指導改善のポイントと授業づくりに関する質問紙調査項目の回答状況などを各学校における授業改善の視点とし、今後の取り組みの質を高めていきましょう。

## 学力向上に向けてこれだけは大切にしたい 授業づくりのポイント

授業中に		①身に付ける力のとらえ、 ねらいは適切ですか？	②ねらいに迫る授業展開 になっていますか？	チェック
1.	子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。			<input type="checkbox"/>
2.	学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。			<input type="checkbox"/>
3.	自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。			<input type="checkbox"/>
4.	話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。			<input type="checkbox"/>
5.	学習したことの振り返りの場を設定する。			<input type="checkbox"/>
日常的に				チェック
6.	学習時間を保証し、開始時刻と終了時刻をしっかりと守る。			<input type="checkbox"/>
7.	すべての子どもが過ごしやすい学校・教室環境をつくる。 (すっきりした黒板周りの掲示、机・椅子の整理整頓など)			<input type="checkbox"/>
8.	あいさつ、言葉づかい、聞く姿勢等、教師が子どもの模範となる。			<input type="checkbox"/>

①、②の視点も押さえた授業づくりを進めましょう。

平成24年9月 高知県教育委員会事務局小中学校課



「学力向上に向けてこれだけは大切にしたい授業づくりのポイント」は、平成20年度に作成した「授業づくりのスタンダード」のポイントをまとめたものです。各学校では、授業構想の際や授業参観等の共通の視点として、活用いただいていることと思います。

各学校において「ねらいの提示」や「振り返りの場の設定」などを授業に位置づける意図をどのように捉えているのでしょうか。子どもたちに力をつけるために、どのような活動が適切かをよく吟味するなど授業づくりの取り組みをさらに充実させていきましょう。

各教科の学習に対する意欲等について

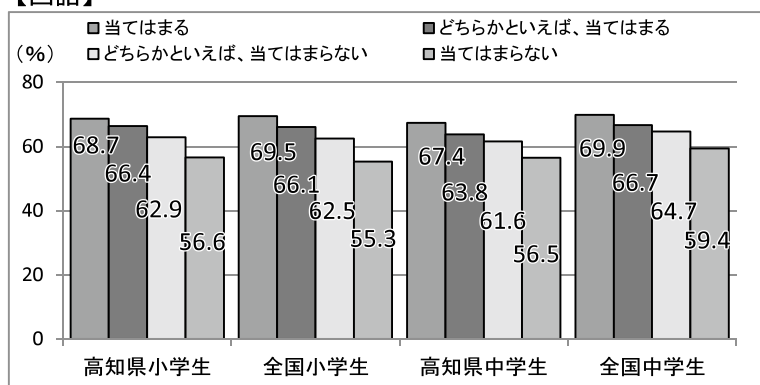


【児童生徒質問紙〔肯定群の割合(%)〕】

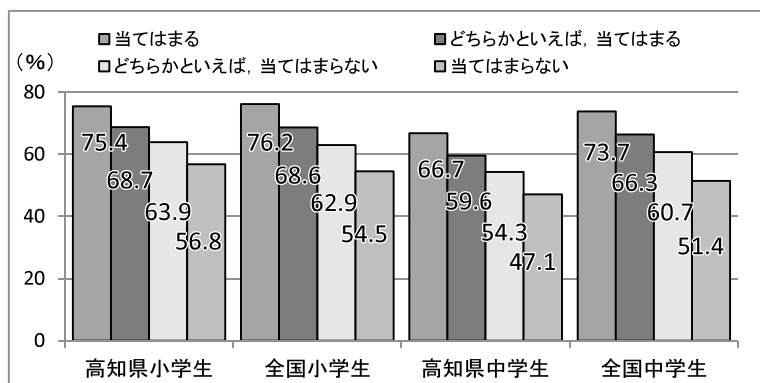
質問事項	小学生			中学生		
	本県	本県-全国	本県26-25	本県	本県-全国	本県26-25
国語の勉強は好きだ	61.4	2.2	3.2	54.4	-3.8	-4.1
国語の勉強は大切だ	93.2	1.4	0.5	88.1	-0.9	-1.4
国語の授業の内容はよく分かる	80.3	0.2	0.9	66.5	-5.5	-4.9
算数・数学の勉強は好きだ	65.9	-0.2	-2.0	58.7	2.1	1.0
算数・数学の勉強は大切だ	92.7	0.4	-0.7	83.3	1.2	-0.4
算数・数学の授業の内容はよく分かる	79.3	-0.3	-1.5	70.8	-0.7	0.5

「各教科の勉強は好き」と正答率との相関

【国語】



【算数・数学】

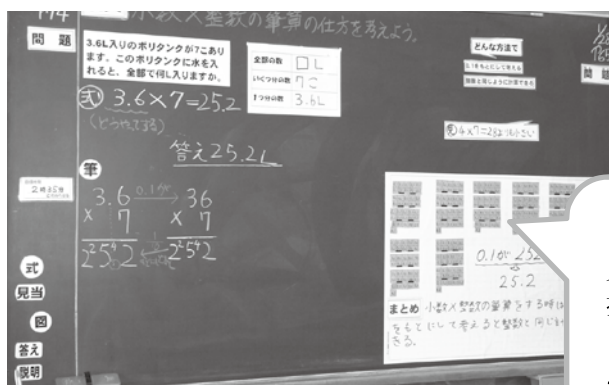


「国語、算数・数学の勉強は好き」など、「学習に対する関心・意欲・態度」に関する質問事項においては、肯定的に回答している児童生徒の方が、それぞれの教科の正答率が高く、相関が顕著に見られます。

本県の結果を昨年度と比較すると、中学校国語、小学校算数において、昨年度より肯定群の割合が減少しています。



児童生徒が興味・関心を持ち、学ぶことを好きになるように授業の中で子どもたちの「あれっ?」「なぜかな」を生み出すような題材の設定、「なるほど!」につながる展開の工夫など、教材研究を充実させていきましょう。



学習のねらいをもとに、児童生徒が思考の過程を振り返ることができるように、計画的な板書を心がけましょう。





## 各教科における児童生徒の意識について

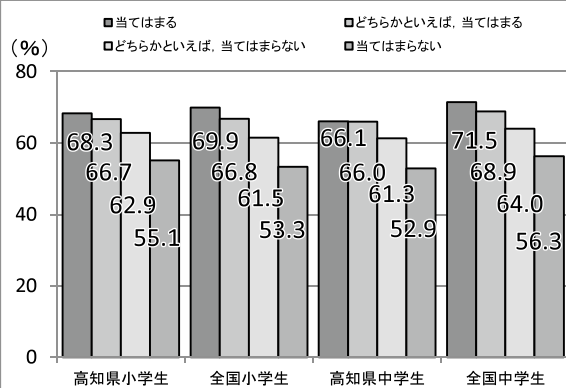


児童生徒質問紙調査の国語、算数・数学の学習に対する関心・意欲・態度に関する下記の質問事項において、肯定的に回答している児童生徒の方が各教科の正答率が高く、相関が顕著に見られます。

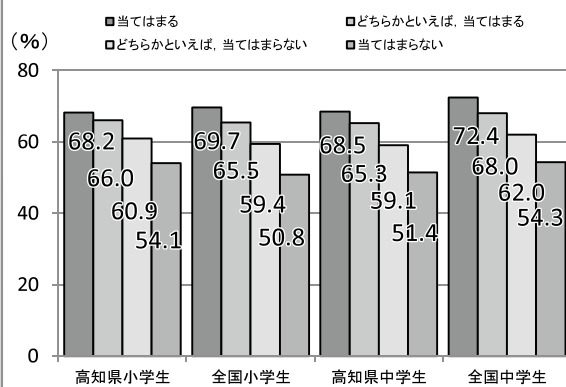
下記の質問事項で示された学習態度は、児童生徒が自分の考えを組み立てたり、整理したりするために必要なことです。このような学習態度を身に付けることができるよう、授業者が意図的に働きかけ、適切な支援を行い、児童生徒の学ぶ力を向上させることにつなげていきましょう。

### 国語について

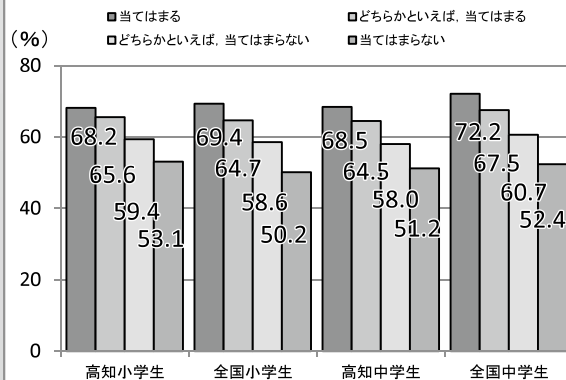
**質問 5 6** 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか



**質問 5 7** 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか

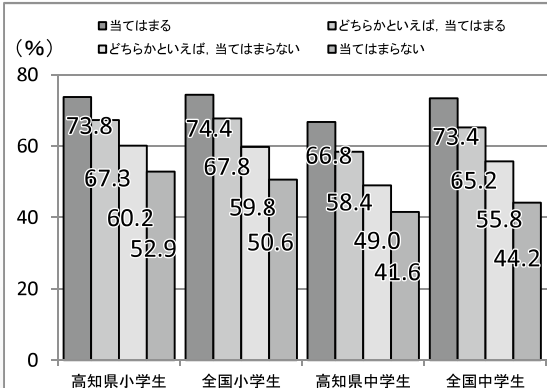


**質問 5 8** 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいますか

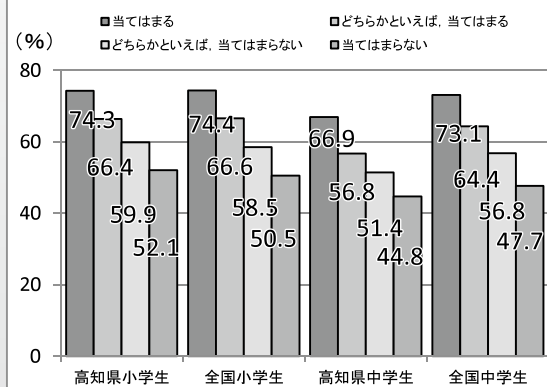


### 算数・数学について

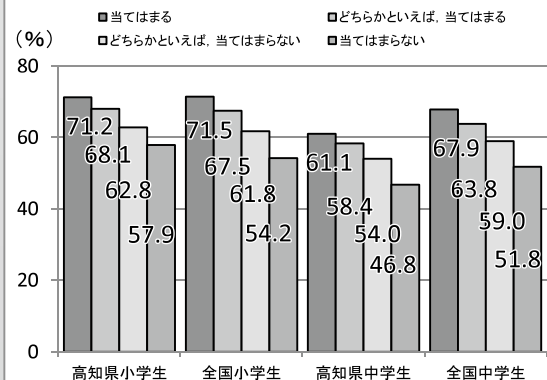
**質問 6 6** 算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



**質問 7 0** 算数（数学）の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ（根拠）を理解するようにしていますか



**質問 7 1** 算数（数学）の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか



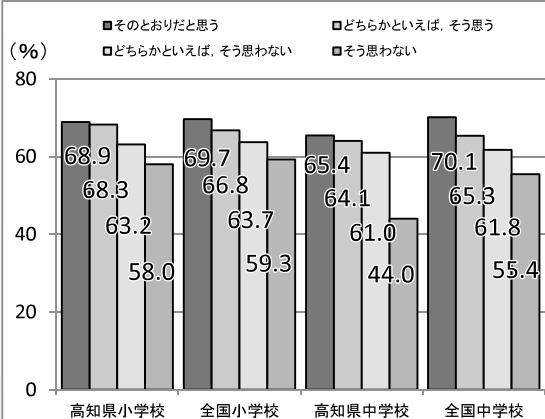


## 学校の取組について

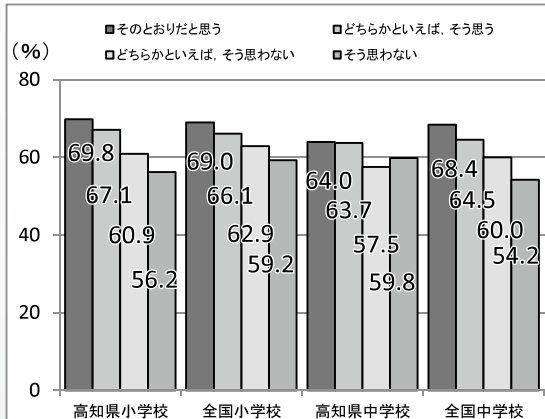
学校質問紙調査における言語活動の内容に関わる下記の質問事項において、肯定的に回答している学校の方が各教科の正答率が高く、相関が顕著に見られます。

学校全体でことばの力を育成することを重視し、読み解く力、記述する力等を育てていくよう、授業の質を高めていきましょう。

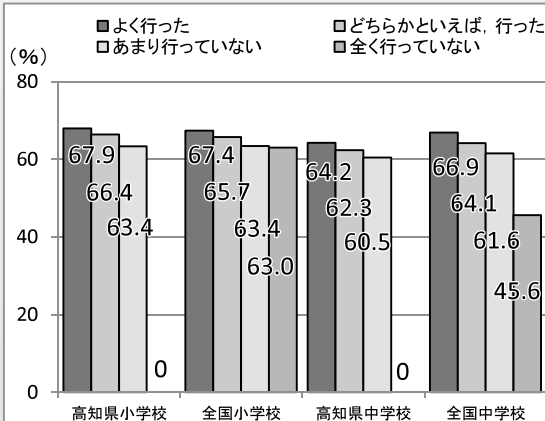
**質問 1 8** 児童生徒は学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができますか



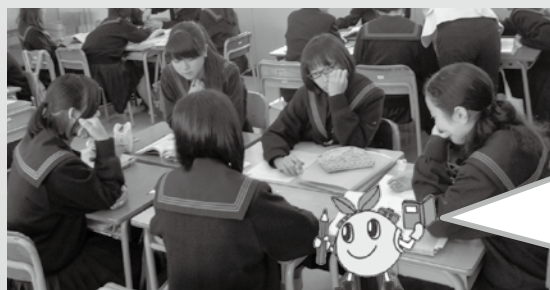
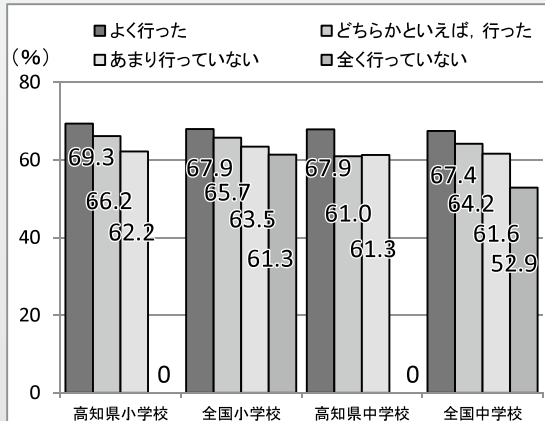
**質問 1 9** 児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができますか



**質問 3 1** 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか



**質問 4 1** 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか



話し合う活動においては、課題解決につながるための意図や方向性を明確に示すことが必要です。また、多様な考えを整理する仕方を指導し、児童生徒が互いの意見を検討し合うことを通して、思考力・判断力・表現力等を高めるようにしましょう。

本や文章を読んだり、調べたりしたことを基に、伝えたい相手や目的に応じて、分かりやすく書くためのポイントを発達や学年の段階に応じて示し、書くことを通して、表現する力を高めるようにしましょう。



#### 4 質問紙調査の結果（児童生徒質問紙）

##### 高知のキャリア教育の柱「社会性の育成」

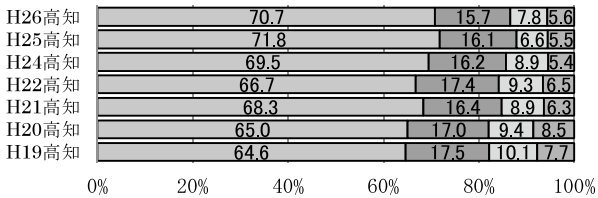
\*「肯定群」は、選択肢の「している・どちらかといえば、している」や「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」など、肯定的な選択肢を選択している場合を表している。  
\*文中の「ほぼ同じである」は、全国との差が±2ポイントの範囲内にあることを表している。

#### 【将来の夢や目標を持っていますか】

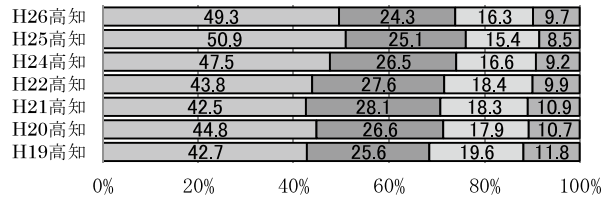
##### 高知県（経年）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる □ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

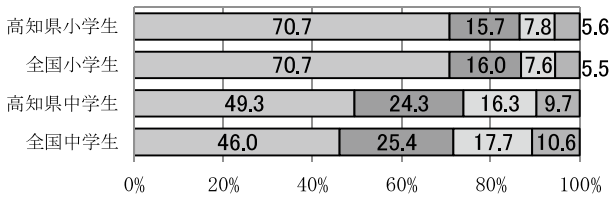
##### 【小学生】



##### 【中学生】



##### 平成 26 年度調査結果



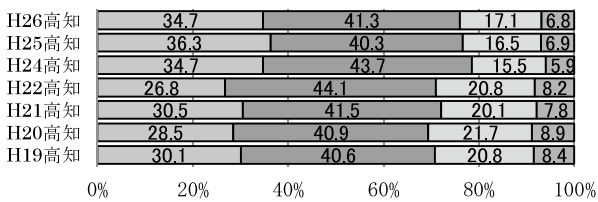
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じであり、中学生では2.2ポイント上回っています。児童生徒が夢や目標を描き、その実現に向けて学び続けることができるよう、各学校で作成しているキャリア教育の指導計画に基づいた授業を行っていきましょう。

#### 【自分には、よいところがあると思いますか】

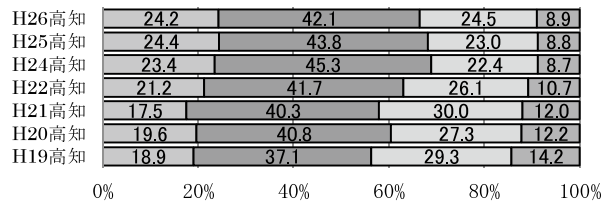
##### 高知県（経年）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる □ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

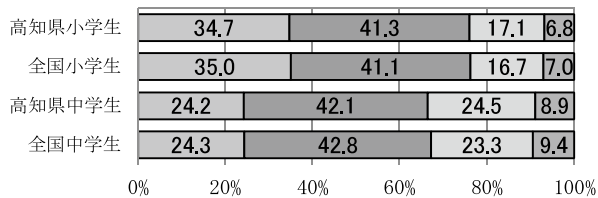
##### 【小学生】



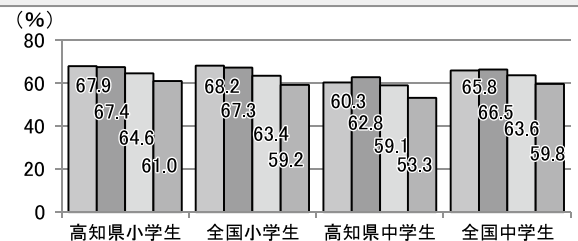
##### 【中学生】



##### 平成 26 年度調査結果



##### 質問項目と正答率との相関



小・中学生ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じです。中学生では、自尊感情と正答率には相関が見られないものの、小学生では、自尊感情と正答率には相関が見られます。児童生徒が互いに認め合い、励まし合えるような学級づくり、授業づくりを行うことが大切です。

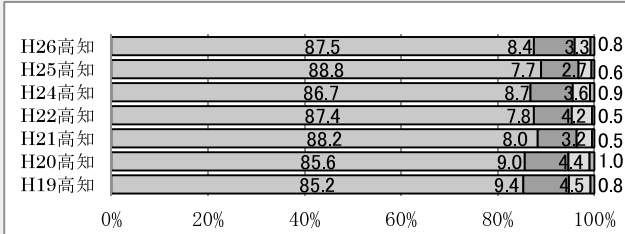
## 高知のキャリア教育の柱「基本的生活習慣の確立」

### 【朝食を毎日食べていますか】

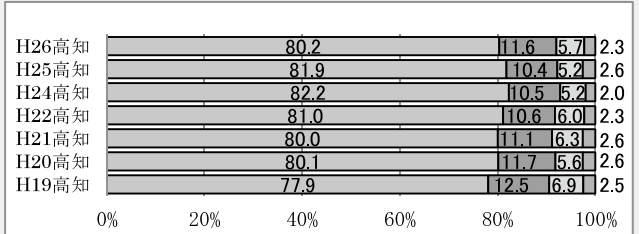
#### 高知県（経年）

□ している    ■ どちらかといえば、している    □ あまりしていない    ■ 全くしていない

#### 【小学生】

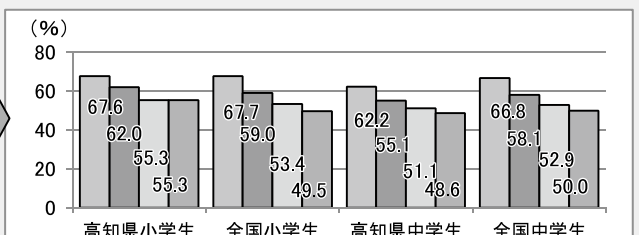
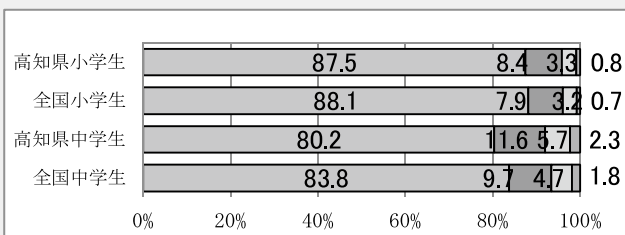


#### 【中学生】



#### 平成 26 年度調査結果

#### 質問項目と正答率との相関



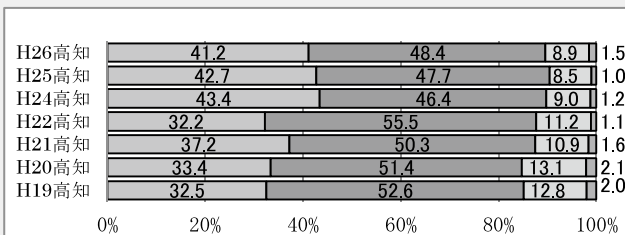
小・中学生ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じであり、これまでの調査結果と比較しても大きな変化は見られません。基本的な生活習慣と正答率には相関が見られます。心身ともに充実した一日を過ごすために、朝食は欠かすことはできません。児童生徒の学習意欲の向上や健やかな身体を育むために、規則正しい生活習慣を身に付けさせることが大切です。

### 【学校のきまり（規則）を守っていますか】

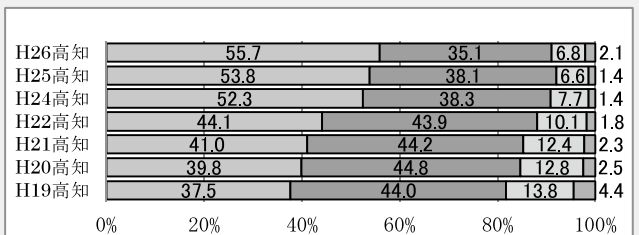
#### 高知県（経年）

□ 当てはまる    ■ どちらかといえば、当てはまる    □ どちらかといえば、当てはまらない    ■ 当てはまらない

#### 【小学生】

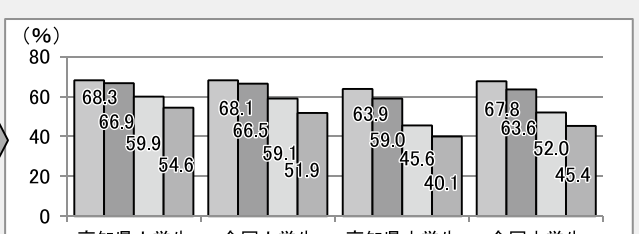
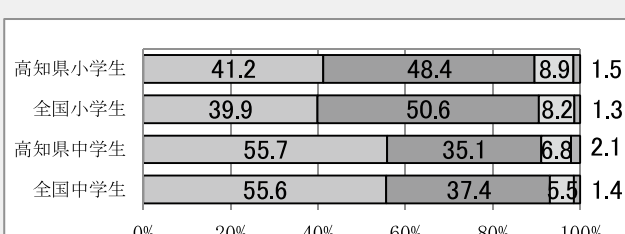


#### 【中学生】



#### 平成 26 年度調査結果

#### 質問項目と正答率との相関



全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じであり、中学生では2.1ポイント下回っています。規範意識と正答率には相関が見られます。児童生徒の規範意識を高めるために、規則の必要性や意義を話し合う場を設定し、考えさせることで、自他ともに認め合えるような教育活動を進めていくことが大切です。

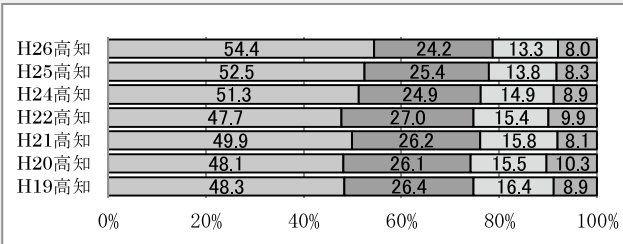


【読書は好きですか】

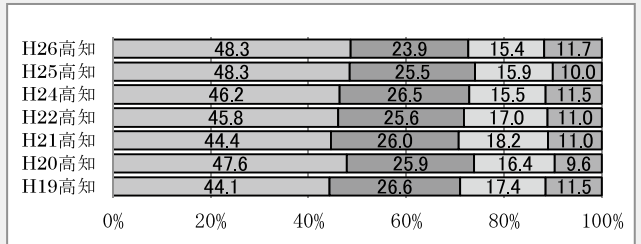
高知県(経年)

当てはまる
  どちらかといえば、当てはまる
  どちらかといえば、当てはまらない
  当てはまらない

【小学生】

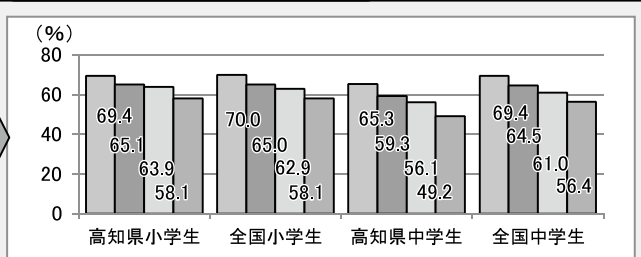
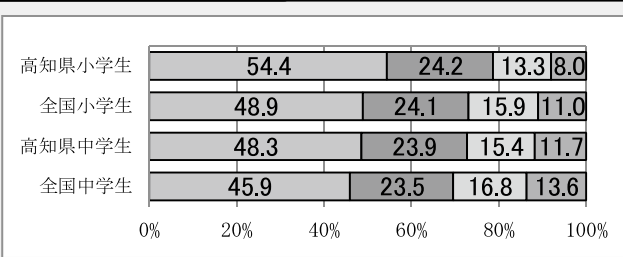


【中学生】



平成 26 年度調査結果

質問項目と正答率との相関



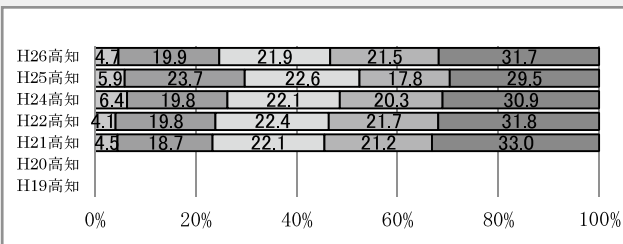
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生では5.6ポイント上回っており、中学生では2.8ポイント上回っています。読書への関心と正答率には相関が見られます。各学校において、計画的な学校図書館活動や図書館資料を活用した授業づくりを進め、児童生徒の豊かな感性を育むとともに、思考力や表現力の育成につなげていくことが大切です。

【本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか】

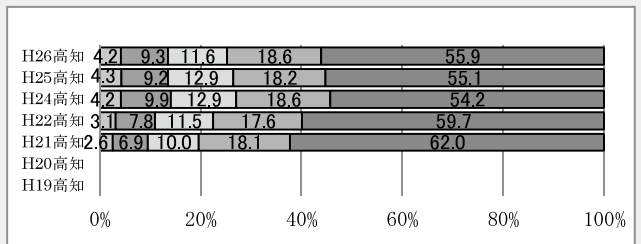
高知県(経年)

だいたい週に4回以上行く
  週に1～3回程度行く
  月に1～3回程度行く
  年に数回程度行く
  ほとんど、または、全く行かない

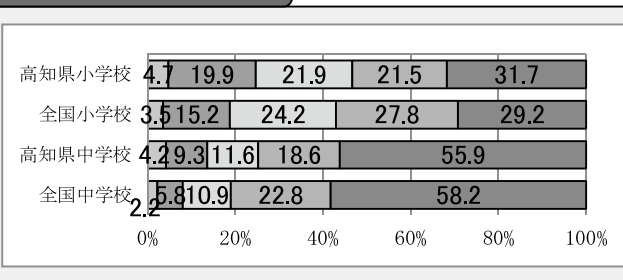
【小学生】



【中学生】

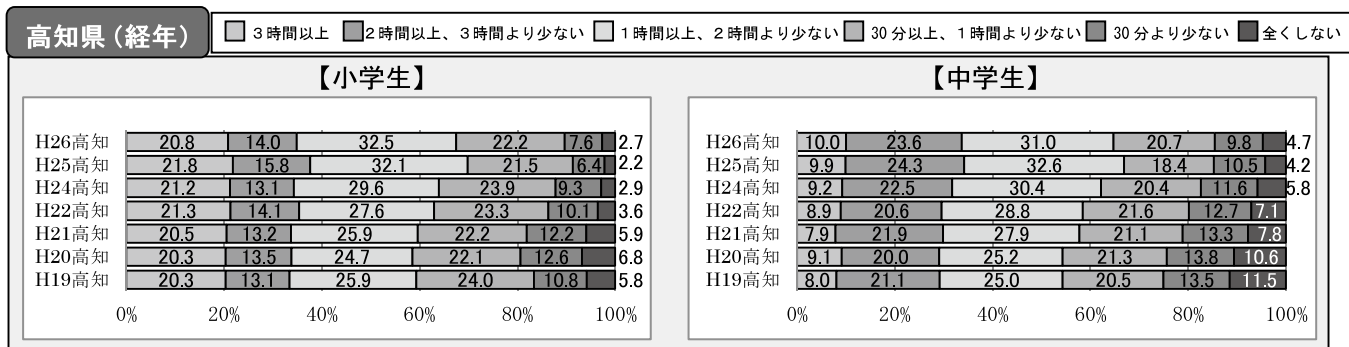


平成 26 年度調査結果



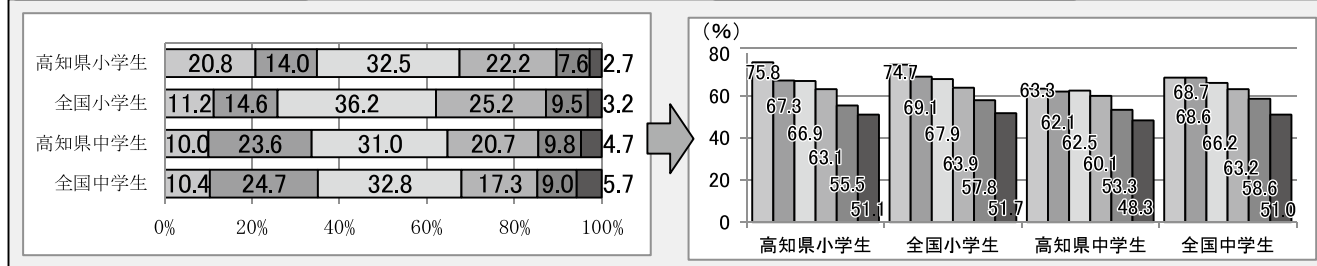
「週に1回以上」行くと回答した割合は、全国と比較すると、小学生では5.9ポイント上回っており、中学生では5.5ポイント上回っています。各学校において児童生徒が学校図書館・室等を利用したくなるよう、本との出会いを仕組むなど学校図書館の環境をさらに充実させることが大切です。

【学校の授業時間以外に普段1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか】



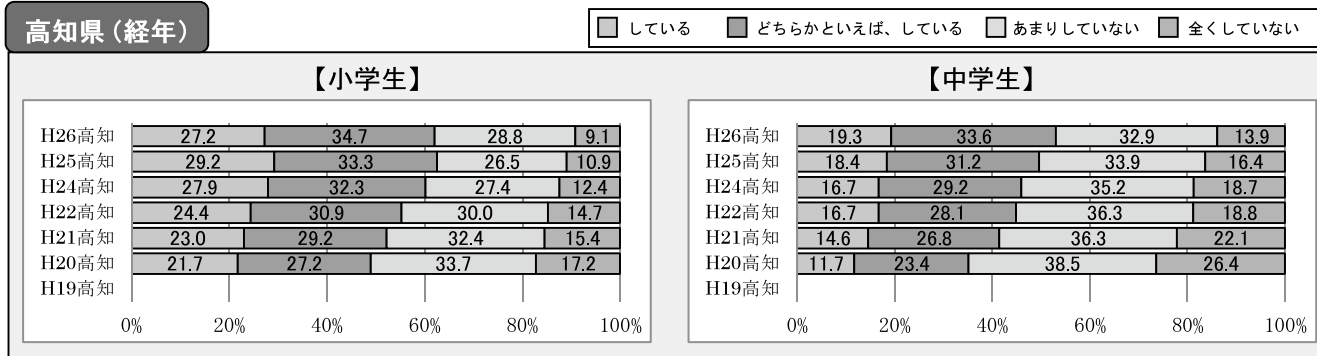
平成26年度調査結果

質問項目と正答率との相関



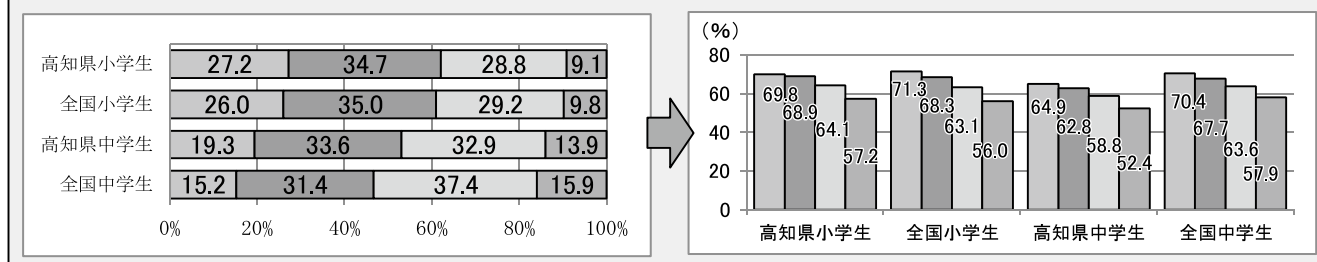
「2時間以上」学習する割合は、全国と比較すると、小学生では9.0ポイント上回っており、中学生ではほぼ同じです。家庭学習時間が多い児童生徒ほど正答率が高い傾向にあります。授業で学習の仕方を指導したり、授業内容と関連した課題を設定したりするなど、家庭学習の質と量を高めていくことが大切です。

【家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか】



平成26年度調査結果

質問項目と正答率との相関



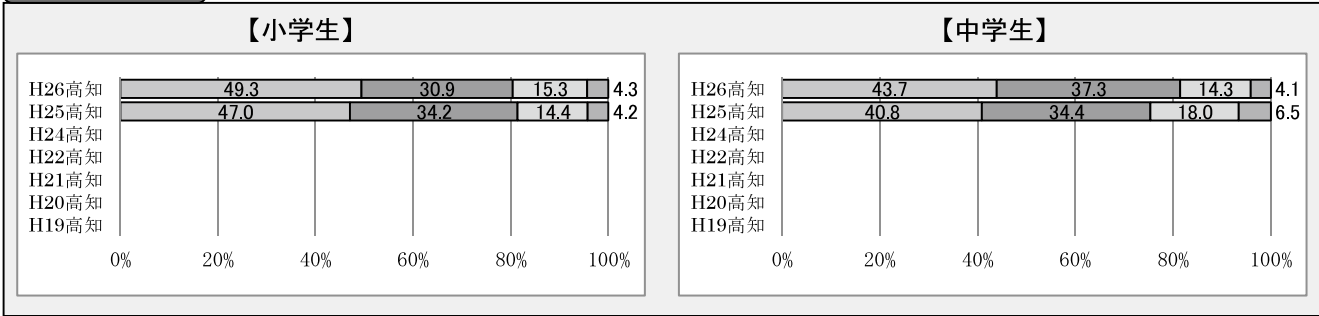
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じであり、中学生では6.3ポイント上回っています。計画的な学習習慣と正答率には相関が見られます。児童生徒が、自分で時間の使い方を考え、計画を立てて学校の宿題、授業の予習、復習をすることができるよう自己理解・自己管理能力を育てることが大切です。

## 高知のキャリア教育の柱「学力向上」

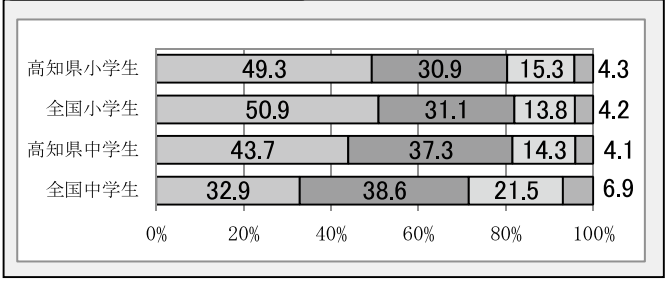
【普段の授業では、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）が示されていると思いますか】

### 高知県（経年）

当てはまる
  どちらかといえば、当てはまる
  どちらかといえば、当てはまらない
  当てはまらない



### 平成 26 年度調査結果

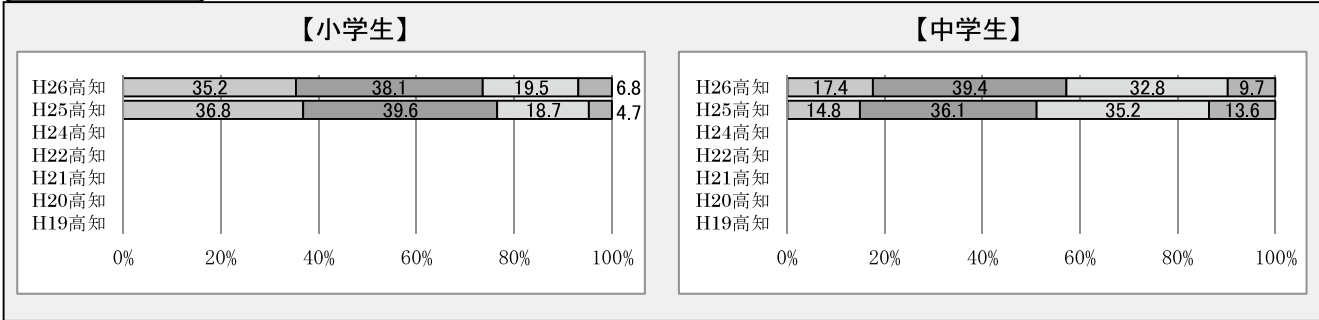


全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じであり、中学生では9.5ポイント上回っています。授業のはじめに本時のめあてやゴールを明確にすることで、児童生徒が授業の見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができるようにすることが大切です。

【普段の授業では、最後に学習の内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか】

### 高知県（経年）

当てはまる
  どちらかといえば、当てはまる
  どちらかといえば、当てはまらない
  当てはまらない



### 平成 26 年度調査結果



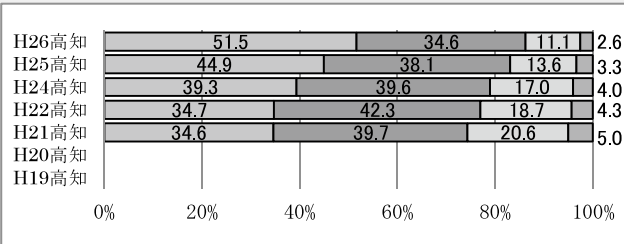
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じであり、中学生では3.5ポイント上回っています。授業の最後に、児童生徒が学んだことを振り返ることで、学習内容の定着を図り、「分かった」「できた」という達成感をもたせることが大切です。

【普通の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思いますか】

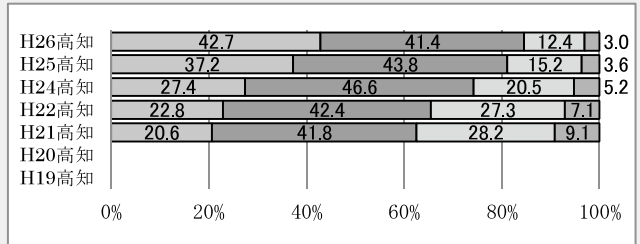
高知県（経年）

□ 当てはまる □ どちらかといえば、当てはまる □ どちらかといえば、当てはまらない □ 当てはまらない

【小学生】

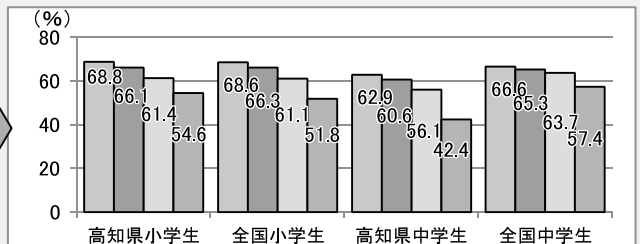
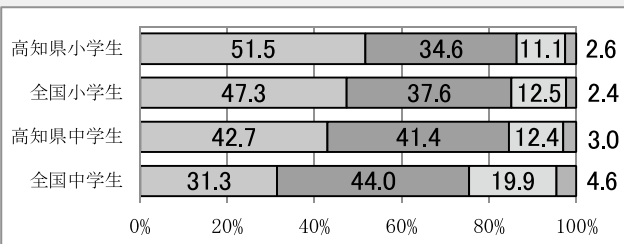


【中学生】



平成 26 年度調査結果

質問項目と正答率との相関



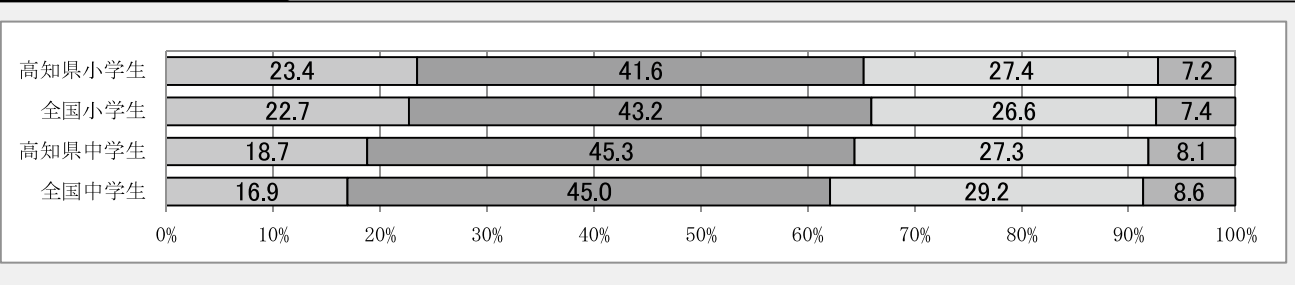
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じであり、中学生では 8.8 ポイント上回っています。授業において話し合う活動を設定することと正答率には相関が見られます。授業では、話し合う活動の目的を明確に示して、自分の考えを伝えたり、友達のことを聞いたりする学習活動を設定することが大切です。

新規項目

【学級の友達との間で（生徒の間に）話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか】

平成 26 年度調査結果

□ そう思う □ どちらかといえば、そう思う □ どちらかといえば、そう思わない □ そう思わない



全国と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じであり、中学生では 2.1 ポイント上回っています。自分の考えをグループなどで伝え合う活動を通して、多様な考えや意見にふれることで、学びの充実につながっていると実感させるようにすることが大切です。

## 5 質問紙調査の結果（学校質問紙）

\*「肯定群」は、選択肢の「よくしている・どちらかといえば、している」や「よく行っている・行っている」など、肯定的な選択肢を選択している場合を表している。

\*文中の「ほぼ同じである」は、全国との差が±2ポイントの範囲内にあることを表している。

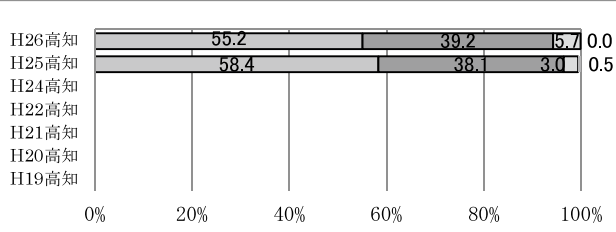
### 【指導方法】

【授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を児童生徒に示す活動を計画的に取り入れていますか】

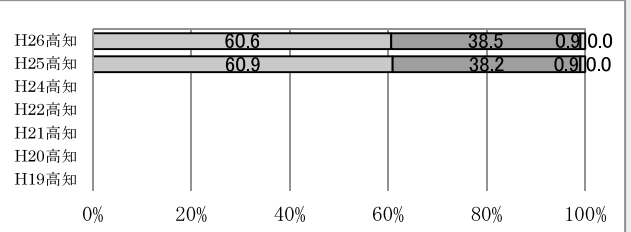
高知県（経年）

よく行った   どちらかといえば、行った   あまり行っていない   全く行っていない

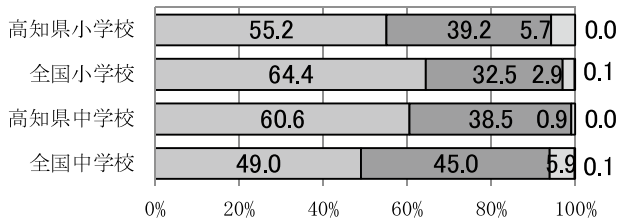
#### 【小学校】



#### 【中学校】



### 平成 26 年度調査結果



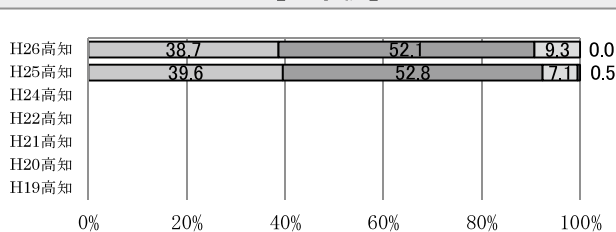
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校では2.5ポイント下回っており、中学校では5.1ポイント上回っています。各教科で学習指導要領に基づき、適切な授業の目標（めあて・ねらい）が設定できているか確認することが大切です。

【授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れていますか】

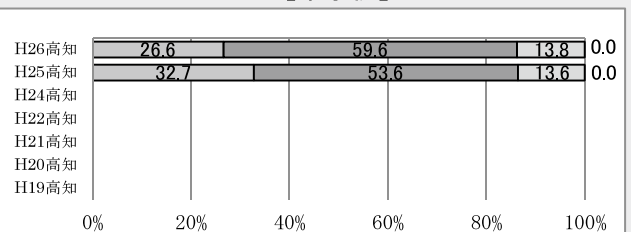
高知県（経年）

よく行った   どちらかといえば、行った   あまり行っていない   全く行っていない

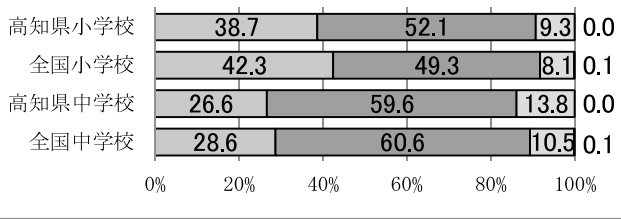
#### 【小学校】



#### 【中学校】



### 平成 26 年度調査結果



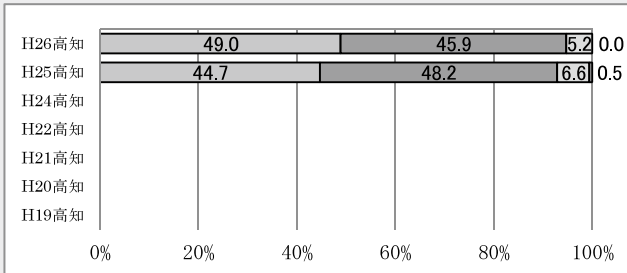
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校ではほぼ同じであり、中学校では3.0ポイント下回っています。授業の最後に、評価問題等で児童生徒に学習した内容を振り返らせるとともに、学習の定着状況を把握することが大切です。

【学級やグループで話し合う活動を授業などで行っていますか】

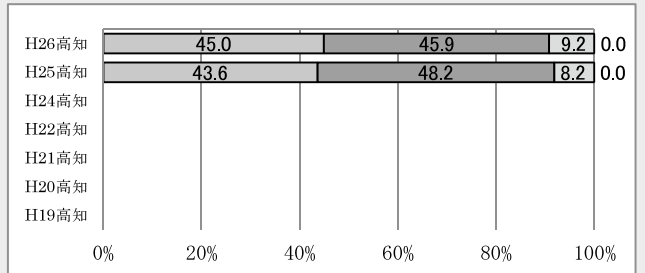
高知県（経年）

□よく行った □どちらかといえば、行った □あまり行っていない □全く行っていない

【小学校】

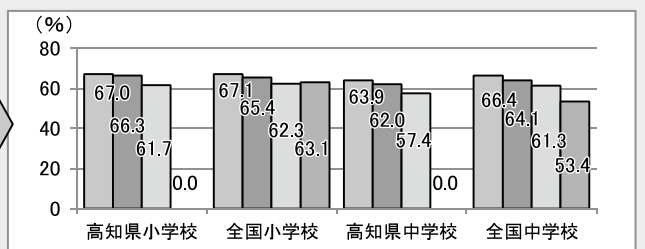
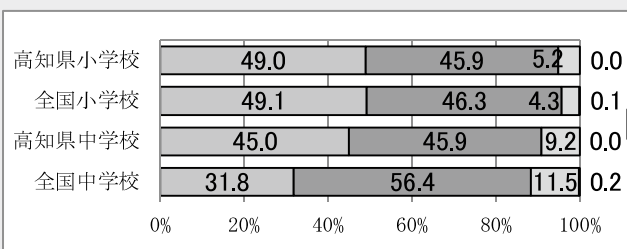


【中学校】



平成 26 年度調査結果

質問項目と正答率の相関



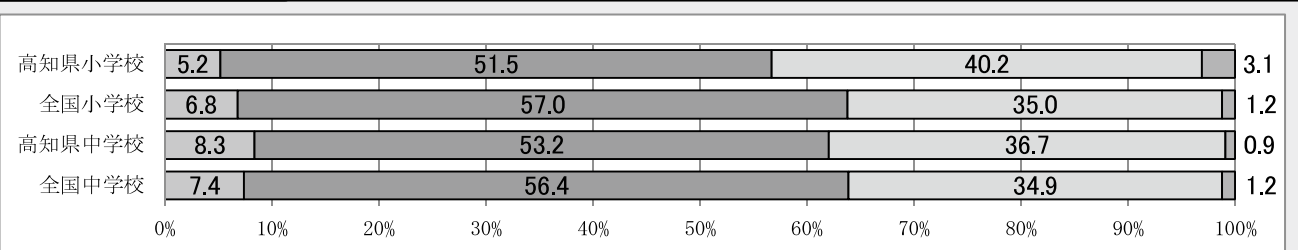
全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校ではほぼ同じであり、中学校では2.7ポイント上回っています。学級やグループで話し合う活動を授業などで行うことと正答率には相関が見られます。教師が一方的に説明する授業ではなく、児童生徒が考えを伝え合うことができるよう授業の目標に即した話し合い活動を仕組んでいくことが大切です。

新規項目

【児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思いますか】

平成 26 年度調査結果

□そのとおりだと思う □どちらかといえば、そう思う □どちらかといえば、そう思わない □そう思わない



全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校では7.1ポイント下回っており、中学校では2.3ポイント下回っています。話し合う活動をする際には、授業の目標を達成するために多様な考えを引き出すことができる課題を設定し、互いの考えを伝え合い、吟味することで課題解決を図ることができるよう支援していくことが大切です。



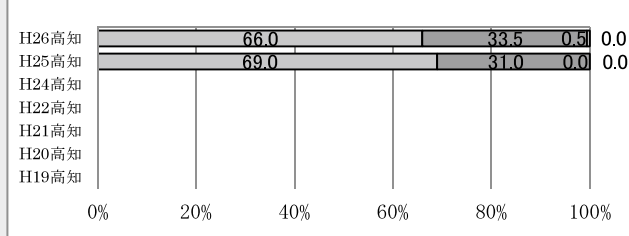
【教職員の取組】

【学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか】

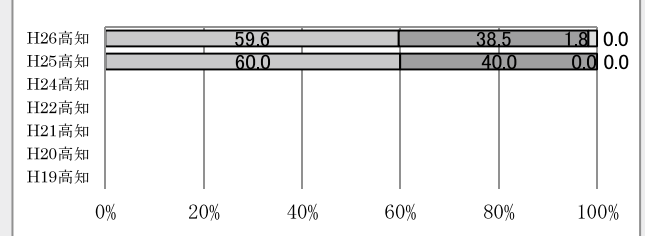
高知県（経年）

よくしている    どちらかといえば、している    あまりしていない    全くしていない

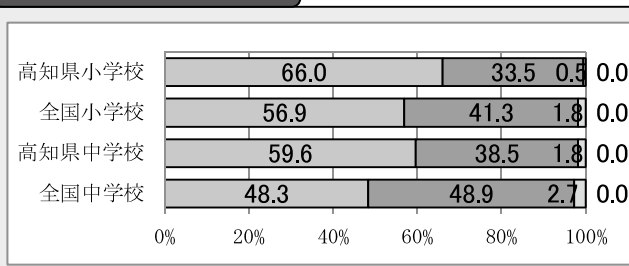
【小学校】



【中学校】



平成 26 年度調査結果



小・中学校ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じです。

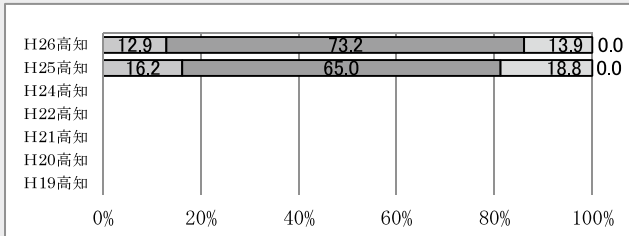
全教職員で学力調査等の結果を分析することで、「学校経営計画」に基づく取り組みの成果と課題を捉え、今後の課題改善策を考えていくことが大切です。

【知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか】

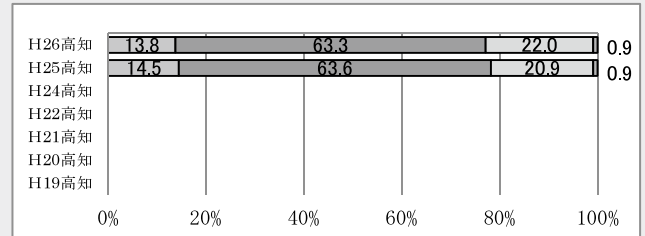
高知県（経年）

よくしている    どちらかといえば、している    あまりしていない    全くしていない

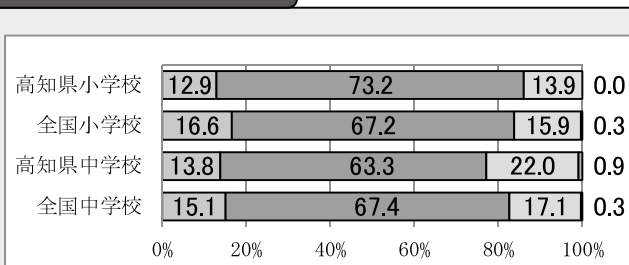
【小学校】



【中学校】



平成 26 年度調査結果



全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校では 2.3 ポイント上回っており、中学校では 5.4 ポイント下回っています。

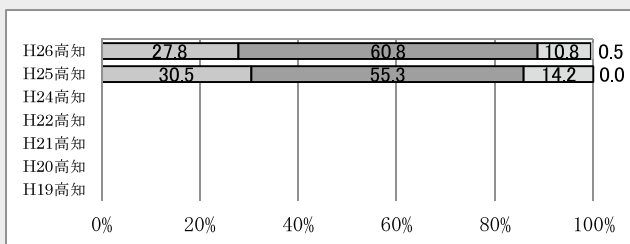
知識・技能を活用し、思考力・判断力・表現力等を育成する授業づくりについて、学校全体で共通理解を図ることが重要です。各教科の指導計画が、知識・技能の習得と活用のバランスを考えたものとなるよう見直していくことが必要です。

【言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか】

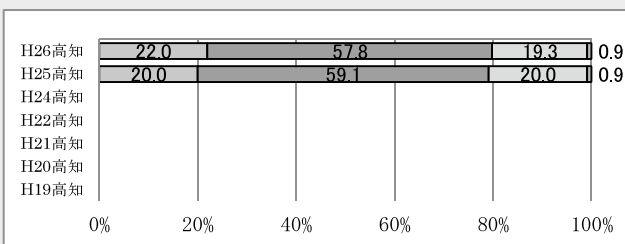
高知県（経年）

よくしている   どちらかといえば、している   あまりしていない   全くしていない

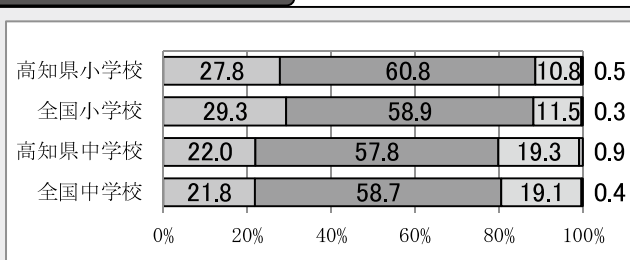
【小学校】



【中学校】



平成 26 年度調査結果



小・中学校ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じです。

各教科の目標を実現するために、自分の考えや意見を理由や根拠を基に説明させたり、書かせたりする等の言語活動を通して、児童生徒が主体的に学ぶことができるよう指導計画を作成することが必要です。

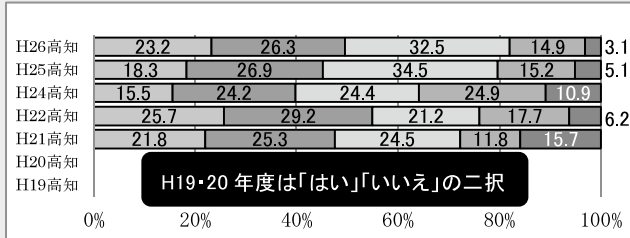
【学力向上に向けた取組】

【学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか】

高知県（経年）

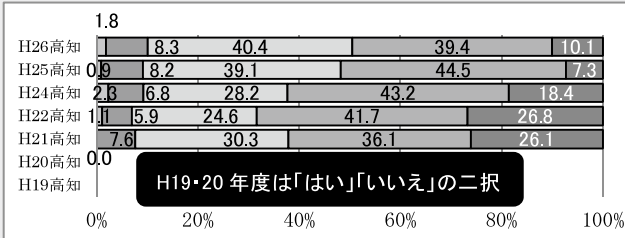
週に1回程度、またはそれ以上行った   月に数回程度行った   学期に数回程度行った   年に数回程度行った   行っていない

【小学校】



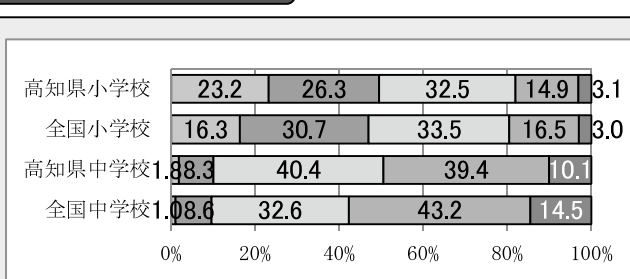
H19・20年度は「はい」「いいえ」の二択

【中学校】



H19・20年度は「はい」「いいえ」の二択

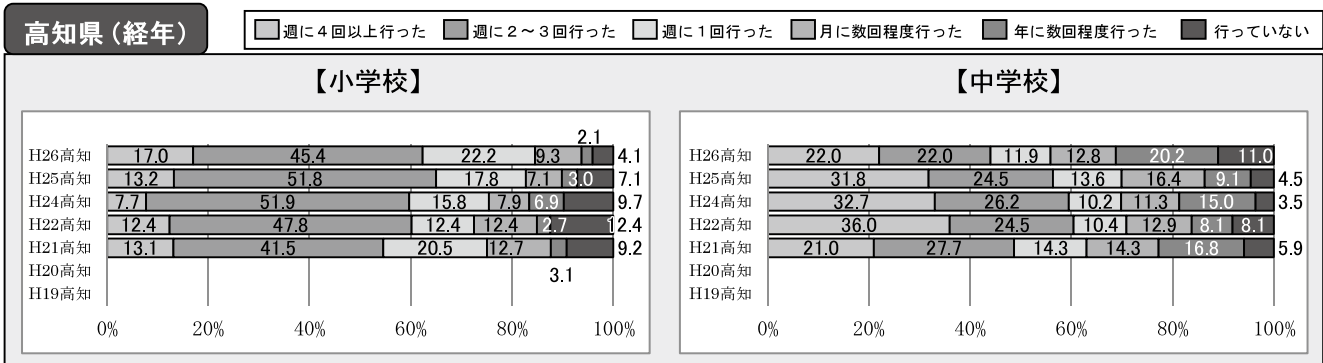
平成 26 年度調査結果



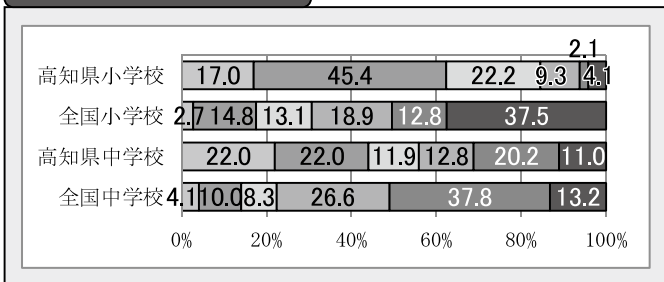
全国と比較すると、「月に数回」以上行った学校の割合は、小学校では2.5ポイント上回っており、中学校ではほぼ同じです。

各教科において、指導計画に学校図書館を活用した授業を位置付けることが必要です。学びの動機付けや学びの広がりにつながる効果的な学校図書館の活用を学校全体で進めることが大切です。

【放課後を利用した補足的な学習サポートを実施しましたか】



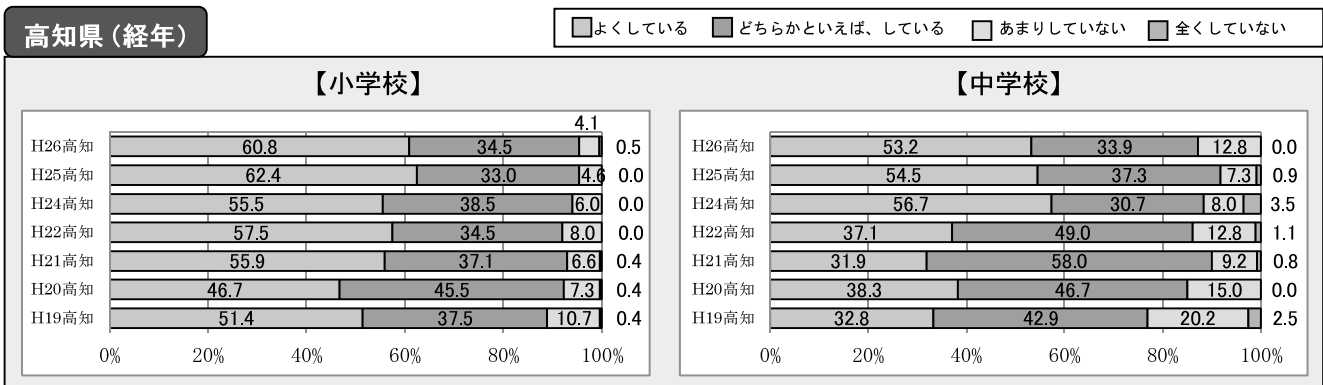
平成 26 年度調査結果



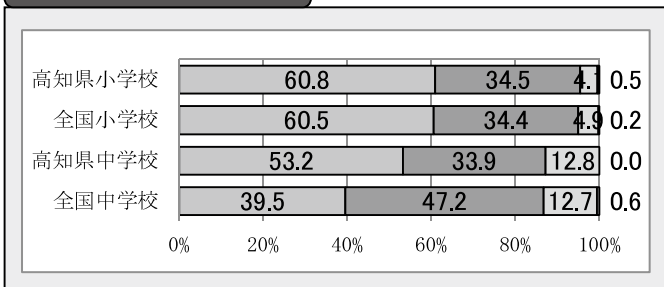
全国と比較すると、「週に2回」以上行った学校の割合は、小学校では44.9ポイント上回っており、中学校では29.9ポイント上回っています。授業における定着状況を捉えたいうえで、適切な個別支援を行うことができるよう放課後を利用した補足的な学習サポートを充実させ、学力の定着を図っていくことが重要です。

【教員研修】

【模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか】



平成 26 年度調査結果



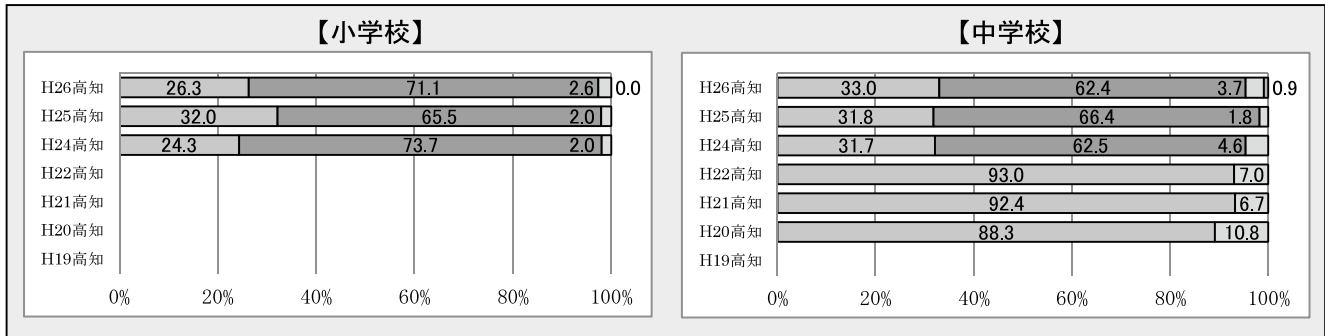
小・中学校ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じです。実践的な研修を通して、授業の見方、つくり方等について方向性を共有し、授業改善を図るための取り組みを学校全体で進めることが大切です。その取り組みの進捗状況を捉え、効果を検証し、取り組みの質を高めていくことが重要です。

【調査結果の活用】

【全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか】

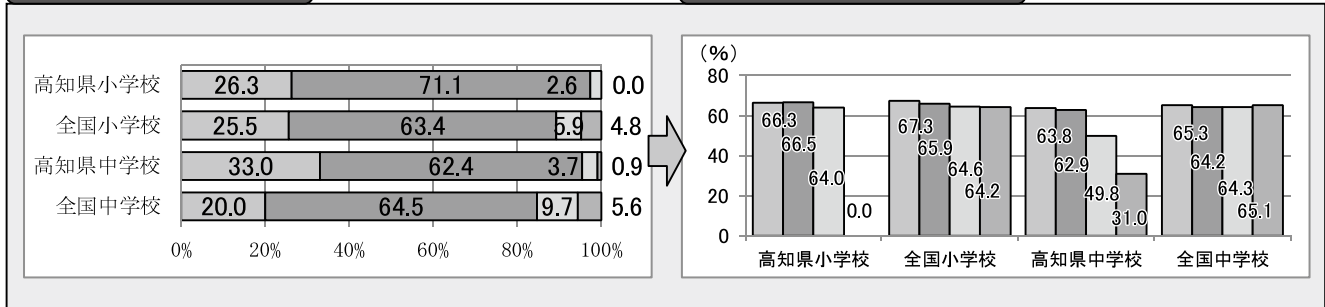
H24・25年度は「よく行っている」「行っている」「ほとんど行っていない」の三択  
 中学校のH22年度までは「はい」「いいえ」の二択

よく行っている   
  どちらかといえば、行っている   
  ほとんど行っていない   
  地方公共団体における独自の学力調査を実施していない



平成 26 年度調査結果

質問項目と正答率の相関



全国と比較すると、肯定群の割合は、小学校では8.5ポイント上回っており、中学校では10.9ポイント上回っています。

学力調査等の結果分析から、当該学年の児童生徒の学力状況を捉えるとともに、指導の系統性を踏まえて各学年における指導方法の工夫改善を図り、指導計画を見直すことが重要です。全国学力・学習状況調査と高知県学力定着状況調査結果を併せて分析し、経年における児童生徒の学力状況や学校としての指導改善の取り組みの効果について検証する必要があります。

## 6 質問紙調査結果一覧

### 児童質問紙調査

質問 番号	質問事項	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(1)	朝食を毎日食べていますか	-0.1	95.9	4.1	96.0	3.9	
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	-0.4	78.8	21.2	79.2	20.8	
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	-1.8	89.1	10.8	90.9	9.0	
(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	0.4	94.8	5.1	94.4	5.6	
(5)	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	1.9	77.0	22.9	75.1	24.8	
(6)	自分には、よいところがあると思いますか	-0.1	76.0	23.9	76.1	23.7	
(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	0.5	50.0	50.0	49.5	50.4	
(8)	友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか	-1.1	73.7	26.3	74.8	25.2	
(9)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	0.2	91.9	7.9	91.7	8.2	
(10)	将来の夢や目標を持っていますか	-0.3	86.4	13.4	86.7	13.1	
(19)	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	-4.1	76.3	23.7	80.4	19.5	
(20)	家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	-0.7	95.8	4.1	96.5	3.5	
(21)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	0.9	61.9	37.9	61.0	39.0	
(22)	家で、学校の宿題をしていますか	-0.4	96.1	3.7	96.5	3.4	
(23)	家で、学校の授業の予習をしていますか	-1.2	42.0	57.9	43.2	56.6	
(24)	家で、学校の授業の復習をしていますか	0.7	54.7	45.2	54.0	46.0	
(25)	学校に行くのは楽しいと思いますか	-0.6	86.0	13.9	86.6	13.2	
(27)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	-0.6	85.9	13.9	86.5	13.4	
(28)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	5.5	85.2	14.7	79.7	20.2	
(29)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	-8.0	60.0	39.8	68.0	31.9	
(30)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	-0.5	62.4	37.4	62.9	37.1	
(31)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	2.3	44.8	55.2	42.5	57.4	
(33)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか (携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	-1.7	83.0	16.7	84.7	15.0	
(34)	学校のきまりを守っていますか	-0.9	89.6	10.4	90.5	9.5	
(35)	友達との約束を守っていますか	-0.4	96.9	3.0	97.3	2.6	
(36)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	0.2	94.6	5.4	94.4	5.6	
(37)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	0.7	97.1	2.8	96.4	3.6	
(38)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	0.4	94.4	5.4	94.0	5.8	
(39)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	3.4	88.4	11.4	85.0	14.8	
(40)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	-5.3	58.5	41.5	63.8	35.9	
(41)	5年生までに受けた授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか	-5.5	71.8	28.0	77.3	22.6	
(42)	5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	1.8	85.5	14.4	83.7	16.3	
(43)	5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	1.2	86.1	13.7	84.9	14.9	
(44)	5年生までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	-1.8	80.2	19.6	82.0	18.0	
(45)	5年生までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	1.4	73.3	26.3	71.9	27.7	
(46)	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	3.6	67.0	32.8	63.4	36.4	
(47)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	0.0	57.6	42.2	57.6	42.3	
(48)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	-0.9	65.0	34.6	65.9	34.0	

質問 番号	質問事項	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(50)	国語の勉強は好きですか	2.2	61.4	38.4	59.2	40.6	
(51)	国語の勉強は大切だと思いますか	1.4	93.2	6.6	91.8	8.2	
(52)	国語の授業の内容はよく分かりますか	0.2	80.3	19.5	80.1	19.8	
(53)	読書は好きですか	5.6	78.6	21.3	73.0	26.9	
(54)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ と思いますか	2.7	90.1	9.7	87.4	12.5	
(55)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、 書いたりしていますか	0.7	62.1	37.7	61.4	38.5	
(56)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の 組み立てを工夫していますか	1.0	59.5	40.4	58.5	41.3	
(57)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように 気を付けて書いていますか	0.0	70.7	29.1	70.7	29.2	
(58)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりに内容を 理解しながら読んでいますか	0.7	76.5	23.2	75.8	24.0	
(59)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありまし たが、どのように解答しましたか	3.5	79.6	19.9	76.1	23.3	肯定群は全ての書く問題 で最後まで解答を書こう と努力した児童の割合
(60)	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	0.7	86.2	13.1	85.5	14.1	
(61)	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	-0.8	49.8	49.5	50.6	49.0	
(62)	算数の勉強は好きですか	-0.2	65.9	34.0	66.1	33.7	
(63)	算数の勉強は大切だと思いますか	0.4	92.7	7.2	92.3	7.5	
(64)	算数の授業の内容はよく分かりますか	-0.3	79.3	20.7	79.6	20.2	
(65)	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと 思いますか	2.1	79.4	20.4	77.3	22.5	
(66)	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方 法を考えますか	2.3	80.4	19.4	78.1	21.7	
(67)	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考 えますか	1.4	67.7	32.1	66.3	33.5	
(68)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ と思いますか	1.3	90.3	9.5	89.0	10.8	
(69)	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考 えますか	0.6	80.0	19.8	79.4	20.3	
(70)	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するよう にしていますか	0.5	81.8	18.0	81.3	18.4	
(71)	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書い ていますか	-0.4	83.0	16.8	83.4	16.3	
(72)	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め 方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	4.0	83.7	15.9	79.7	19.7	肯定群は全ての書く問題 で最後まで解答を書こう と努力した児童の割合
(73)	調査問題の解答時間は十分でしたか（算数A）	1.1	90.5	9.3	89.4	10.3	
(74)	調査問題の解答時間は十分でしたか（算数B）	-1.2	75.2	24.6	76.4	23.2	

※質問項目は肯定群と否定群で判断できるものを抜粋

「太字」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて高い質問事項

「白抜き」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて低い質問事項



生徒質問紙調査

質問 番号	質問事項	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(1)	朝食を毎日食べていますか	-1.7	91.8	8.0	93.5	6.5	
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	4.7	78.8	21.0	74.1	25.7	
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	1.0	93.1	6.5	92.1	7.7	
(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	-0.6	93.3	6.5	93.9	6.0	
(5)	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	0.9	68.9	30.9	68.0	31.9	
(6)	自分には、よいところがあると思いますか	-0.8	66.3	33.4	67.1	32.7	
(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	-0.8	47.8	51.9	48.6	51.4	
(8)	友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか	-1.8	68.5	31.2	70.3	29.6	
(9)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	-0.9	91.3	8.4	92.2	7.6	
(10)	将来の夢や目標を持っていますか	2.2	73.6	26.0	71.4	28.3	
(19)	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	-3.8	68.8	30.9	72.6	27.3	
(20)	家の人（兄弟姉妹を除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか	-4.6	78.5	21.0	83.1	16.6	
(21)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	6.3	52.9	46.8	46.6	53.3	
(22)	家で、学校の宿題をしていますか	-1.2	87.0	12.6	88.2	11.7	
(23)	家で、学校の授業の予習をしていますか	-4.6	29.6	70.0	34.2	65.6	
(24)	家で、学校の授業の復習をしていますか	9.6	60.0	39.7	50.4	49.6	
(25)	学校に行くのは楽しいと思いますか	-2.1	80.3	19.5	82.4	17.4	
(27)	学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	-4.9	79.6	19.5	84.5	15.0	
(28)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	0.2	74.3	24.3	74.1	25.1	
(29)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	-2.9	40.6	59.1	43.5	56.4	
(30)	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	0.9	56.5	43.2	55.6	44.2	
(31)	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	5.3	36.5	63.2	31.2	68.7	
(33)	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか (携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	-2.6	79.5	19.8	82.1	17.1	
(34)	学校の規則を守っていますか	-2.2	90.8	8.9	93.0	6.9	
(35)	友達との約束を守っていますか	-0.7	96.4	3.3	97.1	2.8	
(36)	人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか	-1.6	93.7	6.0	95.3	4.6	
(37)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	-0.2	93.2	6.4	93.4	6.5	
(38)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	-1.3	92.7	6.9	94.0	5.8	
(39)	「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普通の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか	6.3	77.5	22.1	71.2	28.5	
(40)	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	1.4	56.2	43.3	54.8	44.9	
(41)	1、2年生のときに受けた授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか	9.1	55.6	44.0	46.5	53.4	
(42)	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか	0.8	81.9	17.6	81.1	18.8	
(43)	1、2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	8.8	84.1	15.4	75.3	24.5	
(44)	1、2年生のときに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか	9.5	81.0	18.4	71.5	28.4	
(45)	1、2年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	3.5	56.8	42.5	53.3	46.2	
(46)	400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	0.3	67.1	32.5	66.8	33.0	
(47)	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	-0.6	66.6	33.0	67.2	32.7	
(48)	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	2.1	64.0	35.4	61.9	37.8	

質問 番号	質問事項	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(50)	国語の勉強は好きですか	-3.8	54.4	45.1	58.2	41.6	
(51)	国語の勉強は大切だと思いますか	-0.9	88.1	11.4	89.0	10.8	
(52)	国語の授業の内容はよく分かりますか	-5.5	66.5	33.0	72.0	27.8	
(53)	読書は好きですか	2.8	72.2	27.1	69.4	30.4	
(54)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ と思いますか	0.9	83.4	16.0	82.5	17.3	
(55)	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、 書いたりしていますか	3.6	59.7	39.7	56.1	43.7	
(56)	国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の 組み立てを工夫していますか	0.6	49.7	49.7	49.1	50.6	
(57)	国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように 気を付けて書いていますか	0.2	60.5	38.9	60.3	39.4	
(58)	国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりに内容を 理解しながら読んでいますか	-0.9	66.6	32.9	67.5	32.2	
(59)	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、 最後まで解答を書こうと努力しましたか	-1.8	68.6	30.5	70.4	28.9	肯定群は、全ての書く問 題で最後まで解答を書こ うと努力した割合
(60)	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	-3.9	89.1	9.5	93.0	6.0	
(61)	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	-6.4	73.1	25.4	79.5	19.4	
(62)	数学の勉強は好きですか	2.1	58.7	40.7	56.6	43.1	
(63)	数学の勉強は大切だと思いますか	1.2	83.3	16.1	82.1	17.6	
(64)	数学の授業の内容はよく分かりますか	-0.7	70.8	28.5	71.5	28.1	
(65)	数学ができるようになりたいと思いますか	-1.1	90.2	9.0	91.3	8.4	
(66)	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方 法を考えますか	2.6	72.9	26.5	70.3	29.3	
(67)	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考 えますか	4.2	45.1	54.2	40.9	58.7	
(68)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ と思いますか	4.3	75.7	23.7	71.4	28.2	
(69)	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考 えますか	-0.3	67.1	32.3	67.4	32.2	
(70)	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するよう にしていますか	2.0	72.0	27.2	70.0	29.5	
(71)	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書い ていますか	0.5	80.5	18.7	80.0	19.5	
(72)	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明す る問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	0.7	58.4	40.9	57.7	41.7	肯定群は、全ての書く問 題で最後まで解答を書こ うと努力した割合
(73)	調査問題の解答時間は十分でしたか（数学A）	-3.5	87.4	12.0	90.9	8.5	
(74)	調査問題の解答時間は十分でしたか（数学B）	-5.8	71.9	27.5	77.7	21.9	

※質問項目は肯定群と否定群で判断できるものを抜粋

「太字」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて高い質問事項

「白抜き」は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて低い質問事項

学校質問紙調査（小学校）

質問番号	質問事項	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(14)	教員以外の職員で学校図書館に関する業務を担当する職員（いわゆる「学校司書」など）が置かれていますか（ボランティアを除く）	-12.0	41.2	57.7	53.2	46.4	肯定群は常勤もしくは非常勤の職員が置かれている割合
(15)	調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか	-0.6	91.2	8.8	91.8	8.2	
(16)	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	2.0	91.7	8.2	89.7	10.3	
(17)	調査対象学年の児童は、礼儀正しいと思いますか	-3.1	84.5	15.4	87.6	12.4	
(18)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	-5.1	64.9	35.0	70.0	29.9	
(19)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	-1.8	81.5	18.5	83.3	16.7	
(20)	調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	-7.1	56.7	43.3	63.8	36.2	
(23)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	31.2	92.3	7.6	61.1	38.7	肯定群は週に複数回以上定期的に設けた割合
(24)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか	2.5	49.5	50.5	47.0	53.0	肯定群は月に数回程度以上行った割合
(25)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	44.9	62.4	37.7	17.5	82.3	肯定群は週に2～3回以上行った割合
(26)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	0.0	1.0	98.4	1.0	98.4	肯定群は月に数回程度以上行った割合
(27)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）	15.7	44.3	55.7	28.6	71.1	肯定群は延べ5日以上行った割合
(28)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか	-2.5	94.4	5.7	96.9	3.0	
(29)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	-0.8	90.8	9.3	91.6	8.2	
(30)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか	-3.0	87.2	12.9	90.2	9.7	
(31)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	-3.7	90.2	9.8	93.9	6.1	
(32)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	-1.6	95.3	4.6	96.9	3.0	
(33)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	7.9	79.9	20.1	72.0	27.8	
(34)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け、児童に伝えるなど積極的に評価しましたか	-2.0	94.9	5.2	96.9	3.0	
(35)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	-1.9	94.3	5.7	96.2	3.7	
(36)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習方法（適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導をしましたか	-2.0	95.4	4.6	97.4	2.6	
(37)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	-6.4	84.6	15.5	91.0	9.0	
(38)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	-0.5	94.9	5.2	95.4	4.4	
(39)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	-2.8	88.2	11.9	91.0	8.9	
(40)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	-2.3	83.5	16.5	85.8	14.0	
(41)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	-1.9	88.7	11.3	90.6	9.3	
(42)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	-7.0	72.7	27.3	79.7	20.1	
(43)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	-0.1	73.2	26.8	73.3	26.6	
(44)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合う学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか	-7.4	56.7	43.3	64.1	35.8	

質問番号	質問事項	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(45)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	-6.3	27.8	71.7	34.1	65.7	肯定群は月に1回以上行った割合
(46)	調査対象学年の児童に対して、前年度に、算数の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	-4.2	36.6	62.9	40.8	59.0	肯定群は月に1回以上行った割合
(47)	平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行いましたか	1.9	99.0	1.0	97.1	2.6	
(48)	平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	4.9	98.5	1.5	93.6	6.1	
(49)	平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）	2.9	84.0	16.0	81.1	18.6	
(50)	平成25年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	2.6	87.6	12.4	85.0	14.7	
(51)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	8.5	97.4	2.6	88.9	10.7	
(52)	調査対象学年の児童に対して、国語の授業において、前年度に、習熟度別に少人数による指導を行いましたか	3.9	16.9	83.0	13.0	86.8	否定群は行っていない割合
(53)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	-21.7	33.9	66.0	55.6	44.2	否定群は行っていない割合
(54)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	-26.3	22.1	77.8	48.4	51.4	否定群は行っていない割合
(55)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、第4学年のときに、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	-19.3	30.4	69.6	49.7	50.1	否定群は行っていない割合
(56)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、第4学年のときに、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	-23.3	20.1	79.9	43.4	56.4	否定群は行っていない割合
(57)	調査対象学年の児童に対して、国語の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか	10.8	30.3	69.6	19.5	80.2	否定群は行っていない割合
(58)	調査対象学年の児童に対して、算数の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか	-10.4	52.0	47.9	62.4	37.3	否定群は行っていない割合
(59)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	8.0	78.9	21.1	70.9	29.0	
(60)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	5.2	45.9	54.1	40.7	59.1	
(61)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	-0.6	87.6	12.3	88.2	11.7	
(62)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	-1.5	89.1	10.8	90.6	9.3	
(63)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	1.4	84.6	15.5	83.2	16.7	
(64)	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	-1.4	96.4	3.6	97.8	2.1	
(65)	調査対象学年の児童に対する国語の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか	0.0	3.1	96.9	3.1	96.7	
(66)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	3.8	93.3	6.7	89.5	10.4	
(67)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-1.6	56.7	43.3	58.3	41.5	
(68)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	3.9	70.1	29.9	66.2	33.7	
(69)	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	0.0	97.4	2.6	97.4	2.5	
(70)	調査対象学年の児童に対する算数の授業では、前年度までに、教科担任制を実施していましたか	-1.2	4.6	94.8	5.8	93.9	
(71)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	-5.5	79.4	20.1	84.9	14.9	



質問番号	質問事項	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(72)	教科の指導内容や指導方法について近隣の中学校と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っていますか	4.6	67.0	33.0	62.4	37.6	
(73)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	1.0	77.3	22.7	76.3	23.5	
(74)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	-16.3	24.8	75.3	41.1	58.7	
(75)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	-18.3	19.1	80.4	37.4	62.5	
(76)	職場見学や職場体験活動を行っていますか	26.2	71.1	28.9	44.9	54.9	
(77)	P T A や地域の人が学校の諸活動（学校の美化など）にボランティアとして参加してくれますか	-0.4	96.4	3.6	96.8	3.1	
(78)	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	-7.4	75.3	24.8	82.7	17.1	
(79)	保護者や地域の人々の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	0.2	94.9	2.5	94.7	4.4	
(80)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	0.6	100.0	0.0	99.4	0.5	
(81)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、国語の指導として、児童に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	0.6	98.4	1.5	97.8	2.0	
(82)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、算数の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	0.5	100.0	0.0	99.5	0.4	
(83)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	1.0	99.0	1.0	98.0	1.8	
(84)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／算数共通）	-0.6	95.3	4.6	95.9	3.9	
(85)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／算数共通）	6.3	91.7	8.2	85.4	14.6	
(86)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／算数共通）	-1.5	76.3	23.7	77.8	22.1	
(87)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／算数共通）	2.6	90.8	9.3	88.2	11.6	
(88)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	7.0	99.5	0.5	92.5	7.6	
(89)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	0.4	95.3	4.6	94.9	5.1	
(90)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	-0.3	95.9	4.1	96.2	3.7	
(91)	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	10.9	79.9	20.1	69.0	31.0	肯定群は年間7回以上実施した割合
(92)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	1.4	96.9	3.1	95.5	4.4	
(93)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	-0.3	94.8	5.2	95.1	5.0	
(94)	知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか	2.3	86.1	13.9	83.8	16.2	
(95)	言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか	0.4	88.6	11.3	88.2	11.8	
(96)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	1.0	89.2	10.8	88.2	11.7	
(97)	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	0.4	90.7	9.3	90.3	9.6	
(98)	学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか	-1.2	97.4	2.6	98.6	1.4	
(99)	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	1.3	99.5	0.5	98.2	1.8	
(100)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	2.2	99.5	0.5	97.3	2.6	
(101)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	-0.4	91.2	7.7	91.6	7.7	肯定群は週に2～3日以上行った割合

※質問項目は肯定群と否定群で判断できるものを抜粋

- 「太字」 は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて高い質問事項  
「白抜き」 は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて低い質問事項

学校質問紙調査（中学校）

質問番号	質問事項	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(14)	教員以外の職員で学校図書館に関する業務を担当する職員（いわゆる「学校司書」など）が置かれていますか（ボランティアを除く）	-22.5	29.4	69.7	51.9	47.3	肯定群は常勤もしくは非常勤の職員が置かれている割合
(15)	調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	-2.9	85.3	14.7	88.2	11.7	
(16)	調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	-2.2	89.9	10.1	92.1	7.8	
(17)	調査対象学年の生徒は、礼儀正しいと思いますか	-5.6	84.4	15.6	90.0	10.0	
(18)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	-3.2	62.4	37.6	65.6	34.3	
(19)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	-4.5	78.9	21.1	83.4	16.5	
(20)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	-2.3	61.5	37.6	63.8	36.1	
(23)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか	12.9	92.7	7.3	79.8	20.0	肯定群は週に複数回以上定期的に設けた割合
(24)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか	0.5	10.1	89.9	9.6	90.3	肯定群は月に数回程度以上行った割合
(25)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	29.9	44.0	55.9	14.1	85.9	肯定群は週に2～3回以上行った割合
(26)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、土曜日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか	-1.6	0.9	98.1	2.5	97.3	肯定群は月に数回程度以上行った割合
(27)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか（実施した日数の累計）	26.7	87.1	12.0	60.4	39.5	肯定群は延べ5日以上行った割合
(28)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか	5.1	99.1	0.9	94.0	6.0	
(29)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	-3.0	86.2	13.8	89.2	10.6	
(30)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか	0.4	85.3	14.7	84.9	15.1	
(31)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	-4.9	86.2	13.8	91.1	8.8	
(32)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか	-3.4	89.9	10.1	93.3	6.5	
(33)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	-5.2	89.0	11.0	94.2	5.6	
(34)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見付け、生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか	-0.2	96.3	3.7	96.5	3.4	
(35)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	-4.8	91.8	8.3	96.6	3.2	
(36)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習方法（適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど）に関する指導をしましたか	-5.4	91.7	8.3	97.1	2.8	
(37)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	-1.1	81.6	18.3	82.7	17.2	
(38)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか	2.7	90.9	9.2	88.2	11.7	
(39)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか	-7.6	70.6	29.3	78.2	21.6	
(40)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	-7.5	70.6	29.4	78.1	21.7	
(41)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	-3.9	82.6	17.4	86.5	13.4	
(42)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしましたか	-7.1	72.5	27.5	79.6	20.1	
(43)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、教科や総合的な学習の時間、あるいは朝や帰りの会などにおいて、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか	3.6	67.0	33.0	63.4	36.4	
(44)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影机、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合い学び合う学習（協働学習）や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか	-7.2	44.0	56.0	51.2	48.7	



質問番号	質問事項	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(45)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、国語の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	-2.1	10.1	89.9	12.2	87.5	肯定群は月に1回以上行った割合
(46)	調査対象学年の生徒に対して、前年度に、数学の授業において、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用した授業を行いましたか	-1.2	20.2	79.8	21.4	78.3	肯定群は月に1回以上行った割合
(47)	平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行いましたか	2.9	98.2	1.8	95.3	4.6	
(48)	平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	6.0	96.4	3.7	90.4	9.4	
(49)	平成25年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）	4.2	79.8	20.2	75.6	24.3	
(50)	平成25年度全国学力・学習状況調査や学校評価の自校の結果等を踏まえた学力向上のための取組について、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行いましたか	7.2	84.4	15.6	77.2	22.5	
(51)	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	10.9	95.4	4.6	84.5	15.3	
(52)	調査対象学年の生徒に対して、国語の授業において、前年度に、習熟度別に少人数による指導を行いましたか	-0.6	9.2	90.8	9.8	90.0	否定群は行っていない割合
(53)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	-13.9	26.7	73.4	40.6	59.1	否定群は行っていない割合
(54)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	-18.1	16.5	83.5	34.6	65.2	否定群は行っていない割合
(55)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、第1学年のときに、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	-20.2	14.7	85.3	34.9	65.0	否定群は行っていない割合
(56)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、第1学年のときに、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱いましたか	-19.1	10.1	89.9	29.2	70.5	否定群は行っていない割合
(57)	調査対象学年の生徒に対して、国語の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか	4.1	21.1	78.9	17.0	82.8	否定群は行っていない割合
(58)	調査対象学年の生徒に対して、数学の授業において、前年度に、チームティーチングによる指導を行いましたか	7.5	61.5	38.5	54.0	45.8	否定群は行っていない割合
(59)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	-2.4	72.5	26.6	74.9	24.9	
(60)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-5.5	50.5	48.7	56.0	43.8	
(61)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	-1.7	79.8	19.2	81.5	18.4	
(62)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	0.0	93.6	5.5	93.6	6.2	
(63)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	1.9	88.0	11.0	86.1	13.7	
(64)	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	-2.0	96.3	2.8	98.3	1.6	
(65)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	-3.2	84.4	14.7	87.6	12.1	
(66)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-6.3	55.0	44.0	61.3	38.5	
(67)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	-13.1	47.7	51.3	60.8	39.0	
(68)	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	-1.3	94.5	4.6	95.8	4.0	
(69)	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	-4.7	78.9	21.1	83.6	16.0	
(70)	教科の指導内容や指導方法について近隣の小学校と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っていますか	3.1	75.2	24.8	72.1	27.8	
(71)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか	6.6	65.1	34.9	58.5	41.4	

質問番号	質問事項	高知県肯定群－ 全国肯定群	高知県		全国		備考
			肯定群	否定群	肯定群	否定群	
(72)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	-9.5	14.7	85.4	24.2	75.7	
(73)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、博物館や科学館、図書館を利用した授業を行いましたか	-4.9	10.1	89.9	15.0	84.8	
(74)	職場見学や職場体験活動を行っていますか	1.5	100.0	0.0	98.5	1.3	
(75)	P T Aや地域の人が学校の諸活動（学校の美化など）にボランティアとして参加してくれますか	-2.8	91.8	8.3	94.6	5.2	
(76)	学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか	-7.5	59.7	40.3	67.2	32.5	
(77)	保護者や地域の人の学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	-9.6	78.0	20.2	87.6	10.1	
(78)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	3.6	94.5	5.5	90.9	8.9	
(79)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	2.6	96.4	3.7	93.8	6.0	
(80)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	0.3	93.6	6.4	93.3	6.5	
(81)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導しましたか	0.6	94.5	5.5	93.9	5.9	
(82)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけを行いましたか（国語／数学共通）	-0.1	85.3	14.6	85.4	14.5	
(83)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（国語／数学共通）	9.4	86.3	13.8	76.9	23.0	
(84)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか（国語／数学共通）	0.0	64.2	35.8	64.2	35.7	
(85)	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか（国語／数学共通）	3.3	88.1	11.9	84.8	15.0	
(86)	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	11.5	96.3	3.7	84.8	15.0	
(87)	模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	0.4	87.1	12.8	86.7	13.3	
(88)	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	1.8	94.5	5.5	92.7	7.3	
(89)	授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか	31.0	76.1	23.8	45.1	54.7	肯定群は年間7回以上実施した割合
(90)	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	-0.9	89.9	10.1	90.8	9.1	
(91)	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	-2.7	90.9	9.2	93.6	6.4	
(92)	知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか	-5.4	77.1	22.9	82.5	17.4	
(93)	言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか	-0.7	79.8	20.2	80.5	19.5	
(94)	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	1.2	77.1	22.9	75.9	24.0	
(95)	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	0.8	86.2	13.8	85.4	14.4	
(96)	学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっていますか	1.8	99.1	0.9	97.3	2.6	
(97)	学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか	0.9	98.1	1.8	97.2	2.7	
(98)	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	-2.2	93.6	6.4	95.8	4.0	
(99)	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	-5.9	73.4	25.7	79.3	19.5	肯定群は週に2～3日以上行った割合

※質問項目は肯定群と否定群で判断できるものを抜粋

「太字」 は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて高い質問事項

「白抜き」 は、全国の肯定群の割合より3ポイントをこえて低い質問事項

## 全校体制で取り組む10のポイント

### 1 全教職員で調査問題の出題の趣旨と学習指導要領における領域・内容を確認する。

- ① まずは、問題を教師自身が解くことから始める。
- ② どのように思考・判断し、どんな記述の力が必要かを体感し、育成を目指す力を明確にする。

### 2 全教職員で調査結果を分析し、要因を話し合う。

- ③ 正答率が高かった問題について、取り組みの「何に効果があったのか」という視点から分析を行う。
- ④ 正答率が低かった問題について、「なぜできなかったのか」「どこにつまずいているのか」という視点から解答類型を活用し、課題を分析する。

### 3 学校全体で、年間の見通しの中で課題を解決する。

- ⑤ 調査問題を教科書教材と関連付け、指導方法や学習活動にどのような工夫をすればよいか具体的に考える。
- ⑥ 各教科の年間指導計画の中に、具体的な手立てを反映させる。
- ⑦ 各教科の学習シート等、授業で活用できる資料を明記する。

### 4 調査問題や調査結果を活用した授業を構想する。

- ⑧ 解説資料、報告書（文部科学省）に示された「学習指導に当たって」を参照し、授業に取り入れる。
- ⑨ B問題の設計や構成、授業アイデア例を授業づくりのヒントにし、思考力・判断力・表現力等を身に付けさせるために指導方法を工夫する。

### 5 学習指導要領の目標や内容の実現を第一義とする。

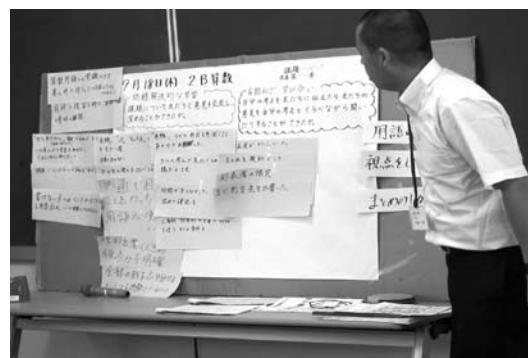
- ⑩ 本時の目標に即した「めあて・ねらい」を設定し、授業の最後に評価問題等で確認するなど、本時の学習内容を確実に定着させる。

調査結果から見える課題を克服するための取り組みを、教科や学年を超えて全校体制で進めることで、その効果はより高まります。

調査問題や結果等を活用し、改善策を指導計画に反映させ、子どもたちに思考力・判断力・表現力等を育成する授業づくりを進めましょう。そして、学校全体の学習指導のPDCAサイクルを確立させ、一人ひとりの子どもたちの確かな学力の定着につなげていきましょう。



事後研究（成果、課題について協議）



事後研究（協議した内容を発表）

